

金沢美大柳宗理デザインミュージアム(仮称)展示施工業務

実施設計図書

図面リスト	No.
特記仕様書	01~03
展示構成	04
本体工事範囲	05
仕上表	06
1階平面図	07
2階平面図	08
3階平面図	09
1階展開図	10~11
2階展開図	12~15
3階展開図	16~17
造作詳細図-1(1Fイベントスペース/壁面パネル棚)	18
造作詳細図-2(1F ショップ/商品棚)	19~20
造作詳細図-3(1F ショップ/カウンター)	21
造作詳細図-4(1F ショップ/商品展示台)	22
造作詳細図-5(2F 展示室1/丸型展示台)	23
造作詳細図-6(2F 展示室1/ごあいさつパネル)	24
造作詳細図-7(2F 展示室1/年譜パネル)	25
造作詳細図-8(2F 展示室1/映像液晶モニター壁)	26
造作詳細図-9(2F 展示室1/壁面展示ケース)	27

図面リスト	No.
造作詳細図-10(2F 展示室2/壁面展示ケース)	28
造作詳細図-11(2F 展示室2/天井プロジェクター)	29
造作詳細図-12(2F 展示室2/丸型展示台)	30
造作詳細図-13(2F 展示室2/壁面展示ケース)	31
造作詳細図-14(2F 展示室2/壁面展示ケース)	32
造作詳細図-15(2F 展示室3/展示台)	33
造作詳細図-16(2F 展示室3/壁面展示台)	34
造作詳細図-17(2F 展示室3/展示パネル)	35
造作詳細図-18(2F 展示室/タッチパネルモニター)	36
造作詳細図-19(3F 展示室/壁面収蔵展示)	37
造作詳細図-20(展示室/展示台・ケースあり)	38
造作詳細図-21(展示室/展示台・ケースなし)	39
家具図(収蔵室内ストック棚)	40
収蔵庫内配置図	41~42
展示備品リスト	43
映像システム・コンテンツ構成図、機器リスト	44~49
デジタルアーカイブ構成図	
サイン計画(屋外・屋内)	50~51
ゾーニング・動線図	52
鳥瞰図	53~55
イメージパース図	56~58

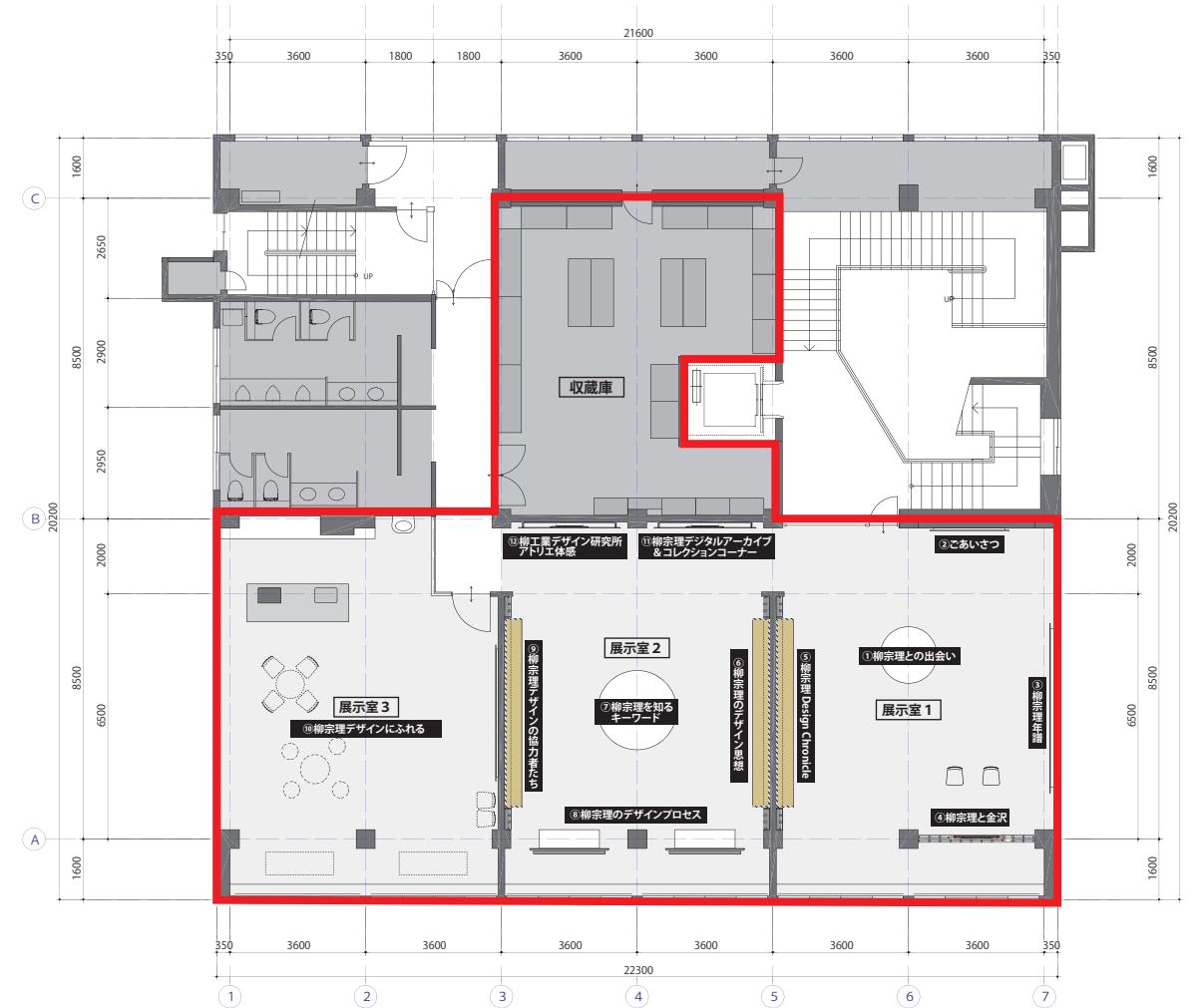
業務名称 金沢美大柳宗理デザインミュージアム（仮称）展示施工業務 特記仕様書		3) ホルムアルデヒド発散建築材料（告知規制対象建材）を使用する場合、F☆☆☆☆の区分のものとし、トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼンの放散量の極力小さいものとする。 4) 工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの、またはこれと同等の品質及び性能を有する新品とする。同等のものを使用する場合は、監督職員の承諾を得る。		番号 提出書類 部数 提出時期 備考 ⑬ 官公署出願書類控部 その都度 正、副 ⑭ 打合せ記録書 部 監督職員請求時又は定例は日以内 個別打合せは日以内 ⑮ 施工記録簿 部 監督員請求時 業務進行状況、労務者就業状況、搬入資材種類、数量使用材料種類等を記入 ⑯ 各種測定表 部 その都度 試験成績表 ⑰ 各種検査結果報告書 部 その都度 ・自主検査 ・監督職員検査 ⑯ 完成検査願 部 完成検査日前 ⑯ 完成引渡し書類 完成届、引渡書 検査済書、鏡引渡書 機器操作説明書 保守管理マニュアル 業者連絡先リスト 経年検査までの連絡責任者 部 完成検査引渡し時 機器操作説明書は展示機器の使用方法についてわかりやすくまとめる 保守管理マニュアルは展示機器の保全についてわかりやすくまとめる ⑯ 完成引渡し備品 鍵及び鍵箱 鍵リスト 予備品 予備品内訳書 式 完成引渡し時 予備品の内容は監督職員との協議による ⑯ 業務写真 部 その都度 一定の台紙に貼付し、撮影月日を明記すること ⑯ 完成図 部 完成引渡し後 日以内 完成図は、監督職員の指示する図面 ⑯ 完成写真 部 完成引渡し後 日以内 ⑯ その他監督職員の指示する書類	
I 業務概要		5) 使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有する事の証明となる資料を監督職員に提出する。 6) 設計図書に定められた材料の見本を提出又は提示し、材質、仕上げの程度、色合い等について、あらかじめ監督職員の承諾を得る。 7) 設計図書に定められた規格等が改正された場合は、監督職員と協議する。 1) 材料は、種別ごとに監督職員の検査を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた材料についてはこの限りではない。 2) 検査の結果、合格した同じ種別の材料は、監督職員が指示する材料を除き以降の使用を承諾されたものとする。			
1. 業務場所 金沢市西町三番丁16番地（金沢市西町教育研修館）		②. 材料の検査 (1.4.4)			
2. 業務範囲 カフェ・ミュージアムショップ・展示室・収蔵庫・屋外サイン		1 - 5 施工			
III 特記仕様		①. 施工 (1.5.1)		1) 施工は、設計図書、実施工程表、施工計画書、施工図、原寸図等に従って行う。 1) 監督職員の指定した工程に達した場合は、監督職員の検査を受ける。 但し、これによることのできない場合は別に監督職員の指示を受ける。 2) 合格した工程と同じ工法により施工した部分については以降の監督職員の検査は抽出検査とする。 但し、監督職員が特に指示したものはこの限りではない。 1) 監督職員の立会いが必要な施工及び監督職員が特に指示する場合は、監督職員の立会いを受ける。この際、適切な時期に監督員に対して立会いの請求を行うものとし、立会いの日時について監督職員の指示を受ける。 1) 工法 工事に関する下地及び仕上げ材は、製造工程及び施工工程において品質、性能上等で支障なき場合、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物（VOC）を放散しないもの又は極低濃度の材料及び工法とする。 接着剤の使用に際しては、製品の仕様規定に基づき充分な乾燥期間を確保できる工程管理を実施する。 2) 壁紙、ビニル床シート、ビニル床タイル及びそれらの張り付けに使用する接着剤等の製品中の可塑剤は、分子量300g/mol以上の難揮発性可塑剤とする。 3) 使用する建材が含有する成分量の確認のため、施工に先立ちメーカーの規格証明書、試験報告書、MSDS（製品安全データシート）を監督職員に提出する。 4) 施工中の室内換気 内装仕上げを行った室内は、常に換気に注意する。 1) 展示室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定の実施は ・ 行う <input checked="" type="radio"/> 行わない 2) 施工着手前及び工事完了後、下記箇所の「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」の測定を行うものとする。 なお、測定方法はバッジ型探取機器による測定とする。 ア、検査室名 (○○○展示室、○○箇所) イ、判定基準 下記数値を超えないものとする。 ・ホルムアルデヒドは、100μg/立米(0.08ppm)であること。 ・トルエンは、260μg/立米(0.07ppm)であること。 ・キシレンは、870μg/立米(0.20ppm)であること。 ・パラジクロロベンゼンは、240μg/立米(0.04ppm)であること。	
Ⅱ 仕様書の適用		②. 施工の検査 (1.5.5)			
1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「改修標仕」という。）による。		③. 施工の立会い (1.5.7)			
2. 設計図書の優先順位		④. 健康障害への対策			
1) 質問回答書に対するもの 2) 現場説明書 3) 特記仕様書 4) 図面 5) 共通仕様書		⑤. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)			
3. 特記事項には※印、・に〇印のついたものを適用する。		1 - 6 記録、提出書類等			
4. 特記事項に記載の（ ）内の番号は「標準仕様書」の当該項目、又は当該表を示す。		①. 記録			
5. 製造所名は五十音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。		②. 提出書類等			
IV 特記仕様		1) 業務の着手に先立ち実施工程表を作成し、監督職員の承諾を得る。 監督職員の指示を受けた場合は、実施工程表の補足として、月間工程表、週間工程表及び工種別工程表を提出し、監督職員に提出する。		①. 監督員事務所	
1 - 1 一般事項		2) 施工の適切な事を証明する必要があるとして、監督職員の指示を受けた場合、業務写真、見本、試験成績表などの必要な資料を整備する。		・ 設ける <input checked="" type="radio"/> 設けない	
①. 用語の定義 (1.1.2)		3) 1)から2)の記録について、監督職員より請求されたときは、提出又は提示する。		1) 請負者が展示施工業務に使用した分は使用量を負担する。 (但し、施設管理者との事前協議による。)	
②. 官公署その他の届出手続き (1.1.3)		4) 提出書類は下表の番号に〇印のついたものを基本とする。 提出部数は、別途協議による。		1) 請負者が展示施工業務に使用した分は使用量を負担する。 (但し、施設管理者との事前協議による。)	
③. 関連業務との調整 (1.1.7)		1) 別契約の関連業務については、監督職員の調整に協力し、当該業務関係者とともに業務全体の円滑な施工に務める。		2) 夜間(使用時間17時～22時の4時間)に使用した分は使用量を負担する。 (但し、施設管理者との事前協議による。)	
④. 疑義に対する協議 (1.1.8)		1) 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合は監督職員と協議する。		3) 請負者はメーター付仮設分電盤を設置し施工業務用に電力をとることを基本とする。 (但し、施設管理者との事前協議による。)	
⑤. 関係法令等の遵守 (1.1.13)		2) 現場での收まり、取合い、技術上等の関係で、設計図書によることが困難又は、不都合が生じた場合は監督職員と協議する。		4) 設置場所については監督職員の指示による。 (什器一式、電話等の設置費用は請負者の負担とする。)	
⑥. 特別な材料の工法		1) 業務に当たり、適用を受ける関係法令等を遵守し、業務の円滑な進行を図る。			
⑦. 支給品		1) 特別な材料、機器の工法は、当該製品、機器の指定工法による。			
⑧. 展示資料の取付け		1) 設計図書に図示されたもの以外の実物、模型、複製品等の展示資料は支給品とする。			
1 - 2 業務関係図書		1) 支給展示資料は、原則として監督職員によって所定の場所に展示される。			
1 - 3 施工現場管理					
①. 実施工程表 (1.2.1)		1) 業務の着手に先立ち実施工程表を作成し、監督職員の承諾を得る。 監督職員の指示を受けた場合は、実施工程表の補足として、月間工程表、週間工程表及び工種別工程表を提出し、監督職員に提出する。		②. 業務用水	
②. 施工計画書 (1.2.2)		2) 施工の具体的な計画を定めた施工計画書を、当該業務の着手に先立ち監督職員に提出し、承諾を得る。		③. 業務用電力	
③. 施工図等 (1.2.3)		1) 請負者は必要に応じ関連する制作、工種相互の取合いを検討し、各部位別及び工種別施工図を作成し、監督職員の承諾を得る。		④. 現場事務所	
1 - 4 材料					
①. 材料の品質 (1.4.1, 1.4.2)		1) グリーン購入法(平成12年法律第100号)に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に努める。 尚、使用する商品の品目は監督職員と協議する。		①. 木材の品質	
2) ①印は、グリーン購入法の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。				木材の材質等は、下記による。 1) 現場搬入時の含水率 <input checked="" type="radio"/> A種 <input type="radio"/> B種	

②. 集成材 G	(12. 2. 1)				<p>⑯. ガラス留め材 ガラス留め材 シーリング材(表9. 7. 1) その他()</p> <p>⑯. 特殊なガラスの取付 特殊なガラスの取付 特殊なガラスの取付においては、専門工事業者の仕様と施工図により監督員の承諾を得る。</p> <p>⑯. ガラス用フィルム 名称 種類 張り面 性能値 ガラス飛散防止フィルム 第2種 内張り 外張り 飛散防止率 D1 品質 JIS A 5759による 使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 (18. 1. 3) 工場製品を工場で焼付塗装する場合は、塗料メーカーの仕様による</p> <p>⑯. 金属面の塗装 種類 ※溶剤塗装 メラミン樹脂焼付け塗り(M-BE) アクリル樹脂焼付け塗り(A-BE) 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) その他(図示) ・ 粉体塗装 エボキシ・ポリエスチル・アクリル ハイブリッド型(/) ・ エマルション塗装 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)</p> <p>⑯. 木部の塗装 種類 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)</p> <p>⑯. せっこうボード面の塗装 種類 ・ エマルション塗装 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)</p> <p>⑯. 接着剤 接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 (19. 2. 2) (19. 3. 3) ※ 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。</p> <p>⑯. ビニール床シート張り 厚さ(mm) 2.5 無地 マーブル柄 フローリング調 参考メーカー 品名() 同等以上 工法 熱溶接工法 突付け(施工箇所:) (19. 2. 3)</p> <p>⑯. ビニール床タイル張り 厚さ(mm) 2 無地 マーブル柄 フローリング調 工法 热溶接工法 突付け(施工箇所:) (19. 2. 2)</p> <p>⑯. ビニール幅木 高さ(mm) 60 タフティッドカーベット (19. 3. 3~4) (表19. 3. 2) パイル形状 (カットパイル ループパイル レベルループパイル カット、ループ併用) パイル長(mm) 工法 全面接着工法 グリッパー工法 参考メーカー 品名() ニードルパンチカーベット (19. 3. 3) (表19. 3. 2) パイル長(mm) 2 3 4 工法 全面接着工法 テープ接着工法 参考メーカー 品名() ・ タイカルベット (19. 3. 3) (表19. 3. 2) パイル形状 (カットパイル ループパイル レベルループパイル カット、ループ併用) 厚さ(mm) 6.5 参考メーカー 品名() 下地の種類 置の種別 標仕表12. 5. 1による床組 B種 ボリスチレンフォーム床下地 C種 置表及び置床はVOC含有量が少ないものとする</p> <p>⑯. せっこうボード無機質系せっこうボード張り せっこうボードの目工法 (19. 7. 3) (表19. 7. 5) 種類 ※ 突付け 繰目処理工法 目透し その他() せっこうボードの出隅部分の保護剤 種類 プラスチック製 薄厚鋼板製 薄厚ステンレス付コーナーテープ</p> <p>⑯. ガラス材料 フロート板ガラス 厚み() 図示 高透過ガラス 厚み() 図示 合わせガラス 材料板ガラスの種類 フロート板ガラス 高透過ガラス 強化ガラス 厚みの組合せ 特性による種類 I類 II類 III類 鏡 厚み() 図示</p>	(12. 2. 1)			
	1) 造作用集成材 品名 見付け材面の品質 ※ 1等・2等 ※ 1等・2等				⑯. ガラス留め材 ガラス留め材 シーリング材(表9. 7. 1) その他()	(19. 8. 2)			
	2) 化粧ぱり造作用集成材 品名 見付け材面の品質 化粧薄板樹脂名 化粧薄板の厚さ(mm) ※ 1等・2等 ※ 1等・2等 ※ 1等・2等				⑯. 特殊なガラスの取付 特殊なガラスの取付 特殊なガラスの取付においては、専門工事業者の仕様と施工図により監督員の承諾を得る。	(19. 8. 2)			
	3) 造作用単板積層材 品名 表面の品質 防虫処理 ・ 天然木化粧 ・ 塗装加工あり 化粧加工なし(等) するしない				⑯. ガラス用フィルム 名 称 種 類 張り面 性能値 ガラス飛散防止フィルム 第2種 内張り 外張り 飛散防止率 D1 品質 JIS A 5759による 使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 (18. 1. 3) 工場製品を工場で焼付塗装する場合は、塗料メーカーの仕様による	(19. 8. 2)			
	(12. 2. 1)				⑯. 塗装材料 展示室1 展示室2 展示室3 壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 (19. 8. 2)	(19. 8. 2)			
	ホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種				⑯. 金属面の塗装 ※溶剤塗装 メラミン樹脂焼付け塗り(M-BE) アクリル樹脂焼付け塗り(A-BE) 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) その他(図示) ・ 粉体塗装 エボキシ・ポリエスチル・アクリル ハイブリッド型(/) ・ エマルション塗装 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	(19. 8. 2)			
	1) 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12. 2. 2)				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	2) ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤(以下、「ユリア樹脂等」という)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	3) 防腐・防蟻処理 防腐処理 薬剤加圧注入 薬剤塗布(適用範囲) 防腐処理 薬剤加圧注入 薬剤塗布(適用範囲)				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	4) 防腐・防蟻処理の方法 現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に、現場にて表面処理用木材保存材を塗布することとする。				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	5) 防腐・防蟻処理 防腐処理 薬剤加圧注入 薬剤塗布(適用範囲) 防腐処理 薬剤加圧注入 薬剤塗布(適用範囲)				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	6) 防虫処理 ラワン材を使用する場合は、「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1の防虫処理を行う。 (12. 3. 2)				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	7) 出荷証明及び県産材使用証明 木材及び合板等は、品質や出荷量等を記録した出荷証明書を提出する。(12. 2. 1)また、設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者(資材の発注者)は、合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材产地及び合法木材証明書」及び納品書(合法木材団体認定番号及び産地名が(石川県産)と明記されたもの)を監督員に提出する。				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	8) あと施工アンカーボルト、ホールインプラグ、ねじ類 引抜耐力の確認試験 行わない 行う (14. 1. 3) ねじ、ピン、プラグ材 (14. 2. 1)				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	9) ステンレスの表面仕上げ 種類 施工箇所 HL程度 下記以外の見え掛かり全て No. 2B程度 鏡面仕上げ バイプレーション (14. 2. 1)				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	10) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 種別() 施工箇所() (14. 2. 2) (表14. 2. 1)				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	11) 鉄の亜鉛めっき 溶融亜鉛メッキ 種別() 施工箇所() (14. 2. 3) (表14. 2. 2)				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤラッカーセル(CL) ウレタンクリヤ その他() ・ エナメル ラッカーエナメル塗り(LE) ポリウレタンエナメル塗り(UE) その他() ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(OP) ・ ラッカーセル ウレタン系 ・ 艶有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) ・ オイルスチーン(OS)	(19. 8. 2)			
	12) 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 (表14. 4. 1) 19形 25形				⑯. 木部の塗装 ・ 透明 クリヤ				

<p>(10) 映像音響コンテンツ製作、情報コンテンツ製作は設計意図を的確に捉え実現するために、本展示の特徴にあつた作風を持つ制作スタッフを選定する。</p> <p>(11) 映像音響コンテンツのシナリオ作成に当たっては、構成資料を基にラフシナリオを作成し、方向性を確認後、本番シナリオを作成する。</p> <p>(12) コンピューターにて再生する情報コンテンツにおいては、メニュー等の画面遷移フローチャートシナリオ、各画面デザインを作成する。</p> <p>(13) 映像音響コンテンツの編集に当たっては、原則として粗編集、本編集、ナレーション録音の各段階において試写または立会いにより監督員の承諾を受ける。</p> <p>(14) 完成した映像音響コンテンツのマザーテープは監督員と協議の上、保管場所を定める。</p> <p>(15) 支給をうけたもの及び借用した各種構成資料は、その受取、返却履歴を記録し管理する。</p> <p>(16) 撮影計画は、シナリオに沿って監督員と協議の上、決定する。</p> <p>(17) CGアニメーションは、下絵・サンプル等を監督職員に提出し、承諾を得る。</p> <p>文、図、数値データ、写真等映像音響コンテンツ製作、情報コンテンツ製作のシナリオ作成の基となる参考資料を製作資料といふ。</p> <p>構成資料の入手区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <input checked="" type="radio"/> シノプシスを基に入手 <input type="radio"/> 監督員より支給 <p>既存(借用)製作素材</p> <p>個人、ビデオプロダクション、自治体、関連機関、放送局、新聞社などがあるニュース、歴史、自然、空撮、写真等の動画・静止画像データ等映像音響コンテンツ製作の基となる素材を製作素材といふ。</p> <p>既存(借用)製作素材の入手区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <input checked="" type="radio"/> 行う(発注者の公的書面発行: <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし) ・ 外国語翻訳 <input type="radio"/> 図示 <input checked="" type="radio"/> なし ・ 発注者の新規撮影立会 <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> 有り() <p>専門家の監修</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 専門家の監修を受ける(<input type="radio"/> 有償 <input checked="" type="radio"/> 無償) ・ 専門家の監修を受けない <p>⑥. 著作使用権</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 発注者と請負者間で別途協議 完成された映像音響コンテンツ、情報コンテンツの他施設、別目的での使用 <input checked="" type="radio"/> 発注者と請負者間で別途協議 <input type="radio"/> できない <input type="radio"/> その他 完成された映像音響コンテンツ、情報コンテンツの複製製作及び頒布等 <input checked="" type="radio"/> 発注者と請負者間で別途協議 <input type="radio"/> その他 	<p>8章 その他</p> <p>項 目 特 記 事 項</p> <p>①. 金沢版週休2日工事</p> <p>1. 適用</p> <p>工事現場において週休2日に取り組む「金沢版週休2日工事」(以下、「週休2日工事」という。)の適用については、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 ○ 対象外 <p>2. 週休2日工事の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 (2) 受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表(様式1を標準とする)に記入し、監督員に提出・共有すること。 (3) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (4) 受注者は、工事最終日までに工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 (5) 週休2日の工事の定義(様式)等については、「金沢版週休2日工事 実施要領」及び「金沢版週休2日工事 実施要領細則」を参照すること。 (6) 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通じて現場作業が無い状態も「現場閉鎖」とみなす。 (7) 受注者は、発注者が必要と認めた場合、別に定めるアンケート調査に協力すること。 (8) 初期設計において、週休2日(4週8休以上、現場閉鎖率28.5%(8日/28日)以上)を前提に補正係数1.04により労務費(予定価格のもととなる工事費の積算)に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費を補正している。 (9) 発注者は、現場閉鎖の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合は、(8)の補正分を減額する。 尚、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。 																			
<p>7章 展示電気設備工事</p> <p>項 目 特 記 事 項</p>																				
<p>①. 適用範囲</p> <p>本章は、展示製作における分電盤より端末側の工事に適用する。</p> <p>②. 一般事項</p> <p>(1) 図面及び特記仕様書に記載のない使用材料、施工方法は「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」「公共建築改修工事標準仕様書(電気工事編)」及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」による。</p> <p>(2) 建築基準法の他、電気事業法、電気用品安全法、消防法、電気設備技術基準、電気工事士法、日本電気協会内線規程、有線電気通信法、電気通信事業法等の電気関係法規及びこれら関連法令、政令、規定等に適合すること。</p> <p>(3) 見え掛かりとなる機器・配線は、取付位置、取付方法、隠避方法等については、展示デザインとの整合性に留意する。</p> <p>(4) 使用する機材は、JIS規格、電気用品取締法による形式認可、BL部品、JEC規格、JEM規格、JCS規格、JIL規格、JEL規格、JWDS規格等の諸規格の適合品とする。</p> <p>(5) 使用する機材や配線類は強震時に脱落、転倒しないように固定する。</p> <p>工事種目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 種 目</th> <th>工 事 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①. 電灯、コンセント設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 電源供給箇所(別途建築工事)から器具までの電源供給配線 ・ 分電盤新設()及び各機器への電源供給配線 <input checked="" type="radio"/> 既存コンセント類から各機器への電源供給配線 ・ 展示照明器具、サイン用照明器具の設置 ・ 調光盤、調光操作盤設置 ・ 非常照明 (<input type="radio"/> 増設 <input checked="" type="radio"/> 移設) ・ 避難誘導等 (<input type="radio"/> 増設 <input checked="" type="radio"/> 移設) ・ </td> </tr> <tr> <td>・ 映像音響設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 展示用映像音響機器 (<input checked="" type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改修 <input type="radio"/> 移設) ・ </td> </tr> <tr> <td>・ 拡声設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイク設備 (<input type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改修 <input type="radio"/> 移設) ・ 館内放送 (<input type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改修 <input type="radio"/> 移設) </td> </tr> <tr> <td>・ 自動火災報知設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感知器 (<input type="radio"/> 増設 <input type="radio"/> 移設) </td> </tr> <tr> <td>・ 情報表示設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ </td> </tr> <tr> <td>・ 構内情報通信網設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ </td> </tr> <tr> <td>・ 監視カメラ設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ </td> </tr> <tr> <td>・ 中央監視制御設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ </td> </tr> </tbody> </table> <p>③. 試験成績表及び測定表</p> <p>工事完成後、下記の試験成績表及び測定表を提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絶縁抵抗試験 ・ 照度測定 ・ 動作機能試験 <p>④. 融光管</p> <p>蛍光管については、紫外線吸収膜付タイプを用いる。但し、紫外線吸収膜付以外の蛍光管を用いる場合は、使用場所・用途において必要な紫外線防止対策を行う。</p> <p>⑤. 予備品</p> <p>各ランプの予備品 <input type="radio"/> 使用個数の %かつ1個以上</p>	工 事 種 目	工 事 概 要	①. 電灯、コンセント設備	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 電源供給箇所(別途建築工事)から器具までの電源供給配線 ・ 分電盤新設()及び各機器への電源供給配線 <input checked="" type="radio"/> 既存コンセント類から各機器への電源供給配線 ・ 展示照明器具、サイン用照明器具の設置 ・ 調光盤、調光操作盤設置 ・ 非常照明 (<input type="radio"/> 増設 <input checked="" type="radio"/> 移設) ・ 避難誘導等 (<input type="radio"/> 増設 <input checked="" type="radio"/> 移設) ・ 	・ 映像音響設備	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 展示用映像音響機器 (<input checked="" type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改修 <input type="radio"/> 移設) ・ 	・ 拡声設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイク設備 (<input type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改修 <input type="radio"/> 移設) ・ 館内放送 (<input type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改修 <input type="radio"/> 移設) 	・ 自動火災報知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感知器 (<input type="radio"/> 増設 <input type="radio"/> 移設) 	・ 情報表示設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	・ 構内情報通信網設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	・ 監視カメラ設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	・ 中央監視制御設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 		
工 事 種 目	工 事 概 要																			
①. 電灯、コンセント設備	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 電源供給箇所(別途建築工事)から器具までの電源供給配線 ・ 分電盤新設()及び各機器への電源供給配線 <input checked="" type="radio"/> 既存コンセント類から各機器への電源供給配線 ・ 展示照明器具、サイン用照明器具の設置 ・ 調光盤、調光操作盤設置 ・ 非常照明 (<input type="radio"/> 増設 <input checked="" type="radio"/> 移設) ・ 避難誘導等 (<input type="radio"/> 増設 <input checked="" type="radio"/> 移設) ・ 																			
・ 映像音響設備	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 展示用映像音響機器 (<input checked="" type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改修 <input type="radio"/> 移設) ・ 																			
・ 拡声設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイク設備 (<input type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改修 <input type="radio"/> 移設) ・ 館内放送 (<input type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 改修 <input type="radio"/> 移設) 																			
・ 自動火災報知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感知器 (<input type="radio"/> 増設 <input type="radio"/> 移設) 																			
・ 情報表示設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 																			
・ 構内情報通信網設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 																			
・ 監視カメラ設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 																			
・ 中央監視制御設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 																			

3F	企画展示ゾーン	デザインギャラリー Design Intersection Hub	1 デザインギャラリー	柳宗理だけでなく、幅広いデザインに関する企画展示を行うことができるコーナー。	【展示ケース、展示台】
			2 映像シアター	企画展に付随する映像を放映。	【プロジェクター、展示映像、椅子】
2F	常設展示ゾーン	展示室1	3 壁面収蔵展示スペース	収蔵庫の壁面を埋めつくす収蔵展示スペースを設ける。また、空調設備を整えることで、レンタル品の湿度管理を可能とする。	【収蔵庫】
			4 収蔵展示室（企画展示用）	空調設備を整えることで、レンタル品の湿度管理を可能とする。	【収蔵専用棚】
2F	常設展示ゾーン	展示室2	5 収蔵展示室（常設展・企画展併用）	展示しきれない柳宗理の作品を、見せる収蔵として展示する。	【収蔵専用棚】
			1 柳宗理との出会い	来館者にミュージアムへの期待感やモチベーションを高めてもらうために、柳デザインを象徴するバタフライツールなどを、柳氏のメッセージとともにディスプレイするVPスペース。	【展示品、展示台、グラフィックタペストリー】
2F	常設展示ゾーン	展示室2	2 ごあいさつ	来館者に館の概要などを紹介するごあいさつパネル。	【グラフィックパネル】
			3 柳宗理年譜	柳氏に関する主要な出来事などを、写真などをまじえて年表で紹介するとともに、年代ごとに主要な作品をまとめて写真で紹介。	【グラフィックパネル】
2F	常設展示ゾーン	展示室3	4 柳宗理と金沢	金沢美術工芸大学で50年にもわたり教鞭をとっていたことや、その際の様々なエピソードなど、金沢にまつわる柳氏のエピソードを映像で紹介。	【液晶モニター、展示映像】
			5 柳宗理 Design Chronicle	柳氏がデザインしてきた作品を年代順に写真で紹介すると共に、代表的な作品については、実物をまじえて紹介。	【グラフィックパネル、展示ケース】
2F	常設展示ゾーン	展示室3	6 柳宗理のデザイン思想	柳氏のデザインに対する考え方について、「デザイン考」でまとめられた9つの項目を紹介すると共に、関連する写真や展示品を展示。	【グラフィックパネル、展示ケース】
			7 柳宗理を知るキーワード	アノニマスデザイン、ワークショップ、民藝、バウハウスなど、柳宗理のデザインを知るうえで重要なキーワードを、インタラクティブな映像で紹介。	【グラフィックパネル、展示台、プロジェクター、展示映像】
2F	常設展示ゾーン	展示室3	8 柳宗理のデザインプロセス	柳氏が、製品のデザインを進める上で、模型の製作を重要視していたことなど、そのデザインプロセスについて、柳氏のスケッチや模型などの資料をまじえながら紹介。	【グラフィックパネル、展示ケース】
			9 柳宗理デザインの協力者たち	柳宗理デザインを製品化する上で重要であった日本各地の生産地や製造元を制作中の写真や実物をまじえて紹介。	【グラフィックパネル、展示ケース】
2F	常設展示ゾーン	展示室3	10 柳宗理デザインにふれる	柳宗理デザインを来館者に身近に感じてもらい、実際にふれてもらえるスペース。また、現存する建造物や公共物などもパネルで紹介。	【グラフィックパネル、展示台など】
			11 柳宗理デジタルアーカイブ & コレクションコーナー	柳氏がデザインした様々な製品や、公共物、書籍などの情報を、展示室内に設置した端末で検索・閲覧することができるデジタルアーカイブ。	【タッチパネルモニター、デジタルコンテンツ】
2F	常設展示ゾーン	展示室3	12 柳工業デザイン研究所のアトリエ体感	柳氏が実際に作業していた柳工業デザイン研究所のアトリエを360°撮影したデジタルコンテンツで体感的に紹介。	【タッチパネルモニター、デジタルコンテンツ】
			1 谷口建築と柳デザインの対話	竣工当時のロビーの様子（テーブルと椅子が置かれ、展示コーナーには布のサンプルが展示されていた）を、柳宗理がデザインしたテーブルと椅子、ファブリックを使って再現。	【テーブル、椅子、ファブリック】
1F	無料・交流ゾーン	谷口建築と柳デザインの対話	2 旧石川県織維会館の紹介	1952（昭和27）年に谷口吉郎が設計し石川県織維会館として建設され、2022（令和4）年に国登録有形文化財（建築物）に登録された建物の歴史や建築的特徴などを紹介。	【グラフィックガラススクリーン】
			3 谷口吉郎について	文化勲章受賞者で、金沢市名誉市民第一号である建築家谷口吉郎のプロフィールを紹介するとともに、金沢市内にある谷口氏に関連する建築物をマップで紹介。	【グラフィックガラススクリーン】
1F	無料・交流ゾーン	谷口建築と柳デザインの対話	4 柳製品を利用したミュージアムカフェ＆ショップ	テラス席を設けたオープンな雰囲気の中で、柳デザインの食器やカトラリーを使って休憩ができるカフェと、デザインに関する様々な書籍などを自由に閲覧できるライブラリーコーナーや、気に入ったものを購入できるショップコーナー。	【テーブル・椅子など】
			5 Event Space	次世代の人材育成のため、若手デザイナーや学生の作品発表の場として活用。	【展示台】
B1F	事務ゾーン				

2F



3F



1F

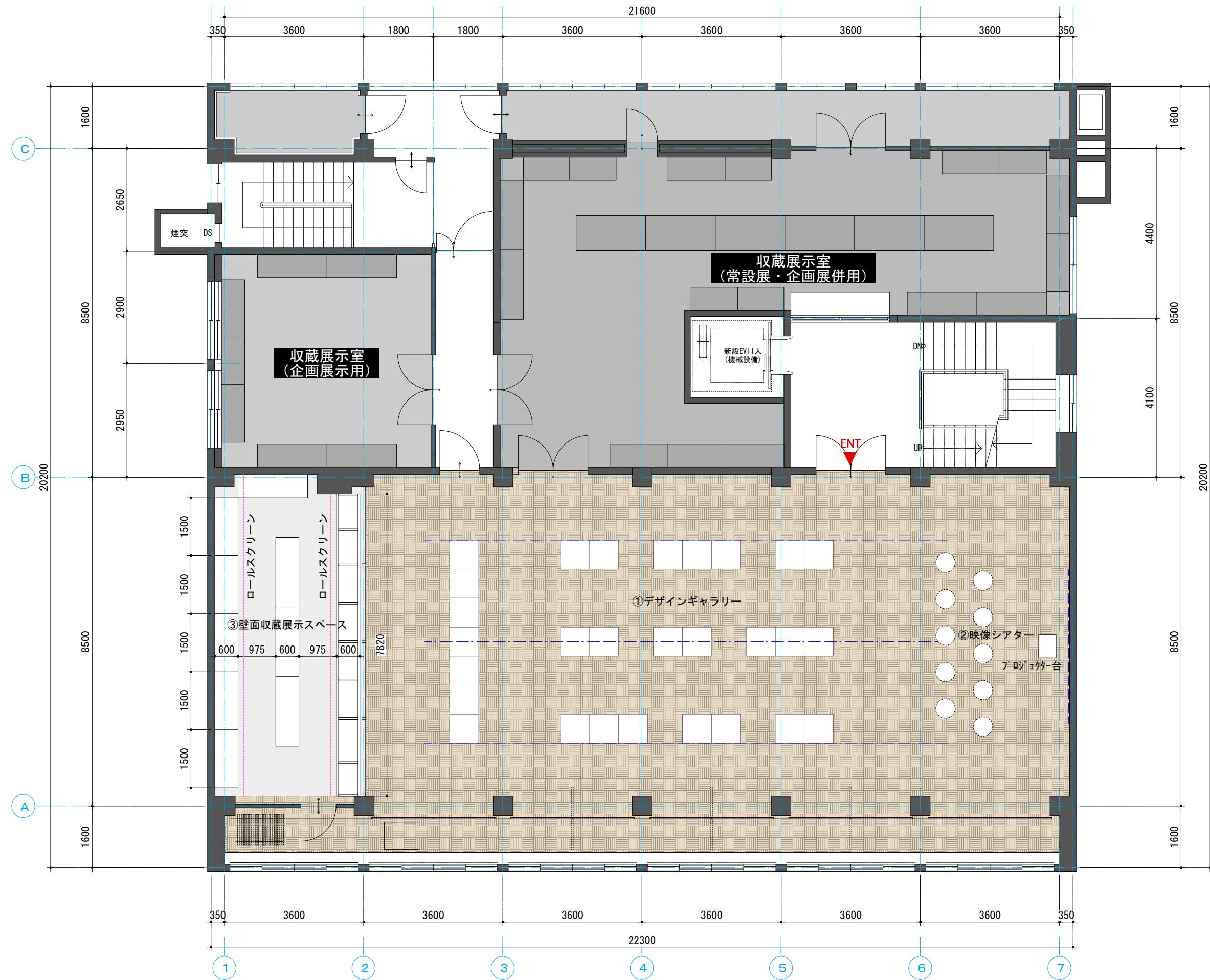


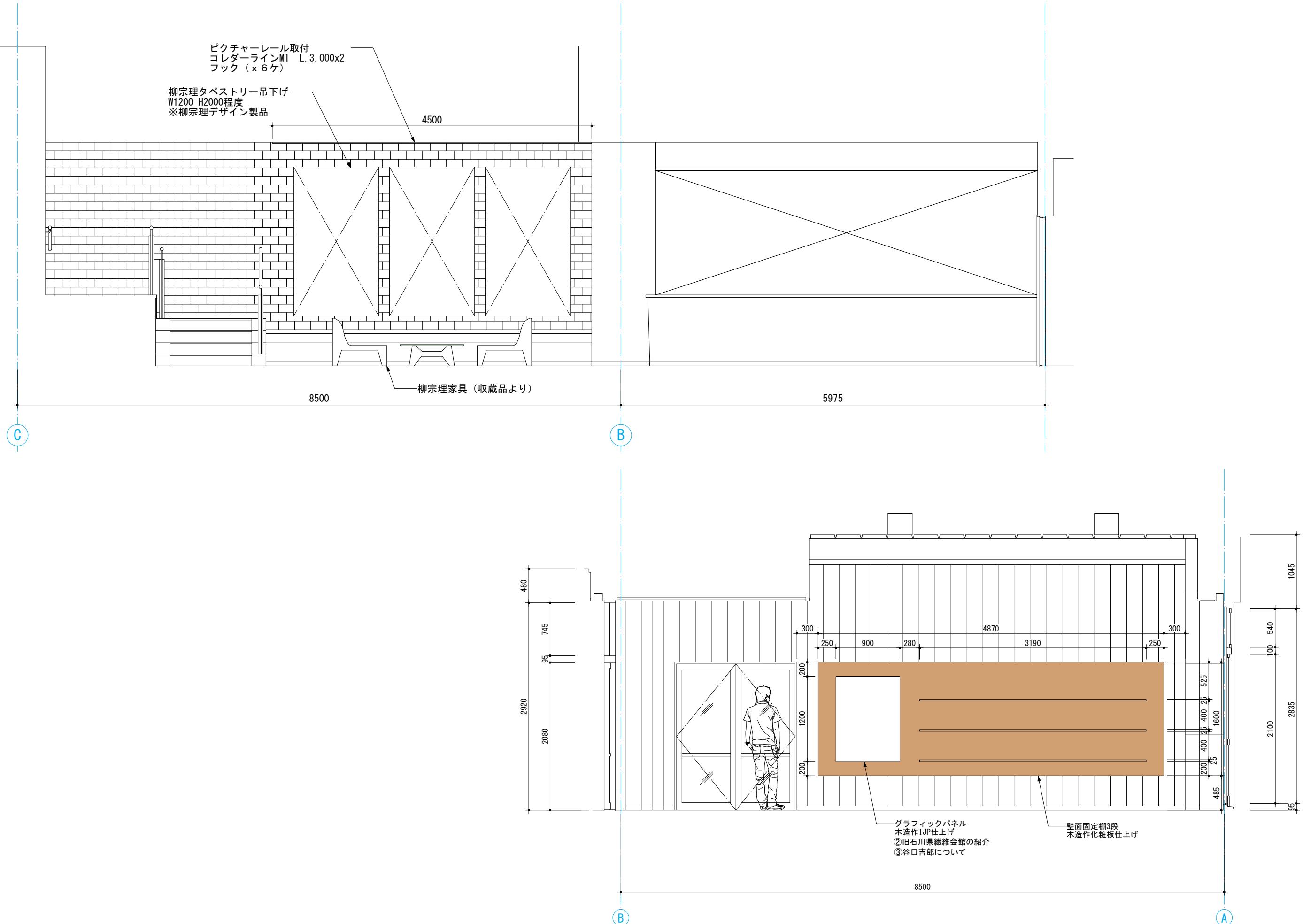
※屋外サイン工事(No.50)含む

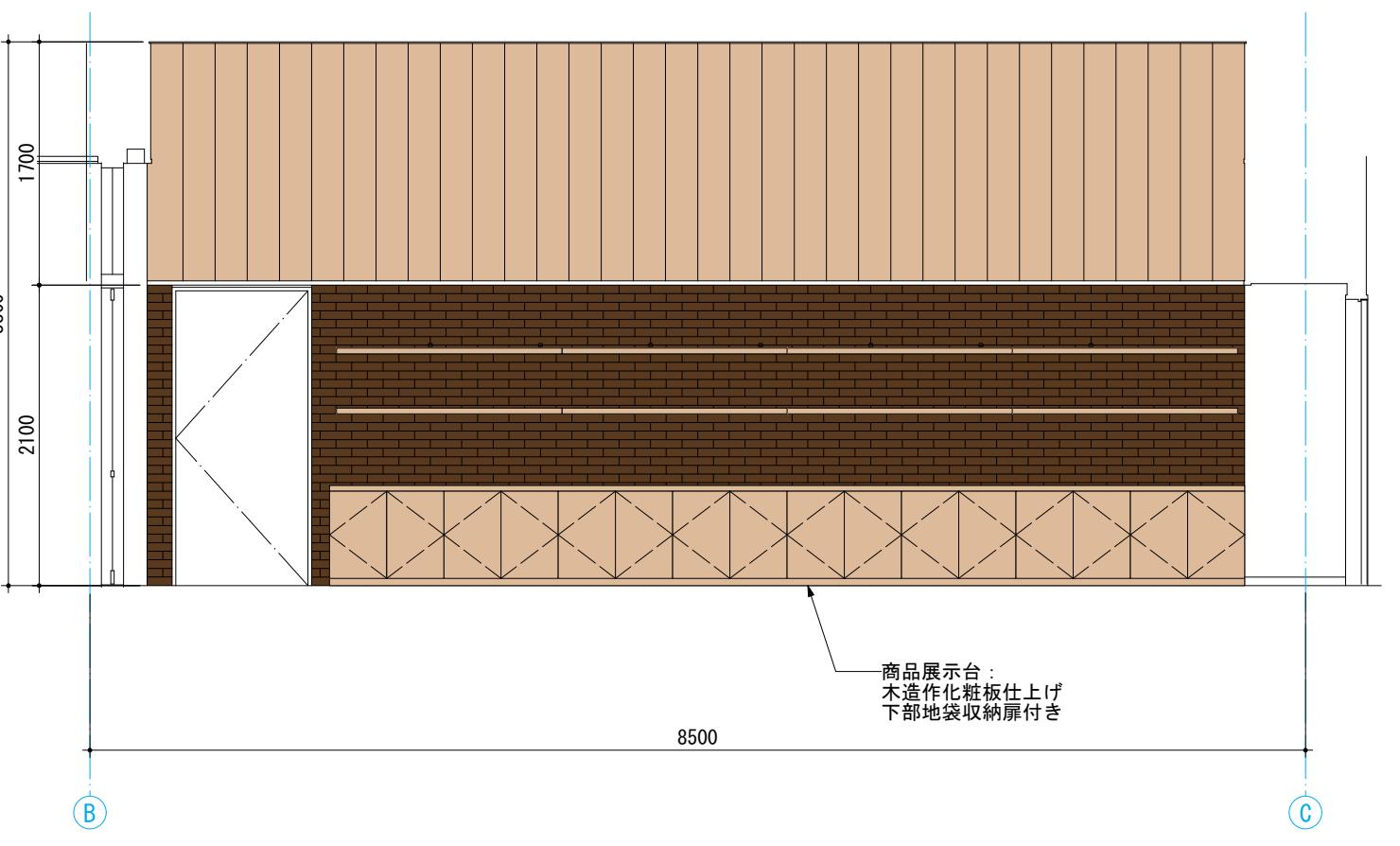
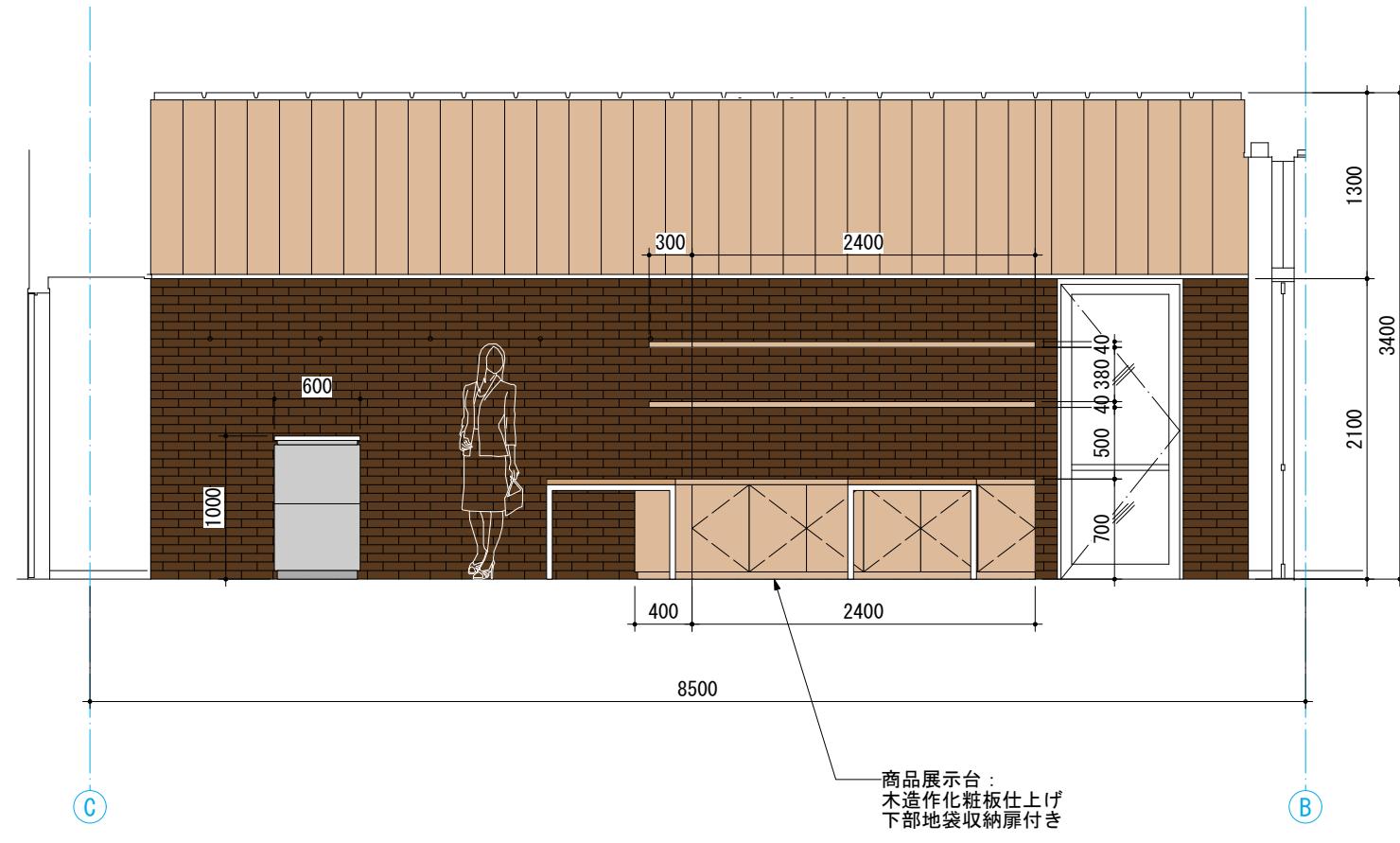
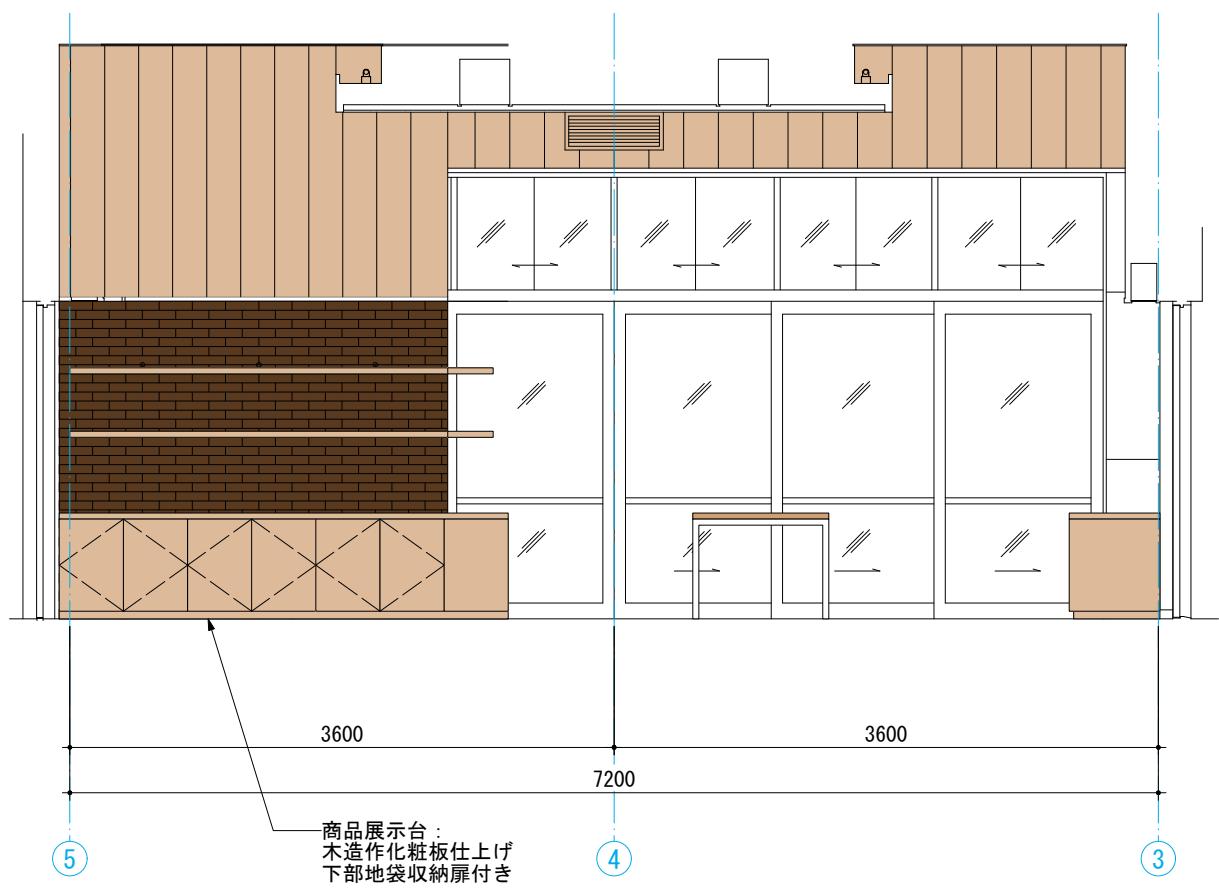
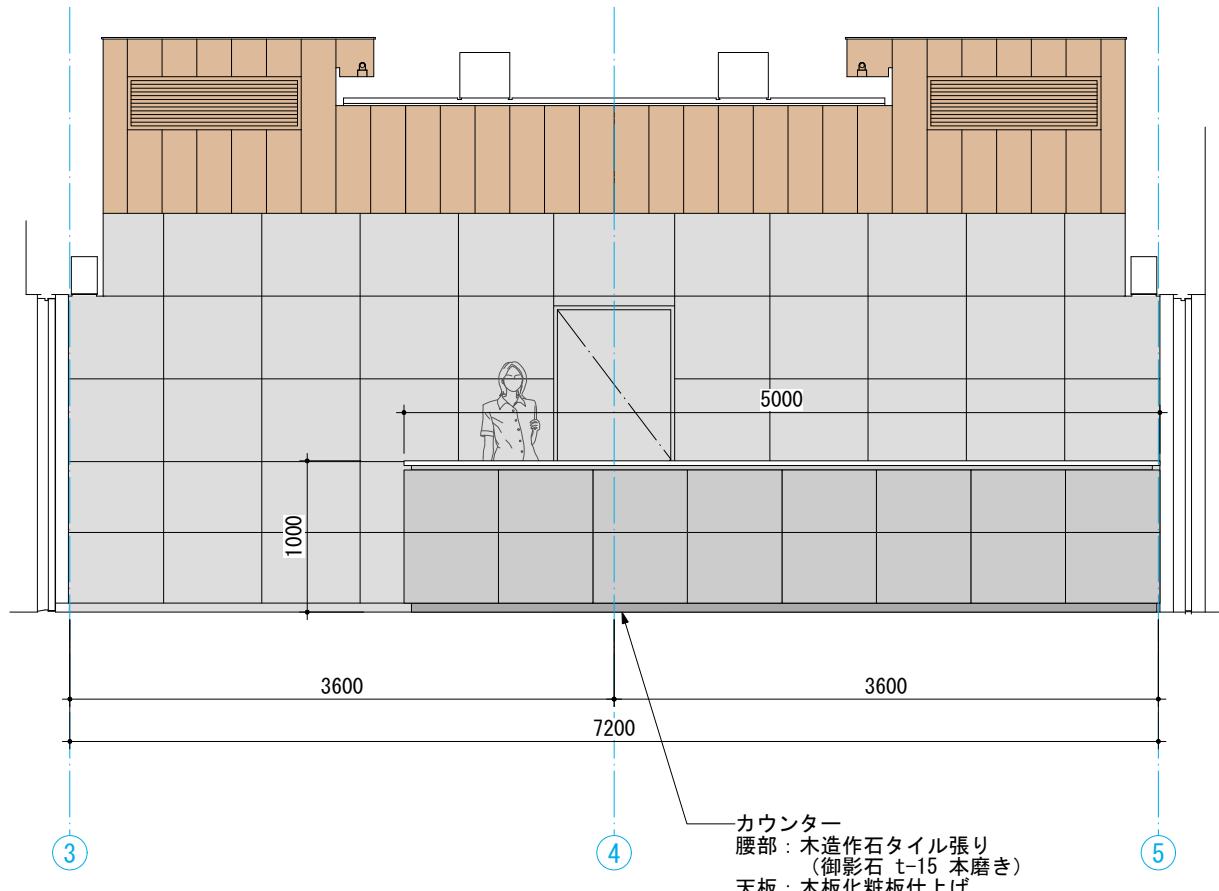
室名	展示コーナー名	造作	電気	照明	機器類	展示備品
1F	ホール	①谷口建築と柳デザインの対話	—		壁面ピクチャーレール	宗理家具(収蔵品より)
	カフェスペース	②旧石川県織維会館の紹介 木造化粧板仕上げ 表示: インジエットプリント	○		タブレット端末: iPad 10.9インチ、64GB (2台) タブレットスタンド (2台) 盗難防止タグ: MAMORIO FUDA ※機器に関しては同等品以上とする	テーブル: 天童木工/F-2740SG-NT (ナチュラル) × 4 イス: 天童木工/T-3035AS-NT (ナチュラル) × 16
	ミュージアムショップ	④柳製品を利用した ミュージアムカフェ&ショップ	○	ライコンセット: DNL-LCF700B K × 9本 電源コード共 棚板照明: LAMP LED-B-TAPE-1200型 下部間接照明: LAMP LED-B-TAPE-1200型		
	イベントスペース	⑤Event Space	—		壁付けロールスクリーン (研究所より購入)	
2F	展示室 1	①柳宗理との出会い	—			宗理照明(収蔵品より)
		②ごあいさつ	—			
		③柳宗理年譜	○	LED照明 DNL MC-LED4S 3500K		
		④柳宗理と金沢	○		モニター: SHARP PN-HY651 取付金具: FORVICE FFP-SW-T6060LF	
		⑤柳宗理 Design Chronicle	○	LED照明 DNL MC-LED4S 3500K		
	展示室 2	⑥柳宗理のデザイン思想	○	LED照明 DNL MC-LED4S 3500K		
		⑦柳宗理を知るキーワード	○		プロジェクター: Panasonic PT-MZ11KJ+ET-EMW200+取付金具 タッチセンサー+コントローラー他※映像機器リスト参照	
		⑧柳宗理のデザインプロセス	○	LED照明 DNL MC-LED4S 3500K		
		⑨柳宗理デザインの協力者たち	○	LED照明 DNL MC-LED4S 3500K		
		⑩柳宗理デザインにふれる	○	LED照明 DNL MC-LED4S 3500K	壁面ピクチャーレール	<p>■テーブルセット: 飛騨産業/YD354WP・YD261A × 4 ■ティーテーブルセット: 飛騨産業/YD101T・YD610 × 4 ■三角スツール × 2 ■キッキンツール: レードル(M) × 2、スキンマー × 2、バービーター × 1 泡立て器 × 1、ステレボウル(5コセット) × 1、パンチングストレーナー(4コセット) × 1 メソスクセル(ミラー/ツヤ消) × 各1、片手鍋(18,22cm) × 各1、 両手鍋(22cm:浅型・深型) × 各1、フライパン(18,25cm) × 各1、 カトラリー (ティースペード/ヒメカクx10pcs、ケイカクx5pcs) × 2セット ■ボーンチャイナシリーズ: コーヒーカップ&ソーサー × 4 ティーカップ&ソーサー × 4、ポット × 1、ショガボット × 1、クリーマー × 1 ステンレスプレート(18,25cm) × 各4、KIKYOボール(15,18cm) × 各4 グラス: ワイングラス(S) × 3、Yグラス (クリア,ブルー,アンバー) × 各1 ※想定 (BOX棚は研究所と要相談)</p>
廊下	⑪柳宗理デザインのアーカイブ & コレクションコーナー ⑫柳宗理デザイン研究所のアトリエ体感	木造化粧板仕上げ	○		43型タッチパネルDP PN-HW431T 350cd/m2、赤外線タッチ方式 表示用PC WIN 11 256GB 8GB 壁掛け金具 FORVICE FFP-SW-T400LF UPS BX35F 250W ※機器に関しては同等品以上とする	
収蔵庫			—			収蔵棚※別紙家具図参照
3F	展示室	①デザインギャラリー	(展示台) 天板: 木板化粧板仕上げ/脚部: スチール加工焼付塗装仕上げ アクリルカバー	—		
		②映像シアター		○	プロジェクター: PT-VMZ71J 7,000lm、レーザー式 可動式台: PR-2N スピーカー: HS3 アンプ内蔵、26W × 2 2台1組	エレファントツール × 10
		③壁面収蔵展示スペース	フレーム: 50x50 St-P加工焼付塗装仕上 天板: 木工下地布クロス貼り	○	マイクロスポットライト × 64台 TOKISTAR MLC03	ロールスクリーン
	収蔵庫	④収蔵展示室(企画展示用)		—		収蔵棚※別紙家具図参照
		⑤収蔵展示室(常設展・企画展併用)		—		収蔵棚※別紙家具図参照

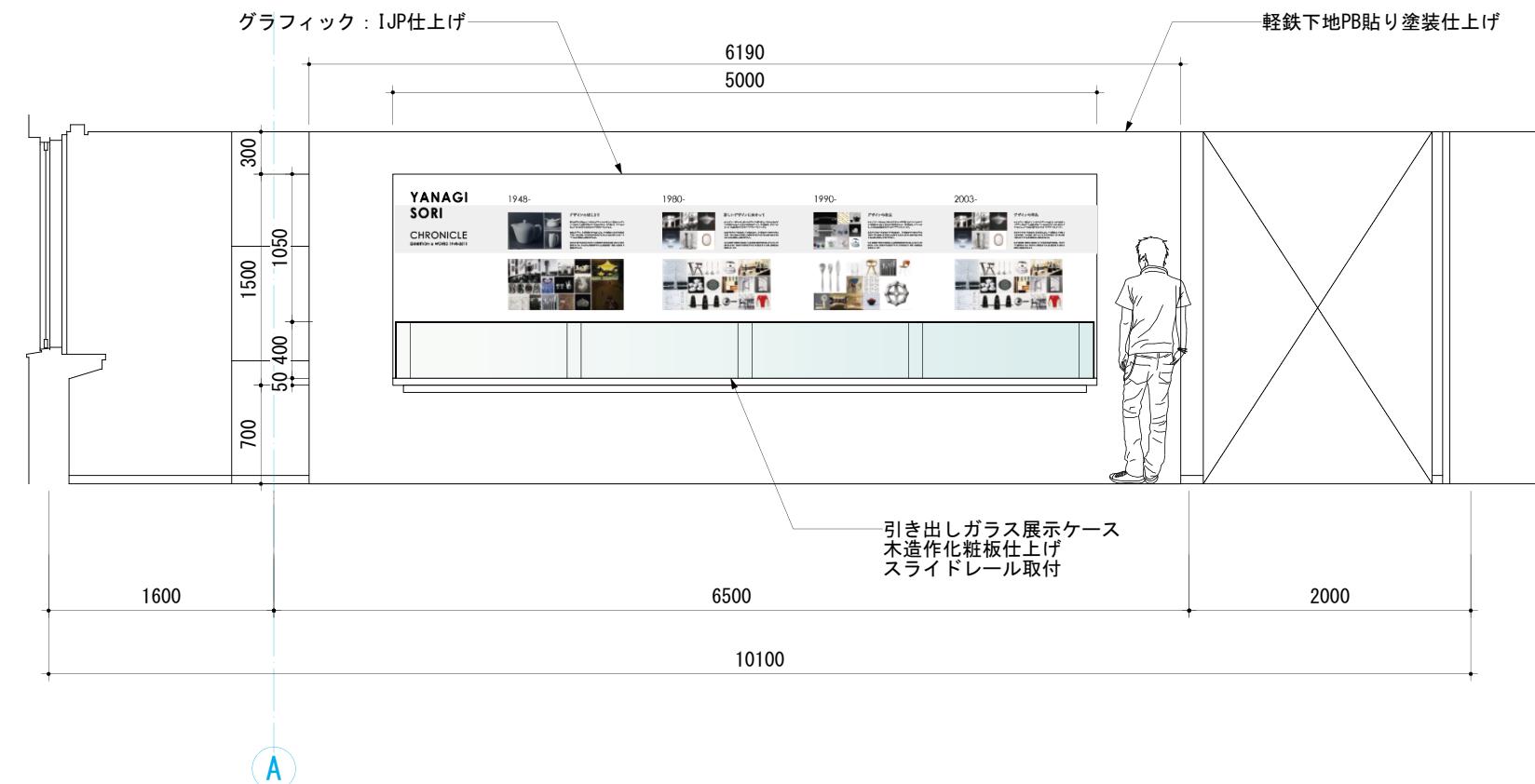
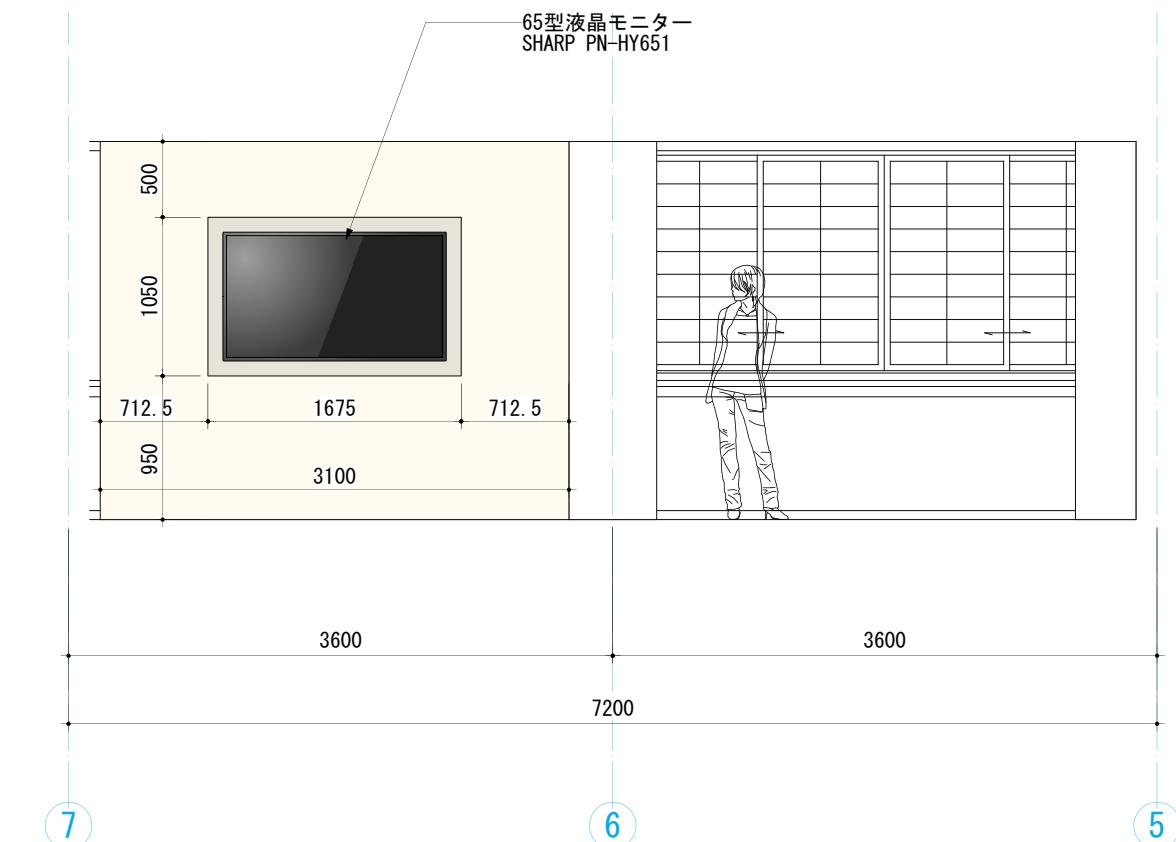
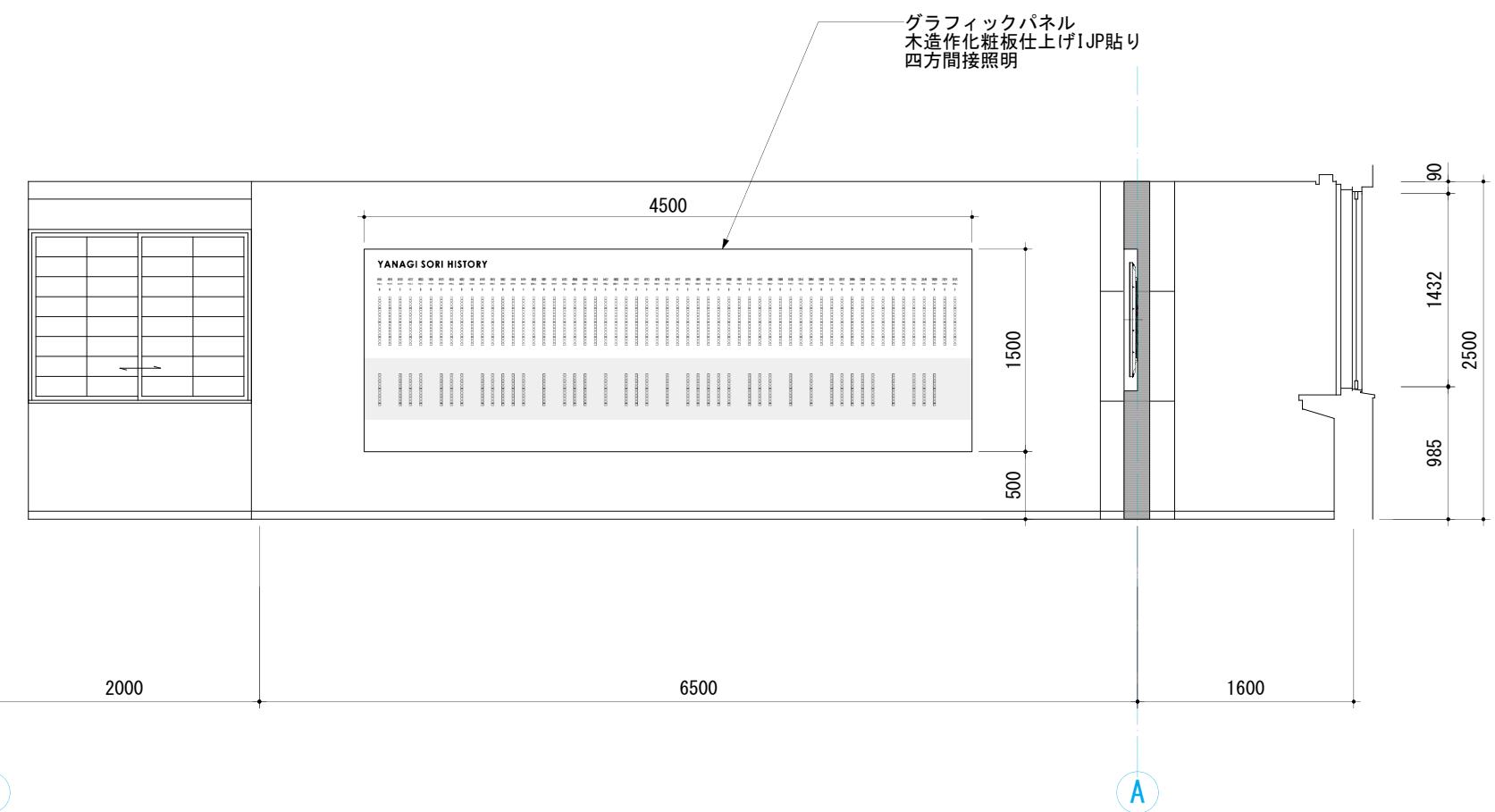
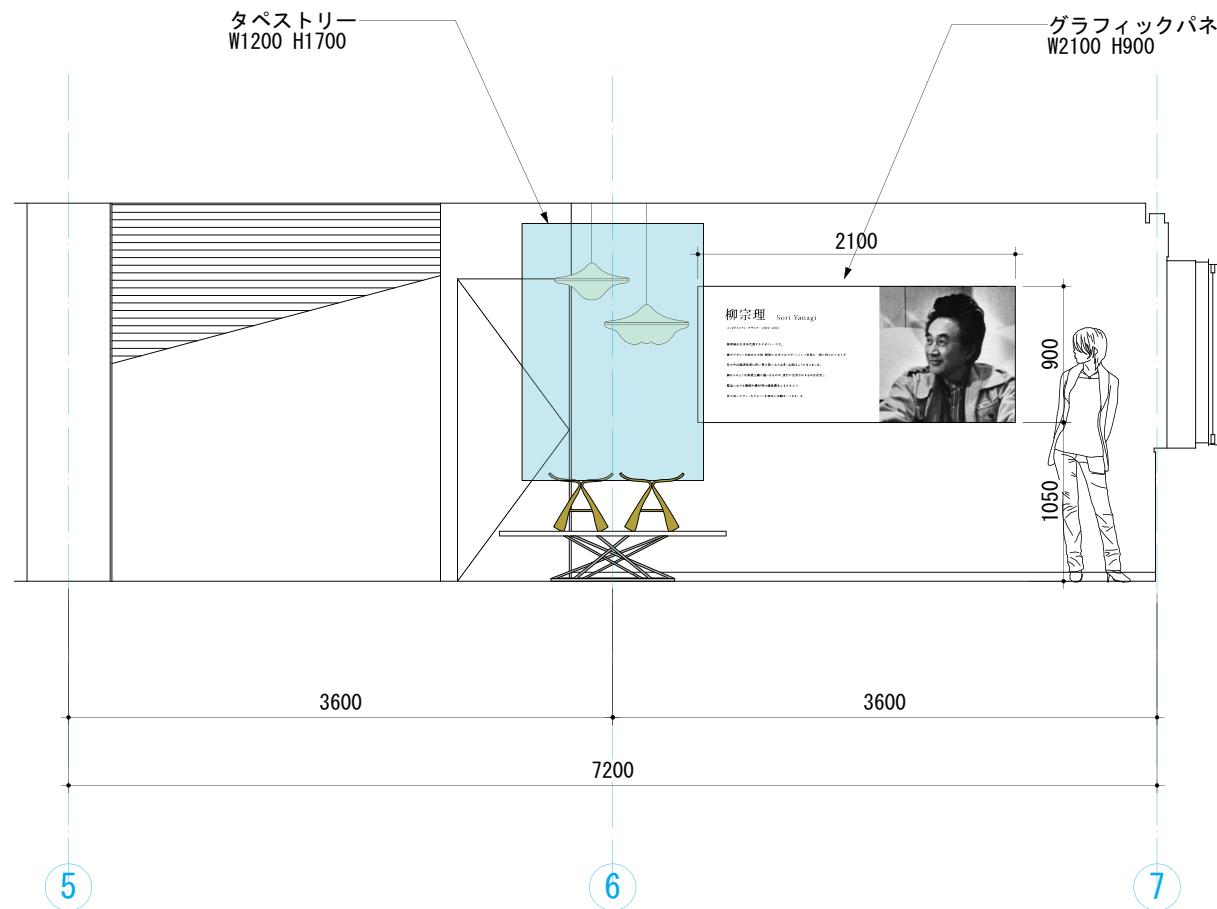


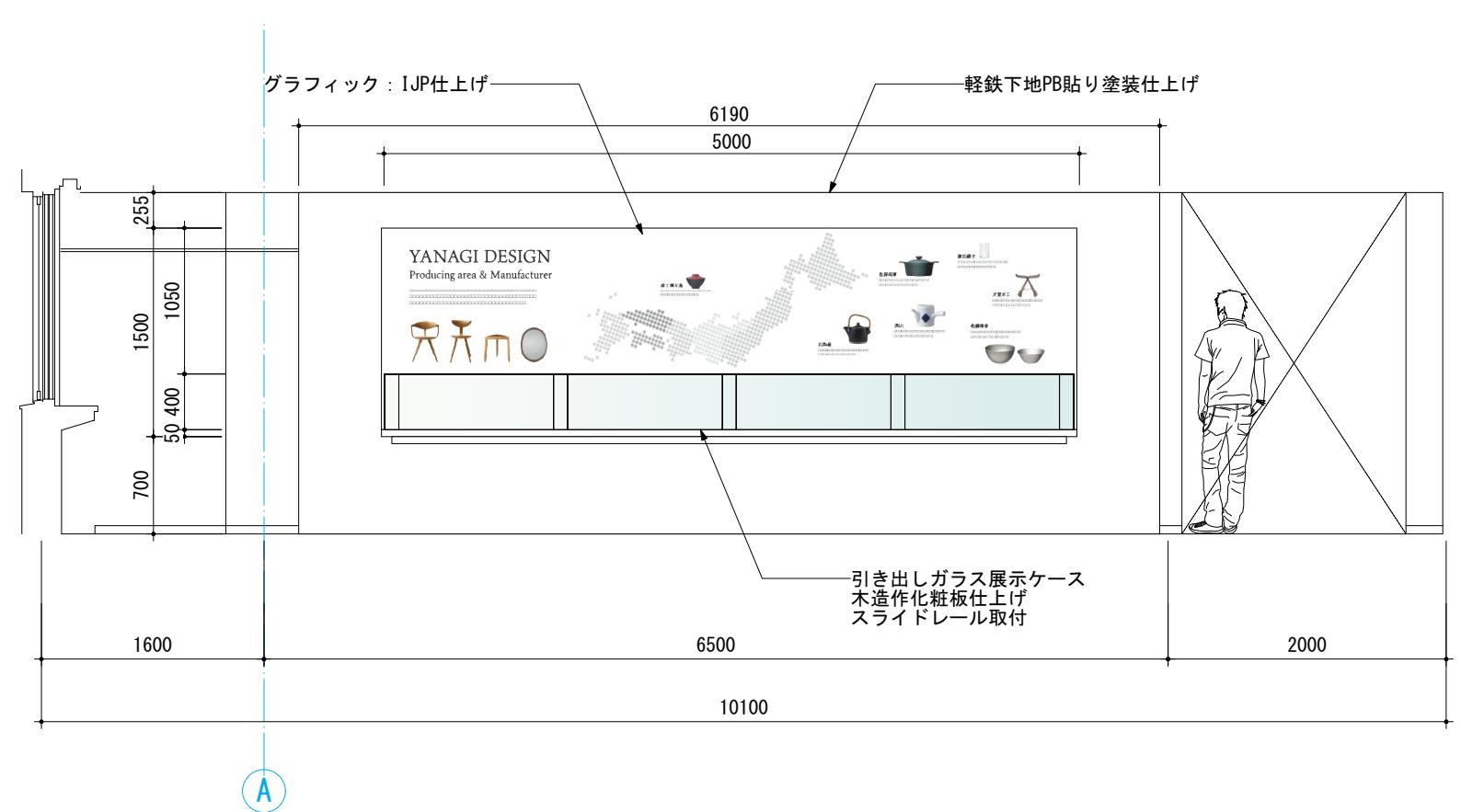
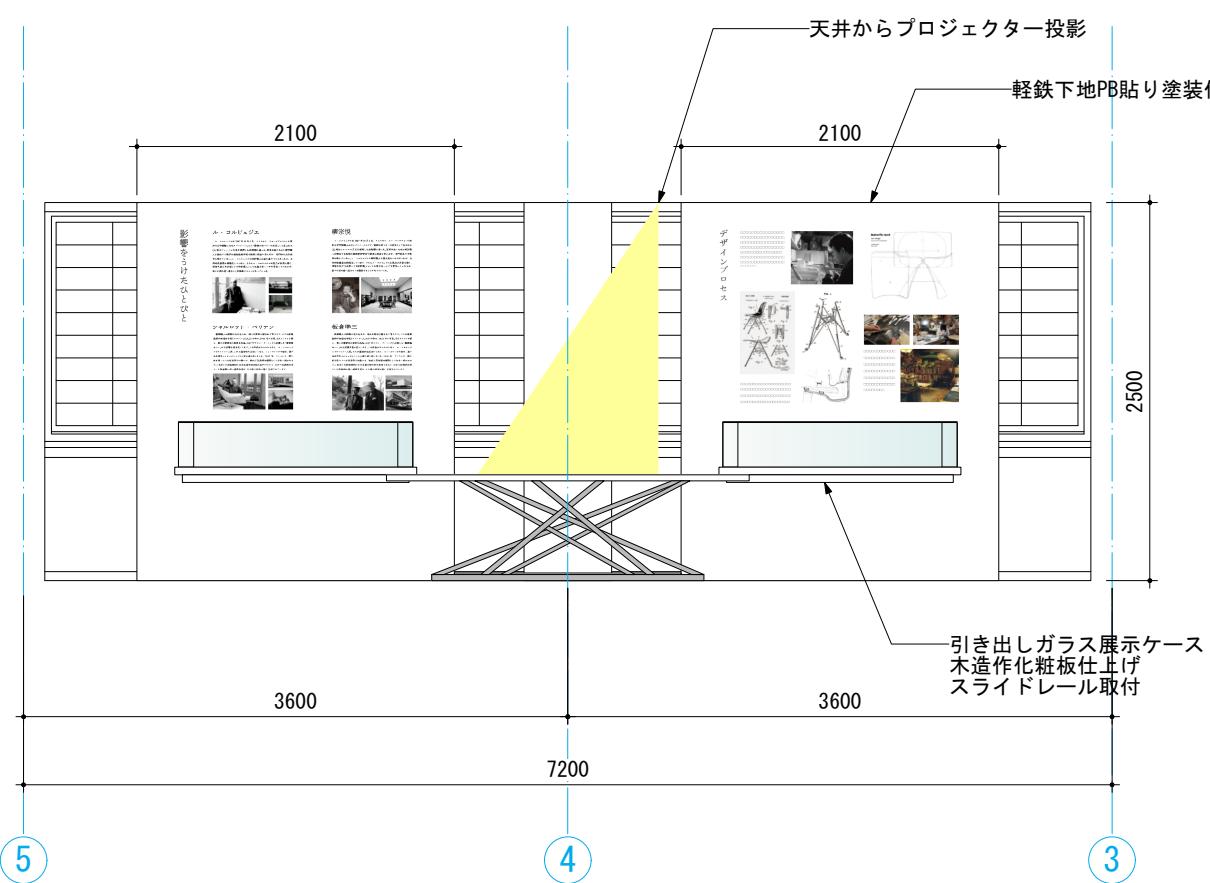
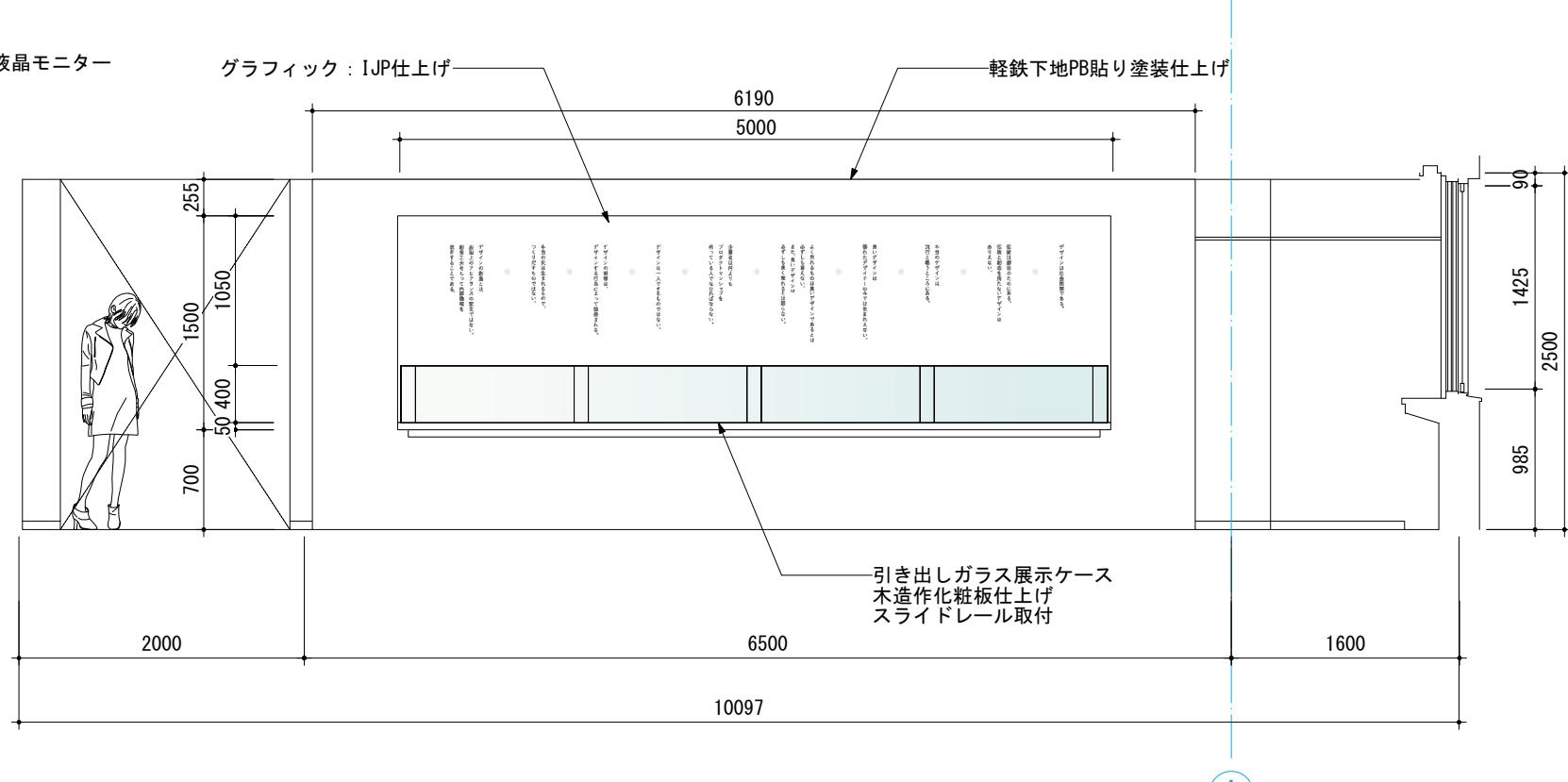
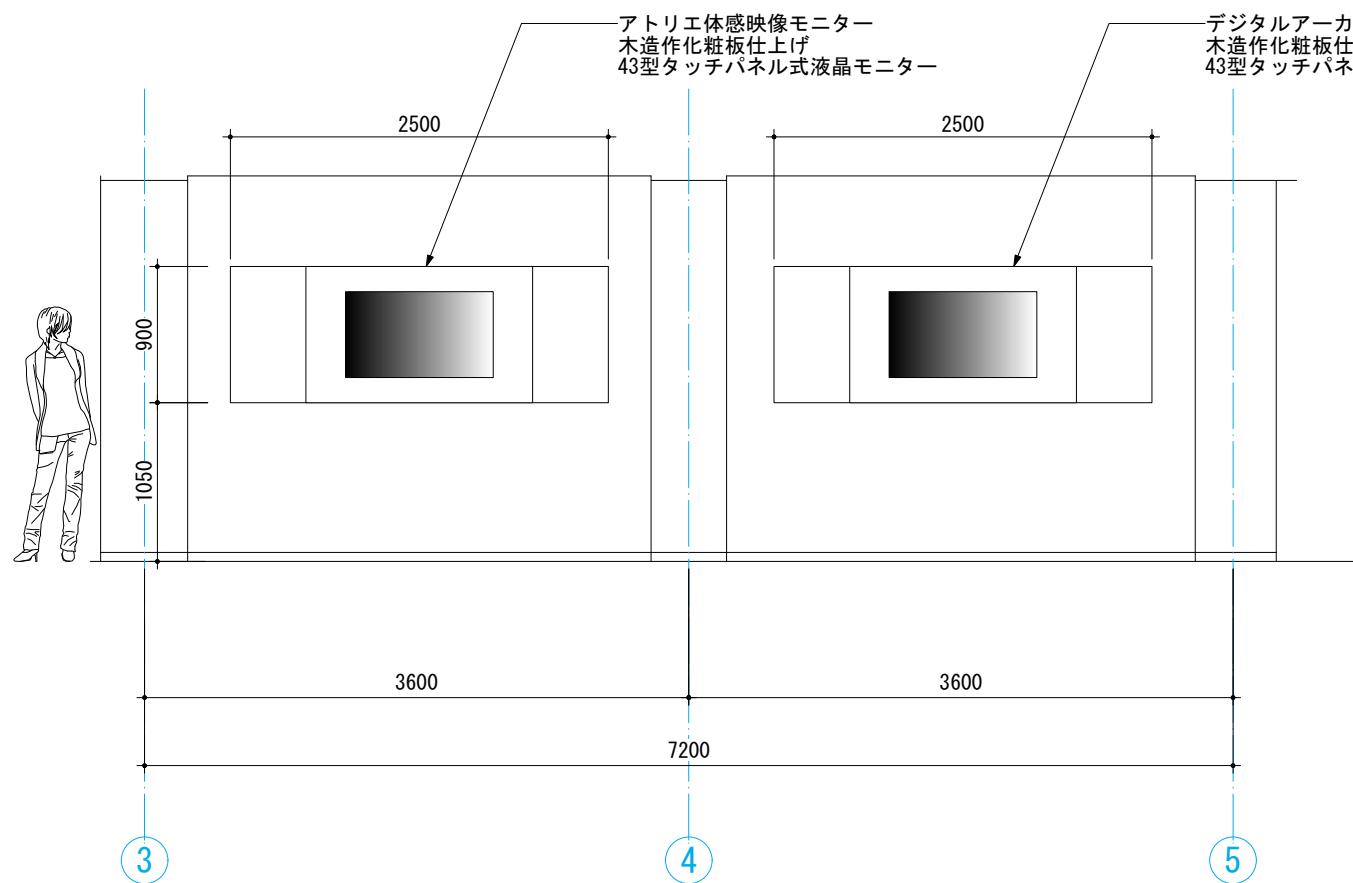


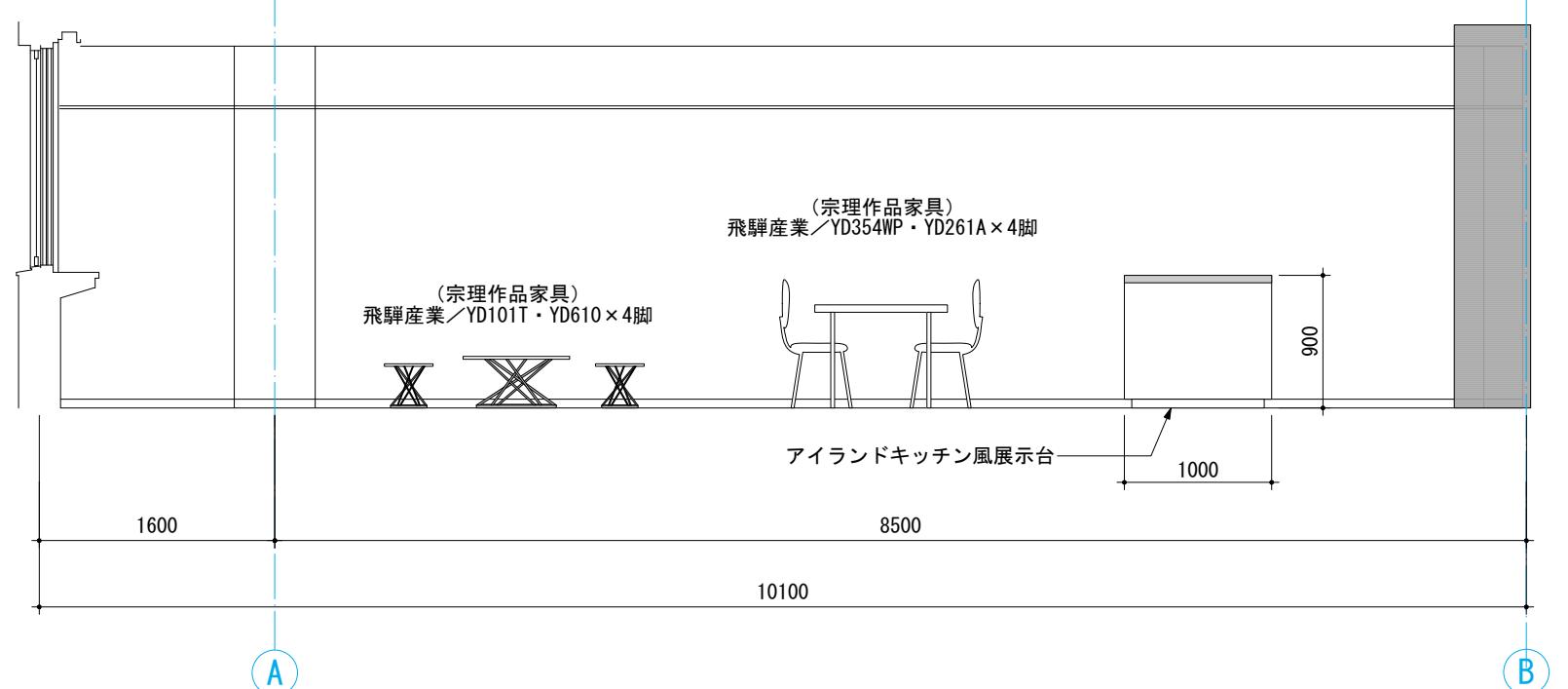
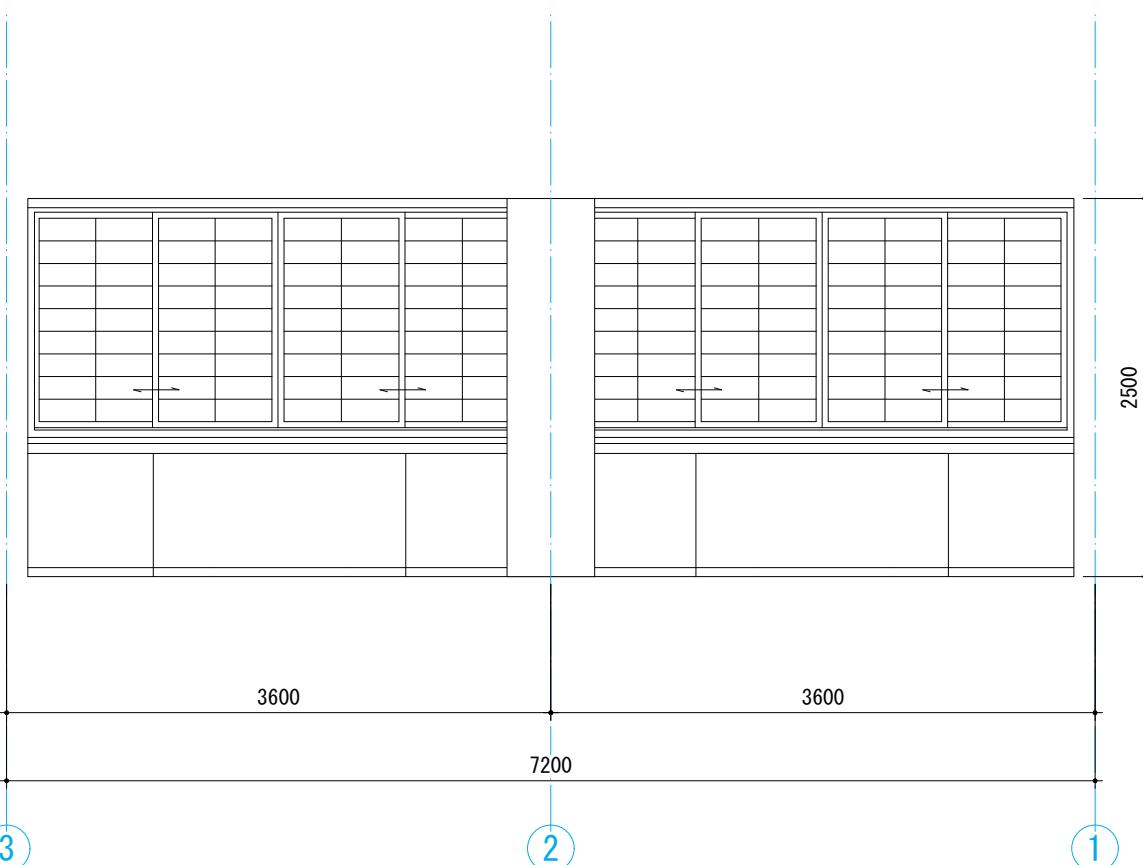
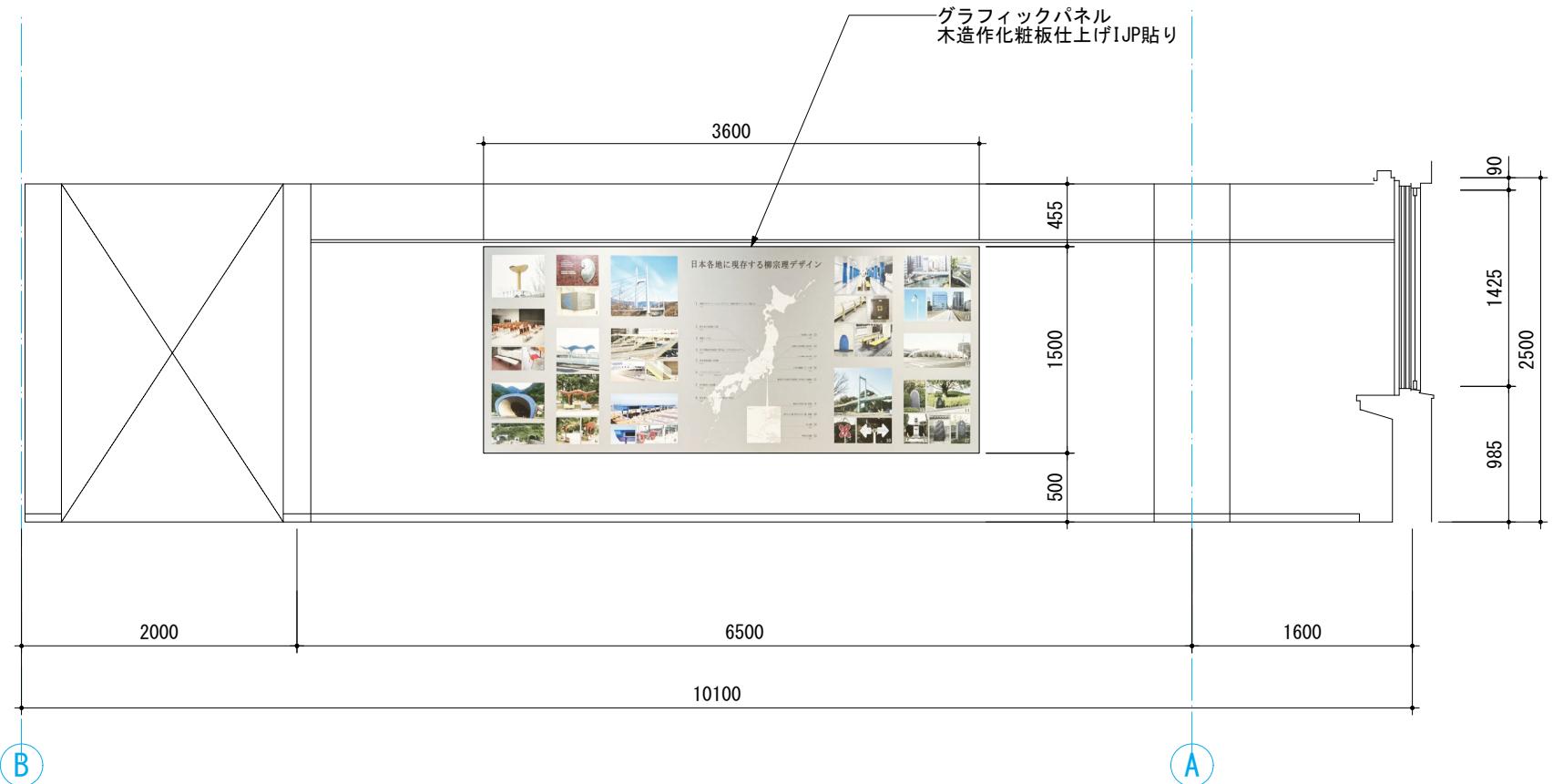
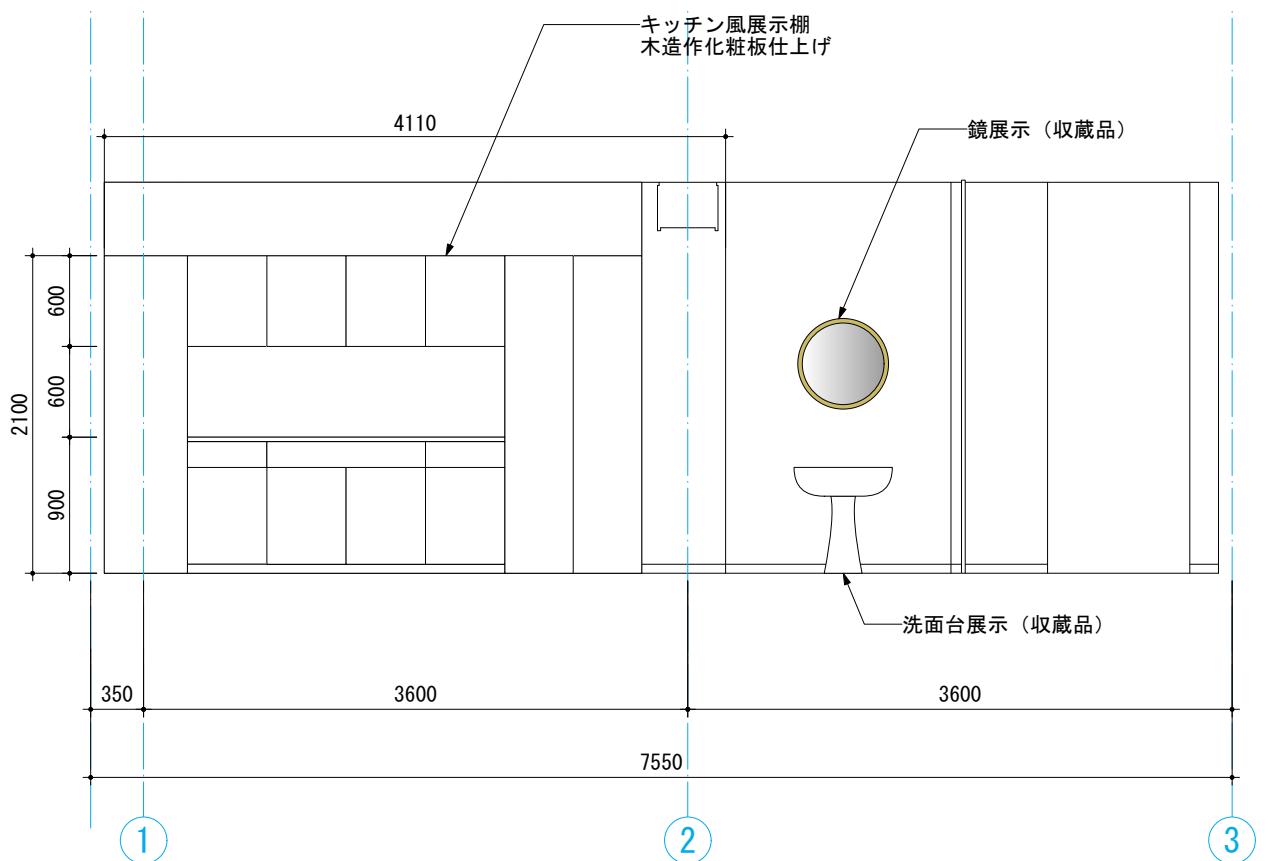


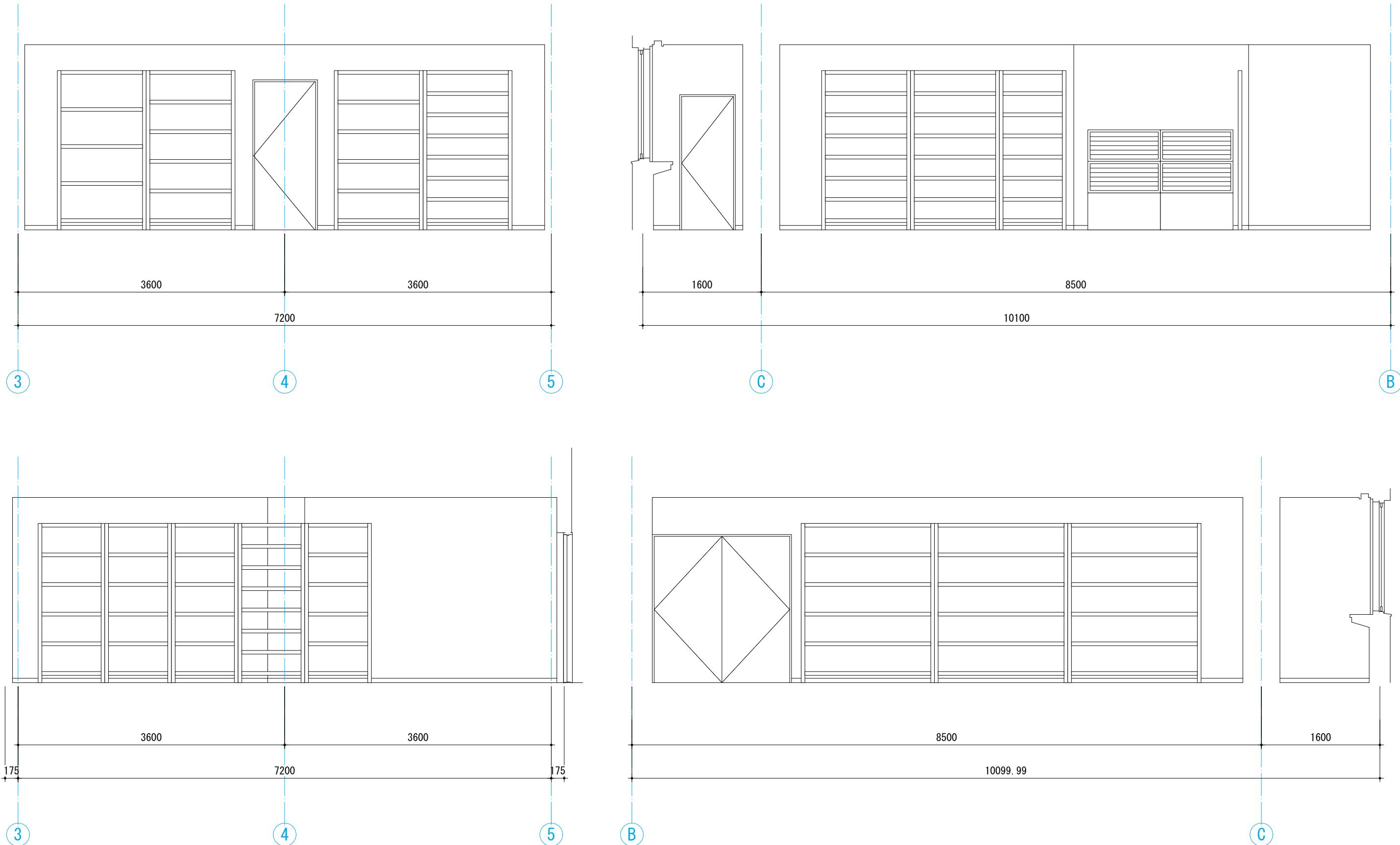


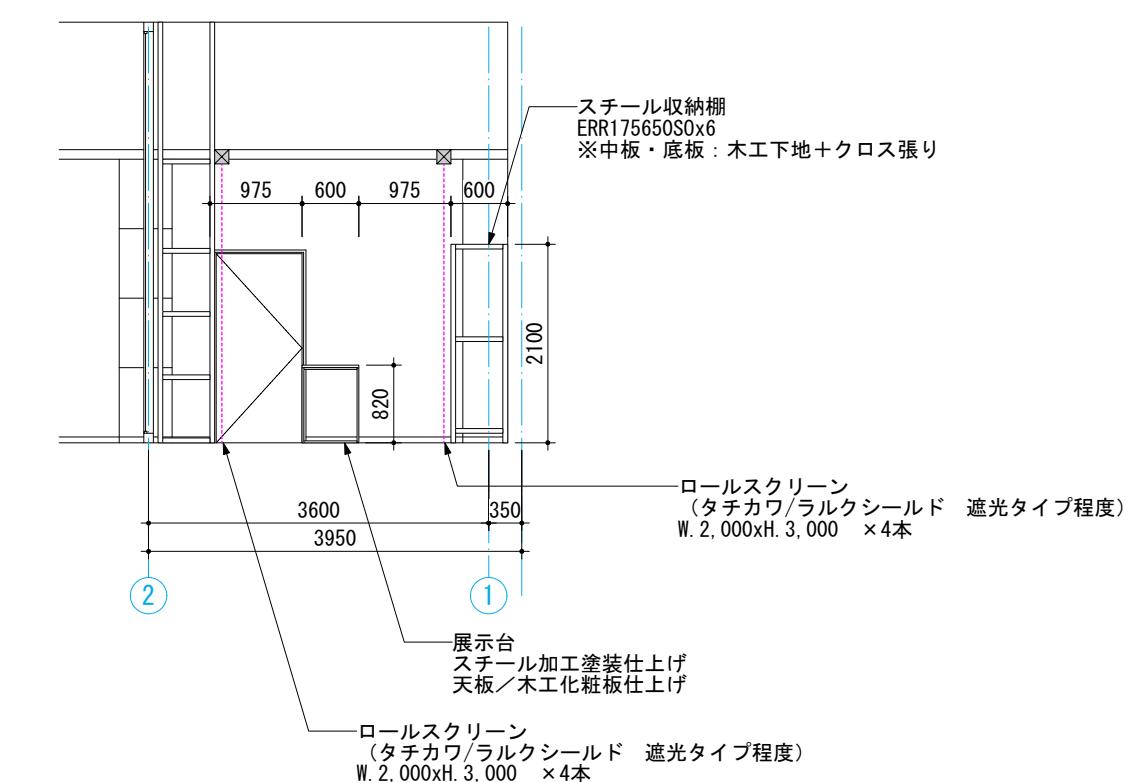
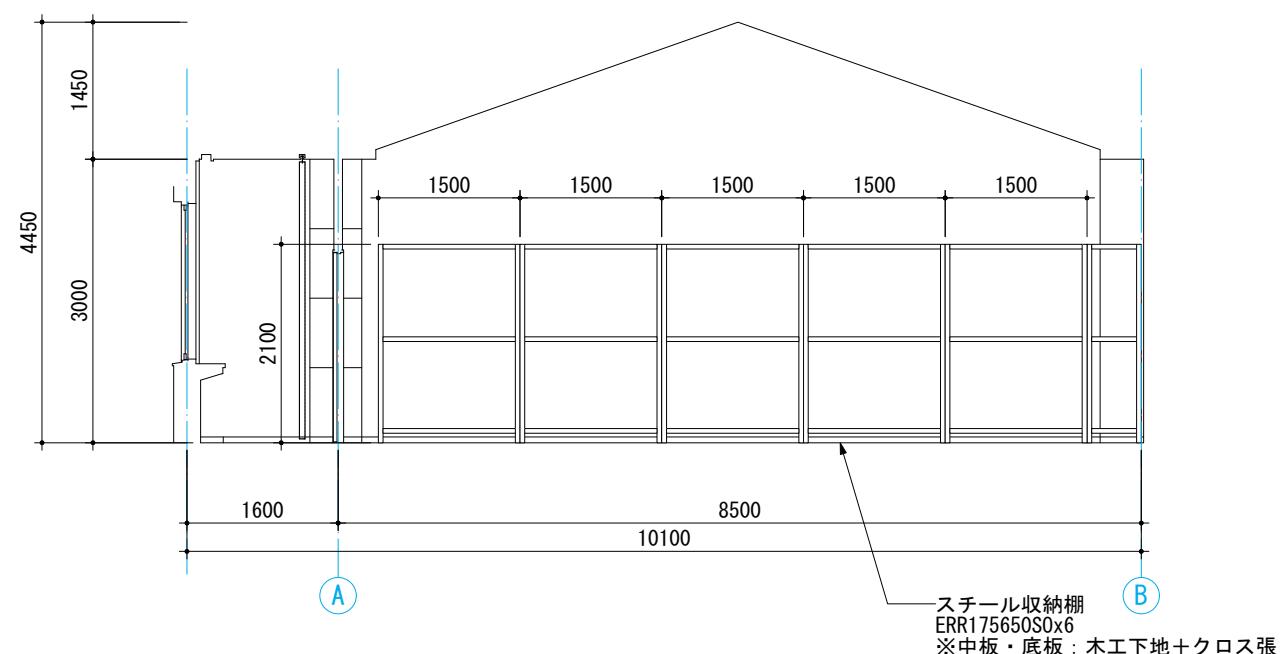
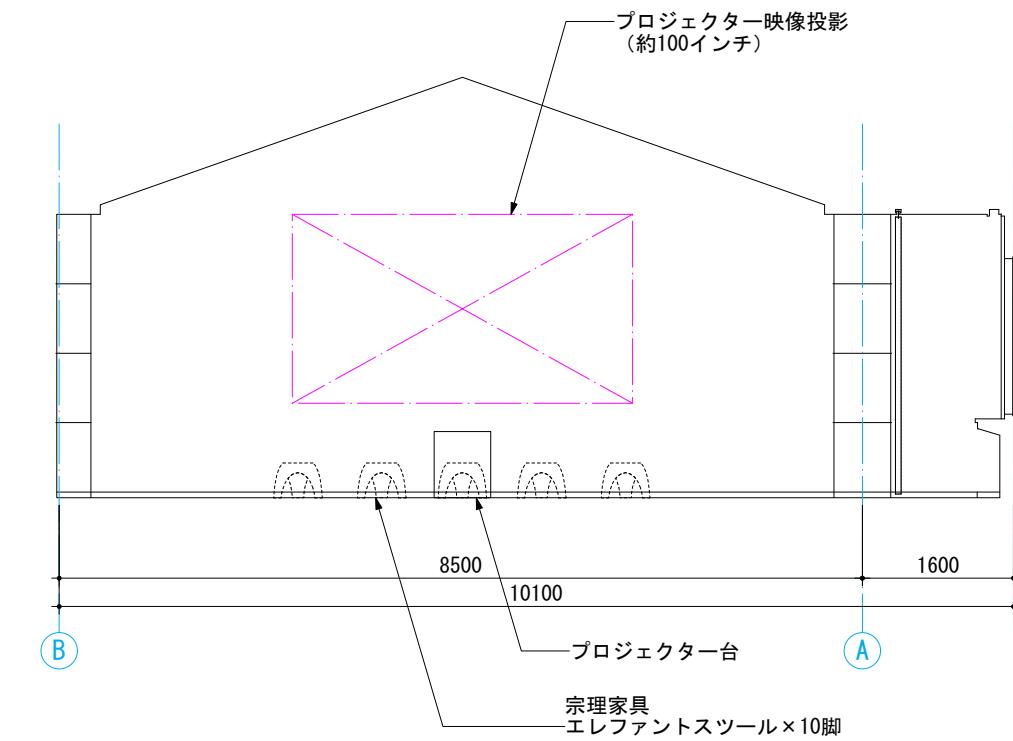
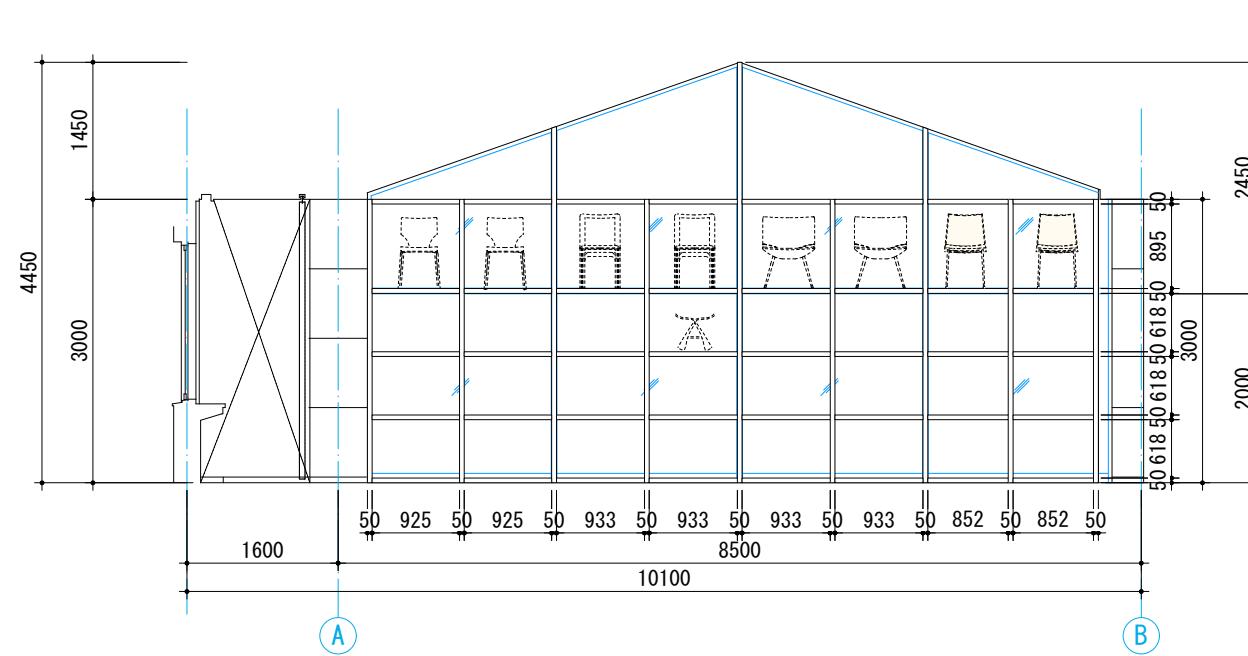




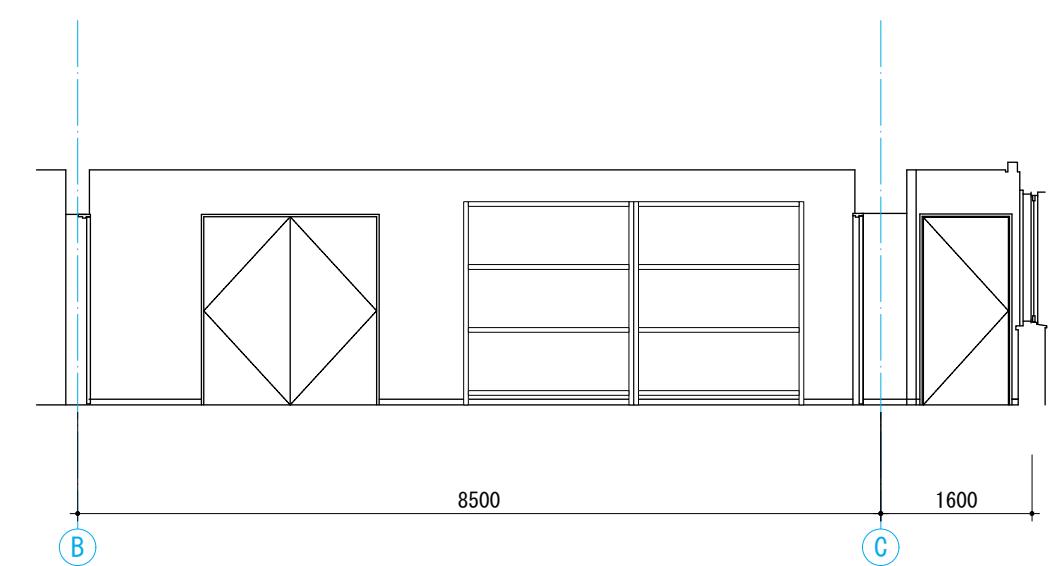
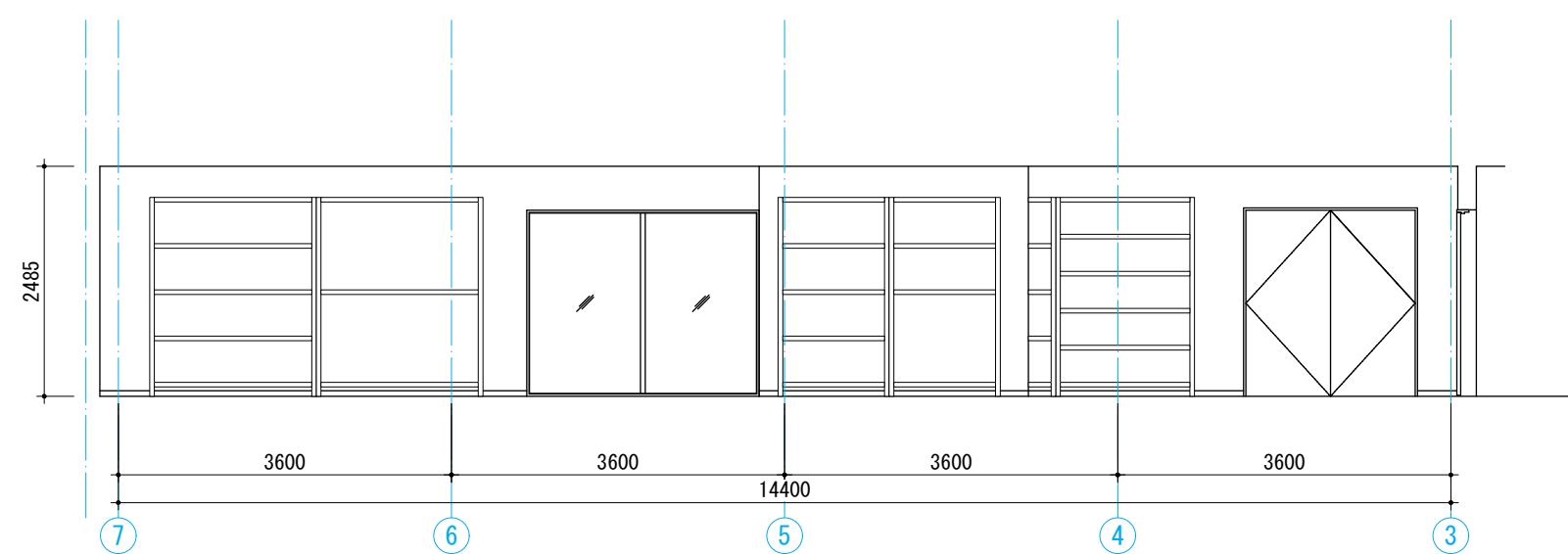
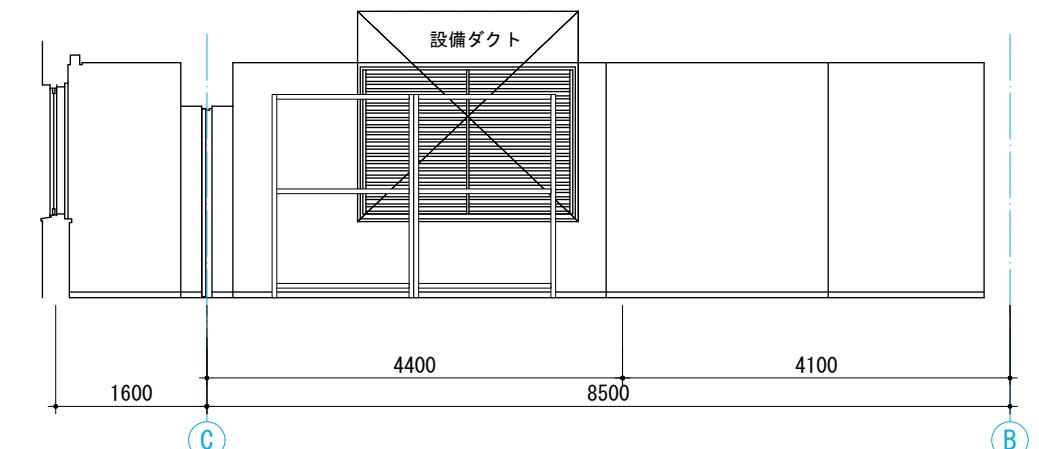
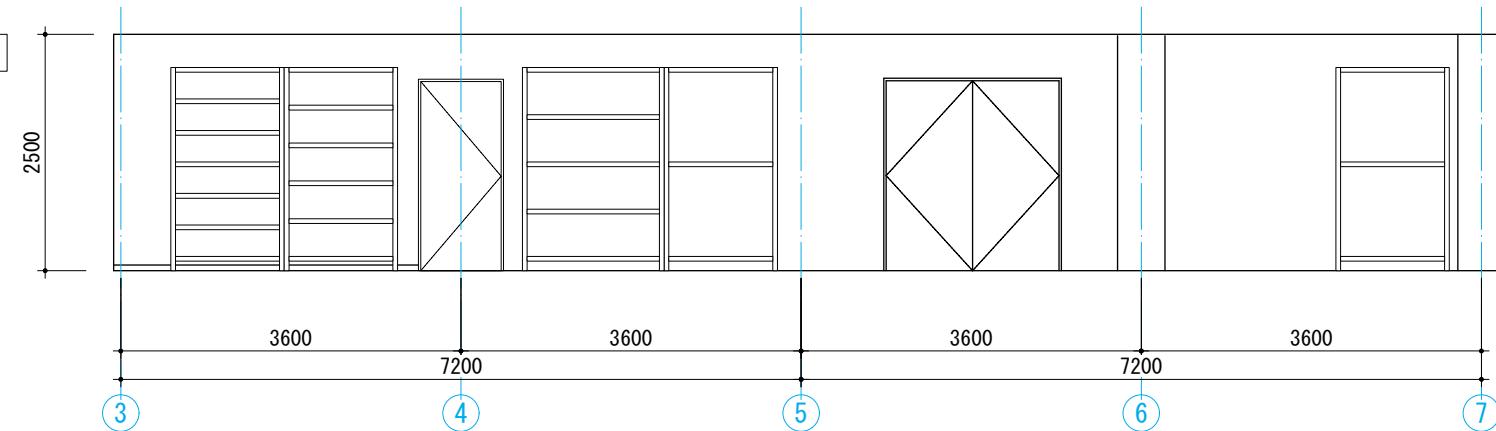




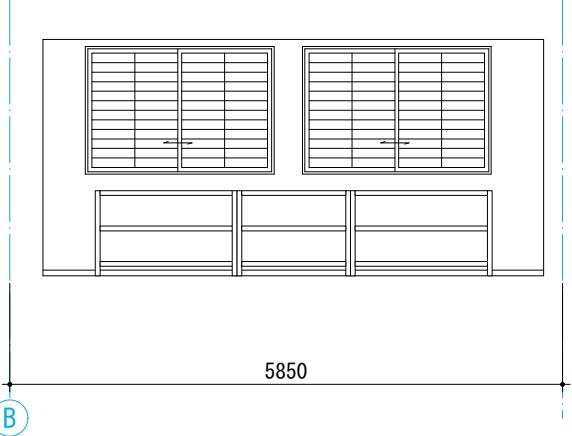
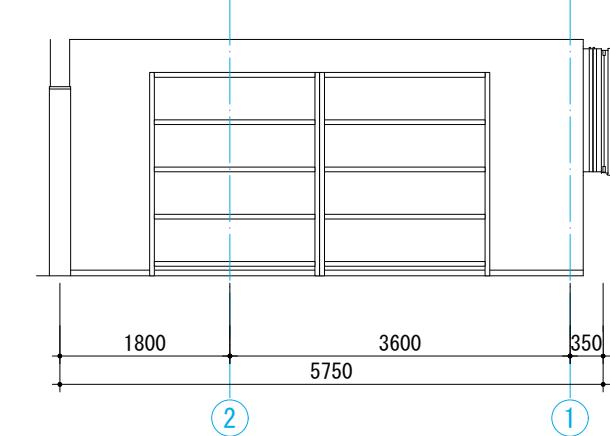
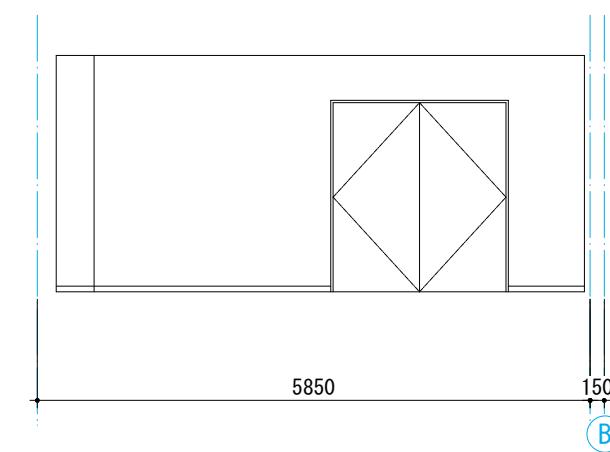
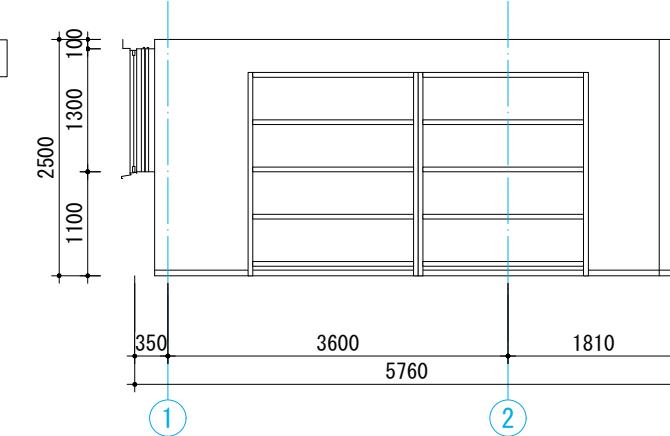


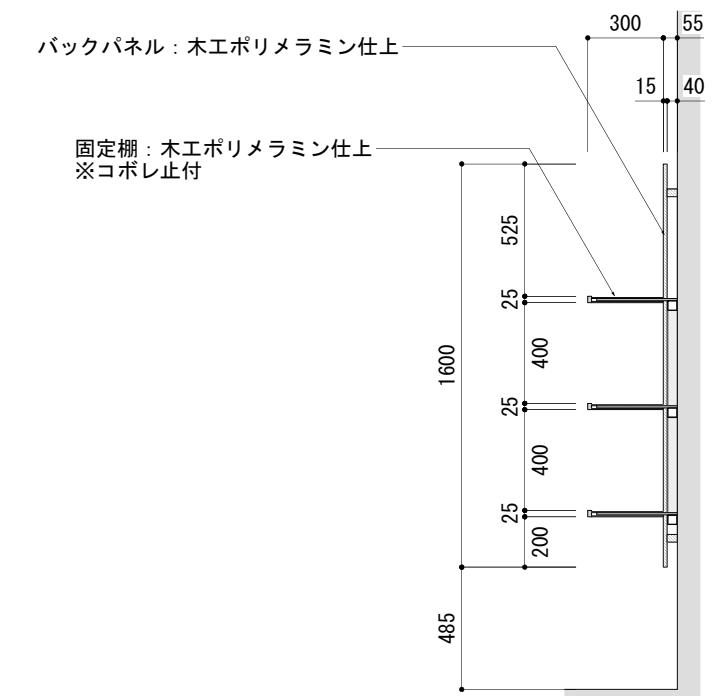
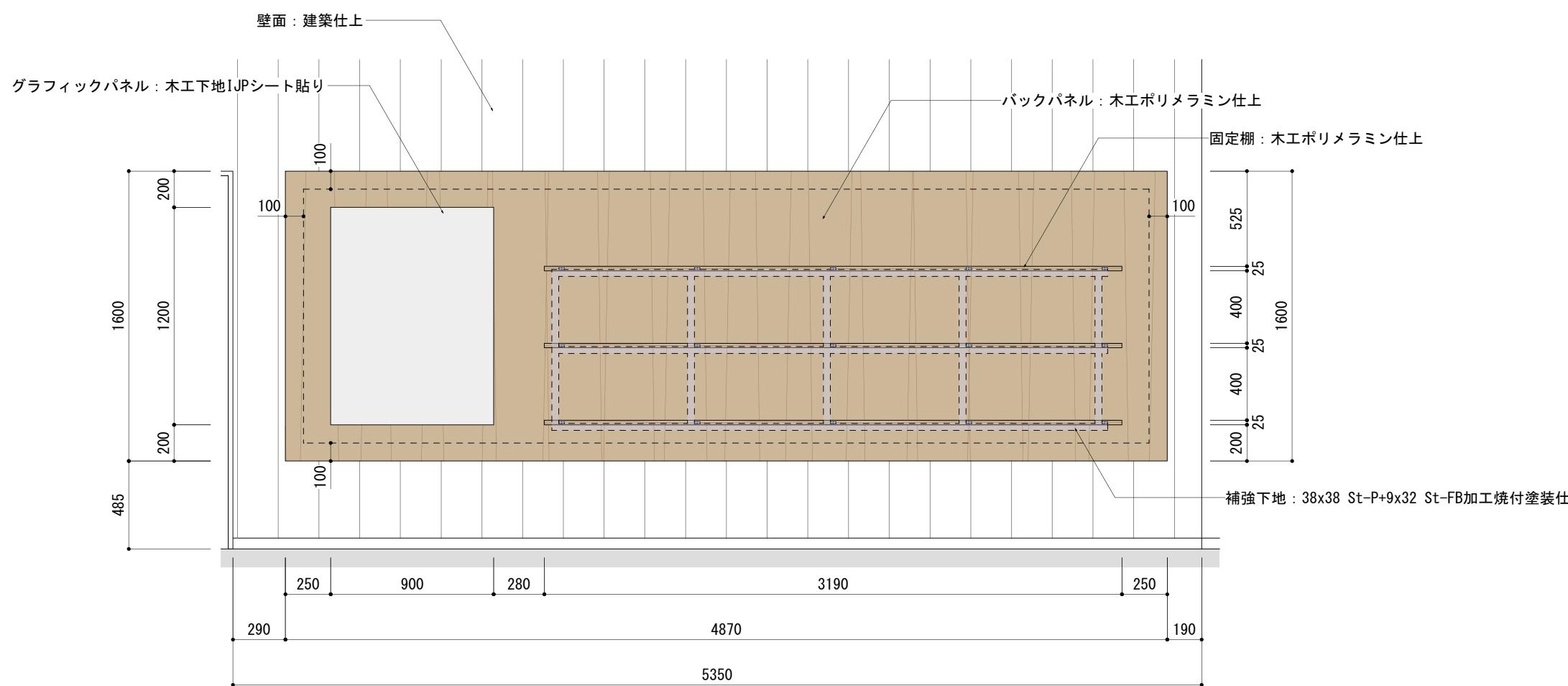
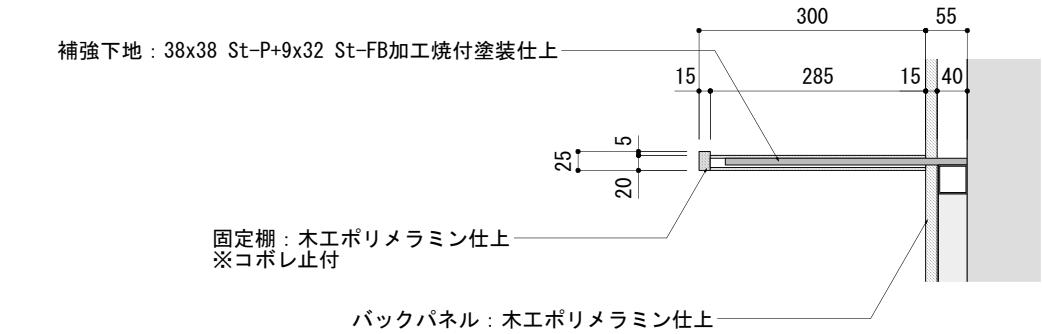
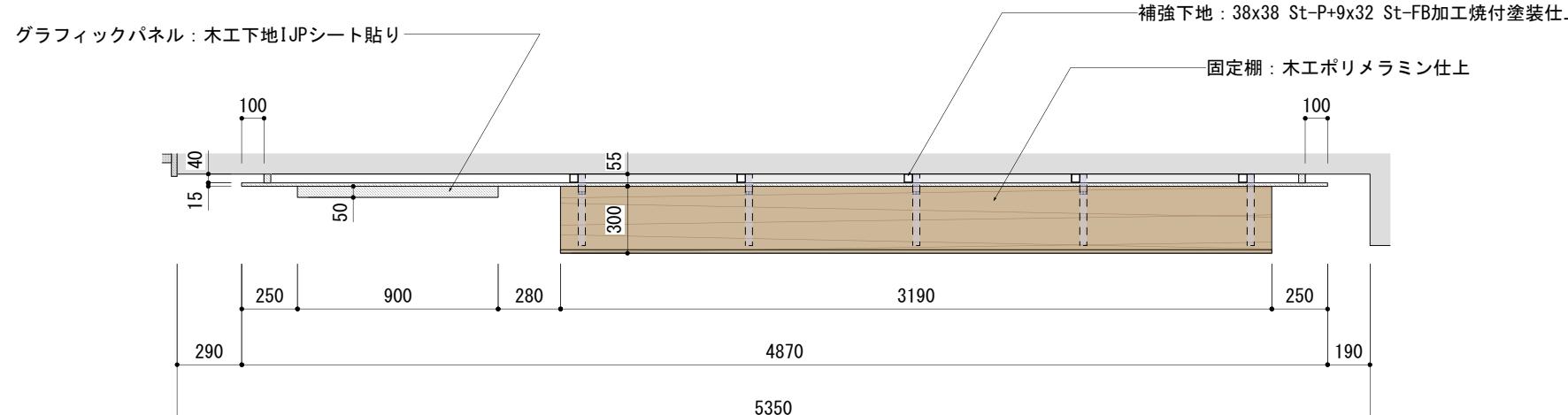


収納・収蔵庫

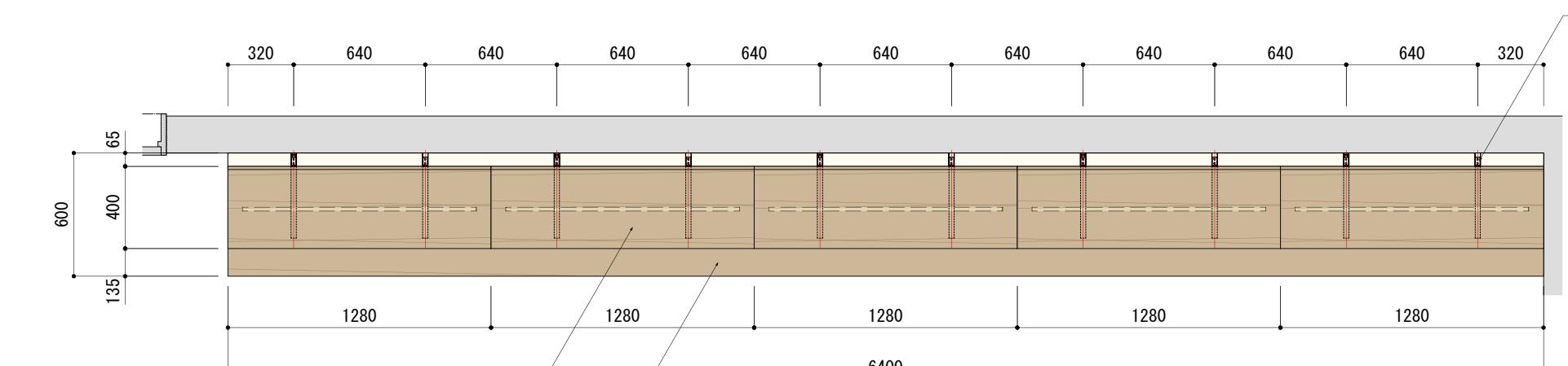


収蔵庫 2





※建築平面図と展開図の相違
あるため現場寸法要確認
※壁面下地位置確認

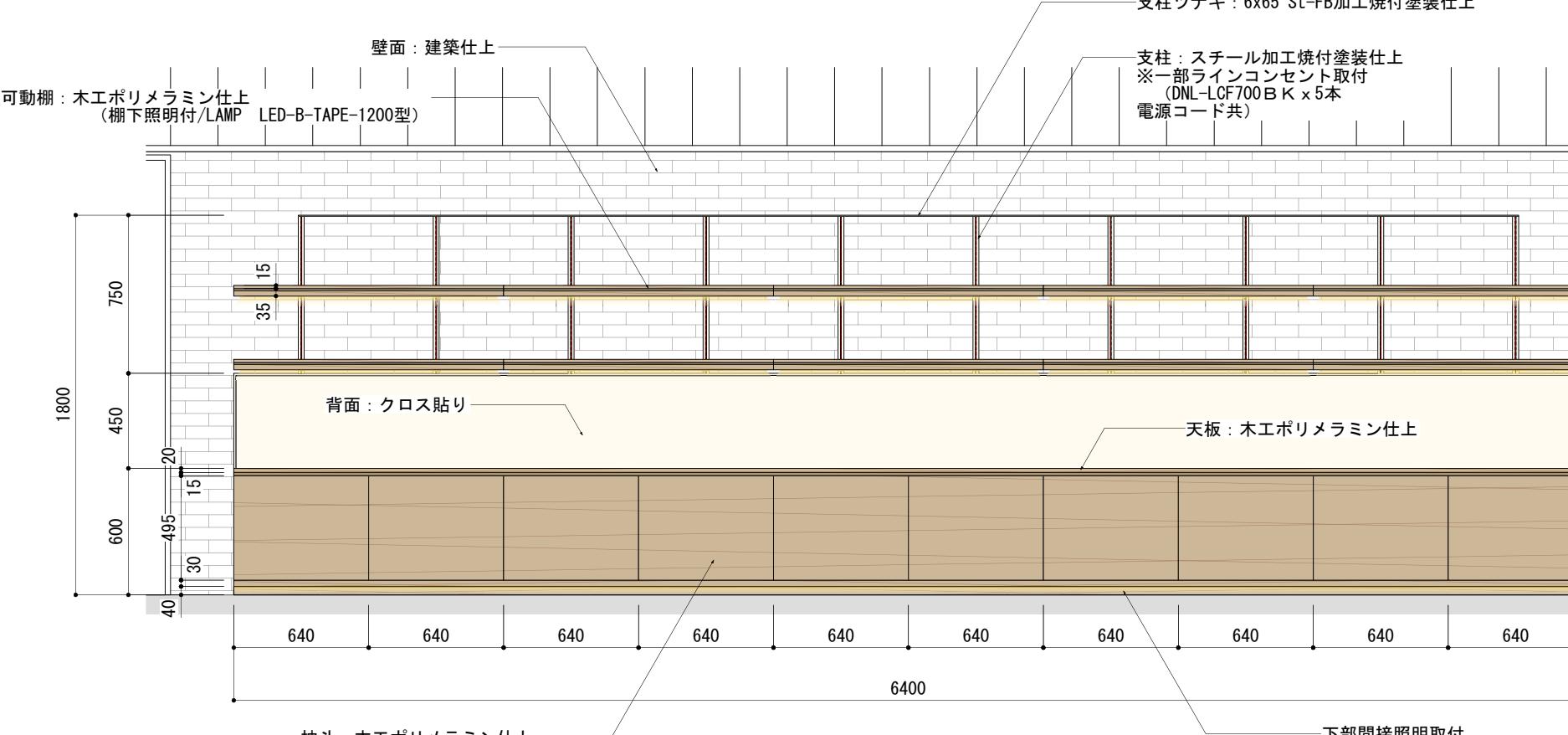


支柱: スチール加工焼付塗装仕上
※一部ラインコンセント取付
(DNL-LCF700BK x 5本 電源コード共)

可動棚: 木工ポリメラミン仕上
(棚下照明付/LAMP LED-B-TAPE-1200型)

天板: 木工ポリメラミン仕上

可動棚: 木工ポリメラミン仕上
(棚下照明付/LAMP LED-B-TAPE-1200型)



支柱ツナギ: 6x65 St-FB加工焼付塗装仕上
支柱: スチール加工焼付塗装仕上
※一部ラインコンセント取付
(DNL-LCF700BK x 5本 電源コード共)

背面: クロス貼り

天板: 木工ポリメラミン仕上

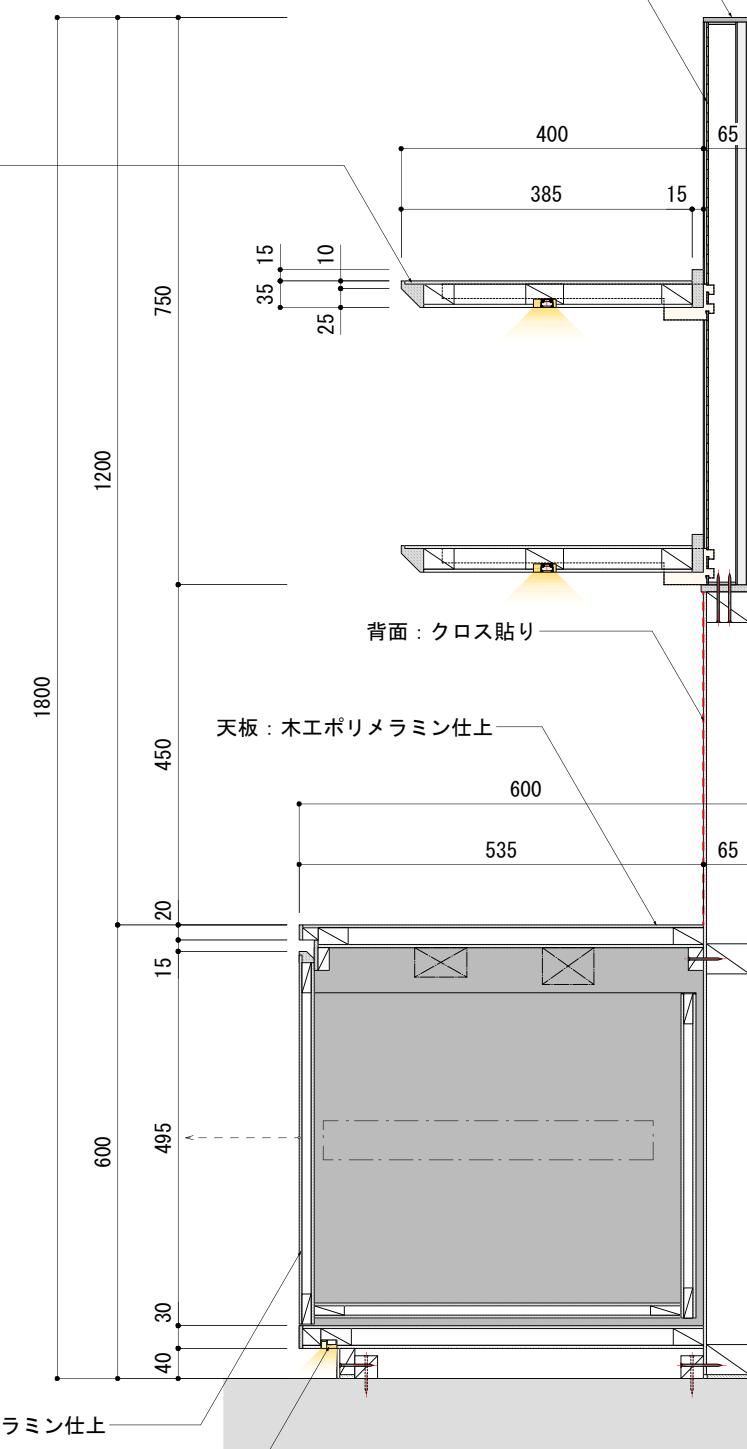
抽斗: 木工ポリメラミン仕上

下部間接照明取付
LAMP LED-B-TAPE-1200型
面付けプロファイル

※建築平面図と展開図の相違
あるため現場寸法要確認

支柱ツナギ: 6x65 St-FB加工焼付塗装仕上

支柱: スチール加工焼付塗装仕上
※一部ラインコンセント取付
(DNL-LCF700BK x 5本 電源コード共)

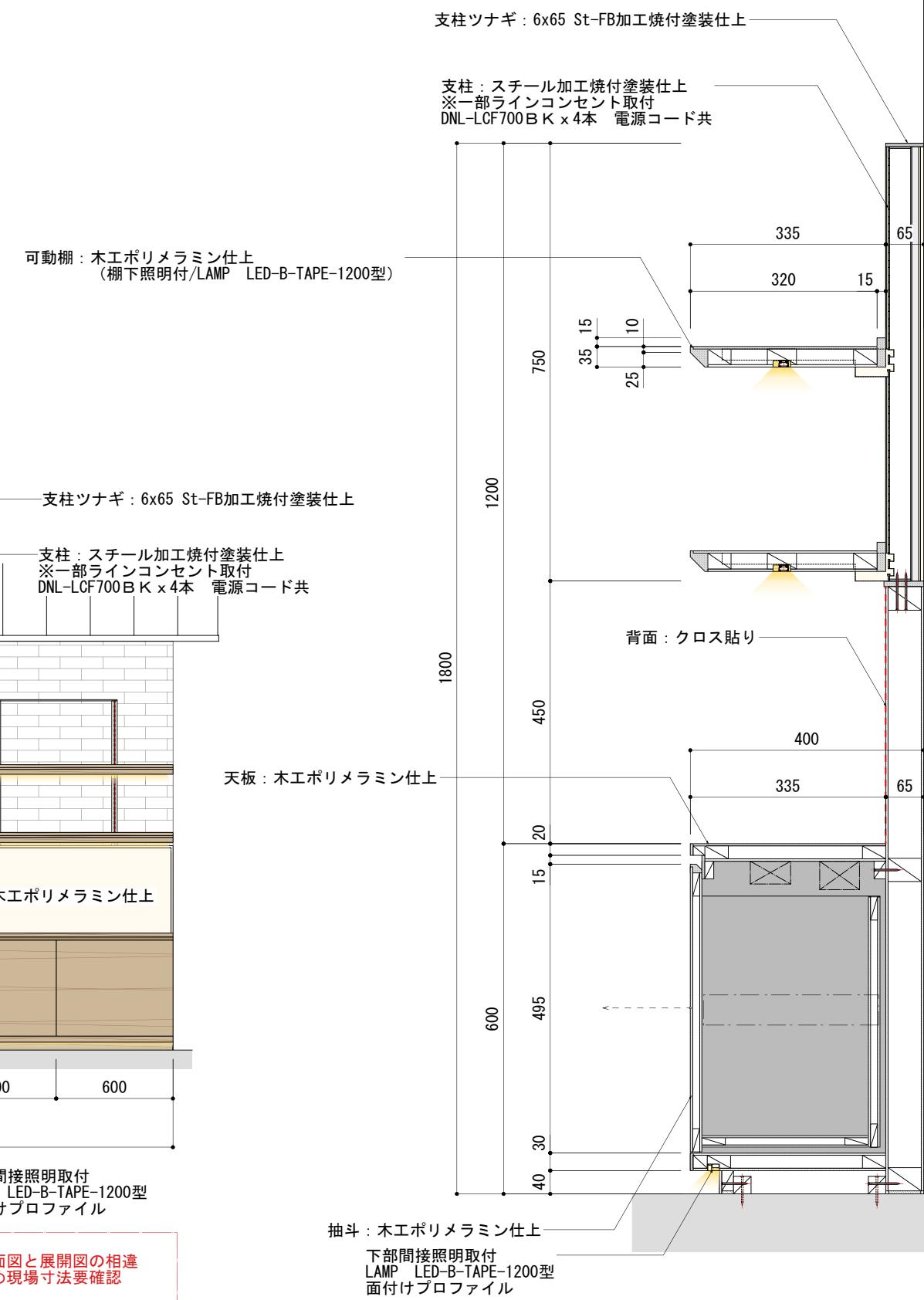
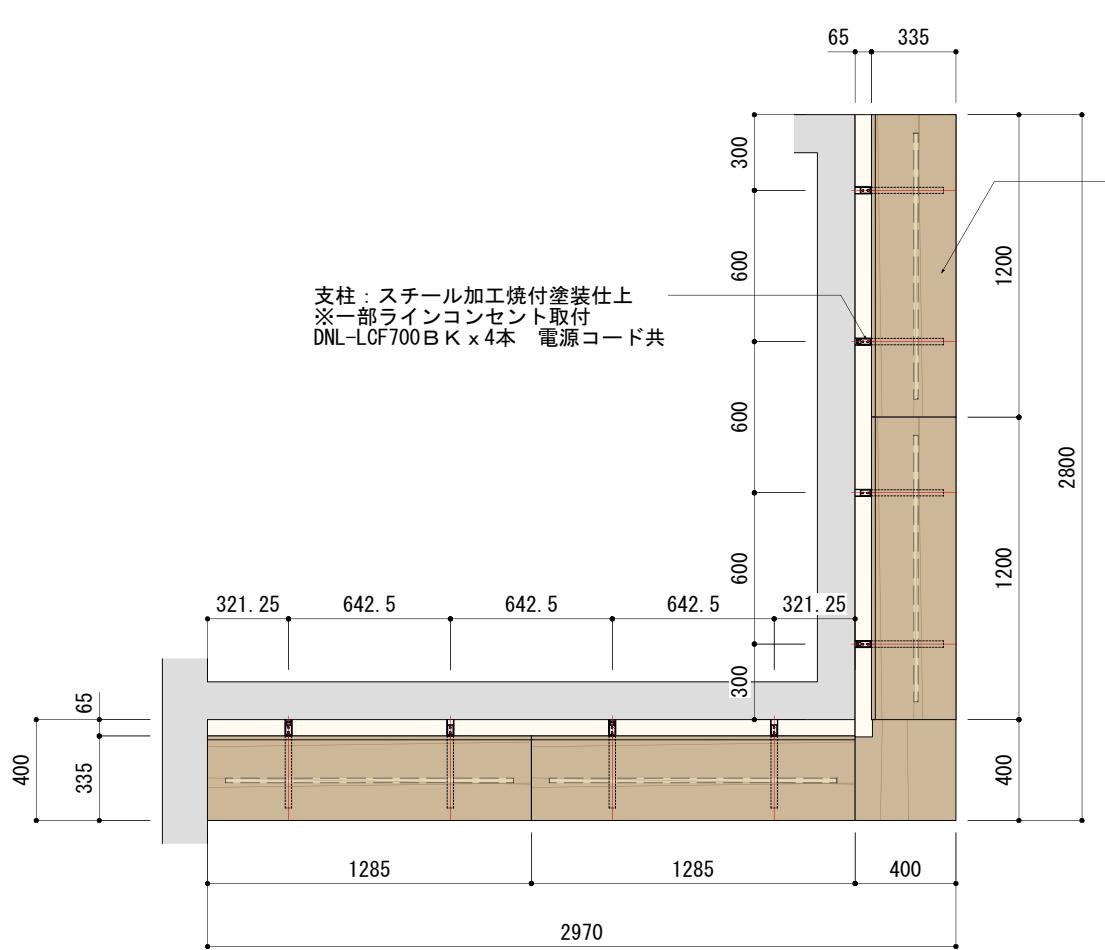


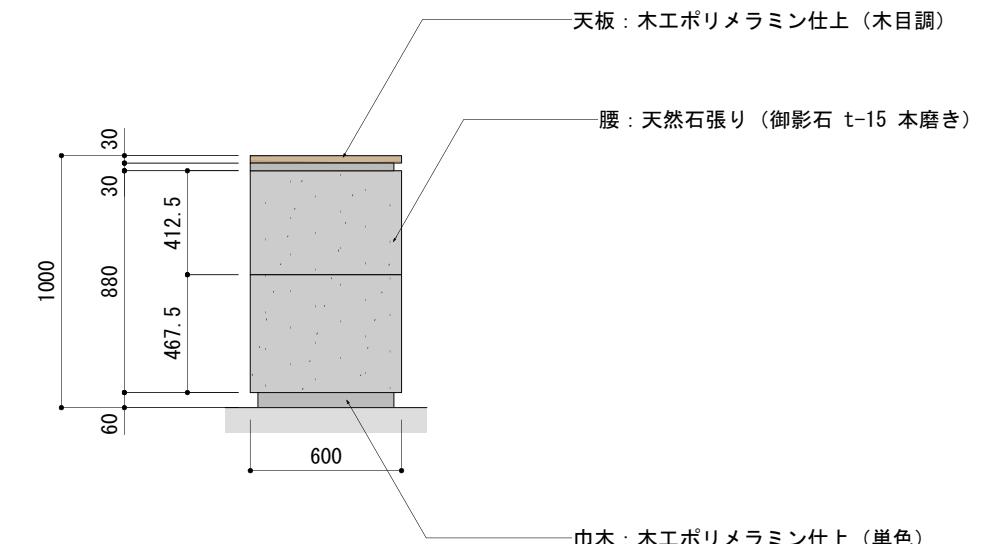
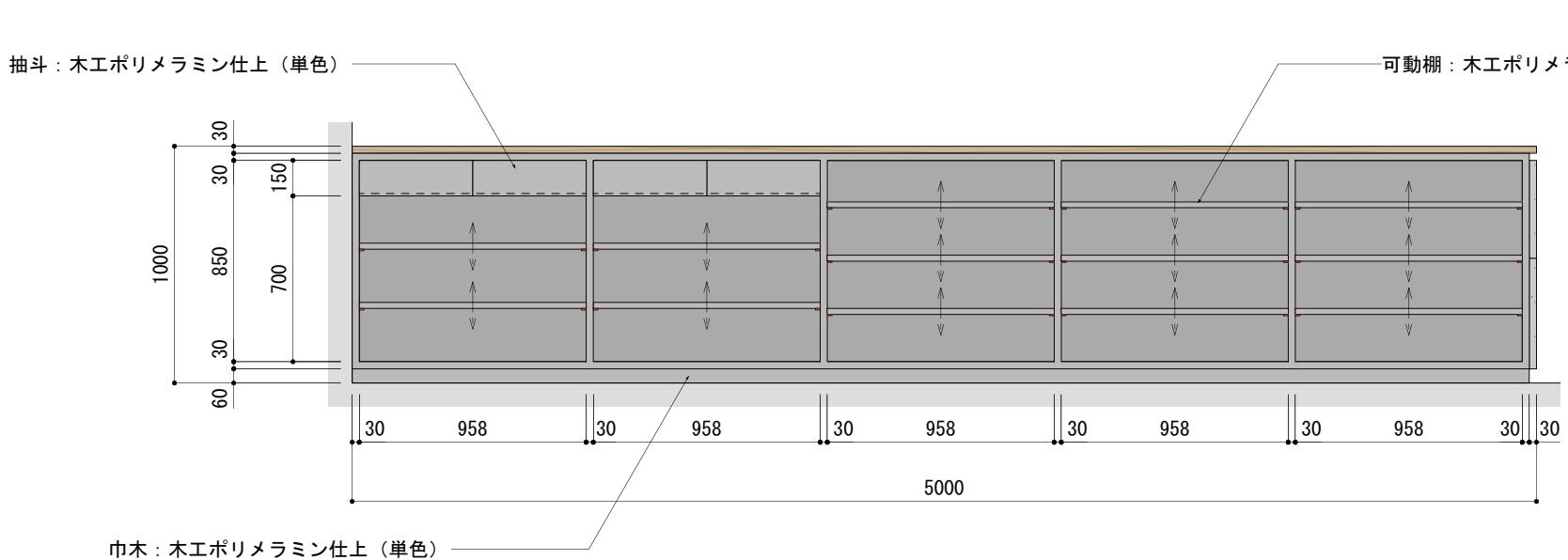
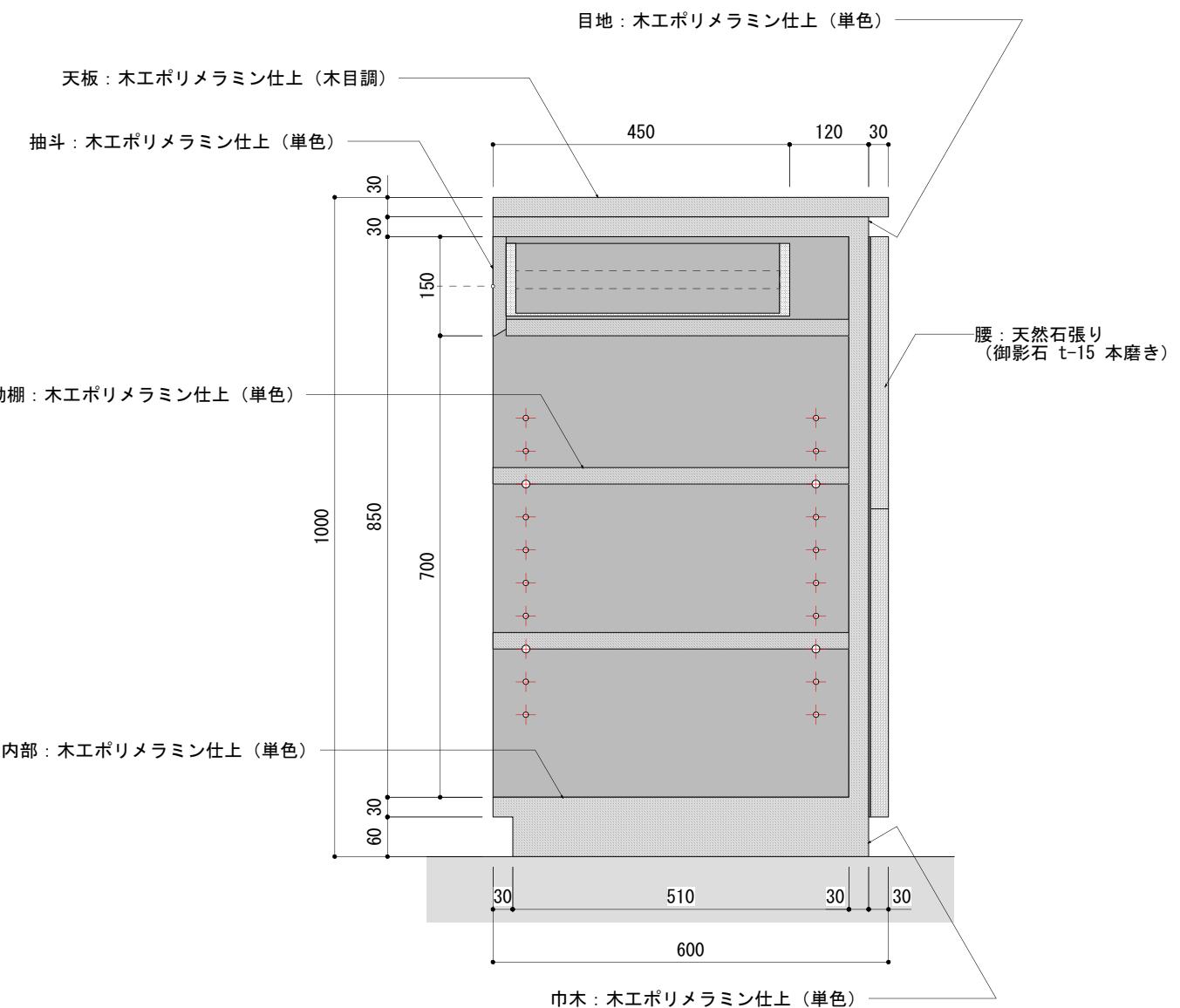
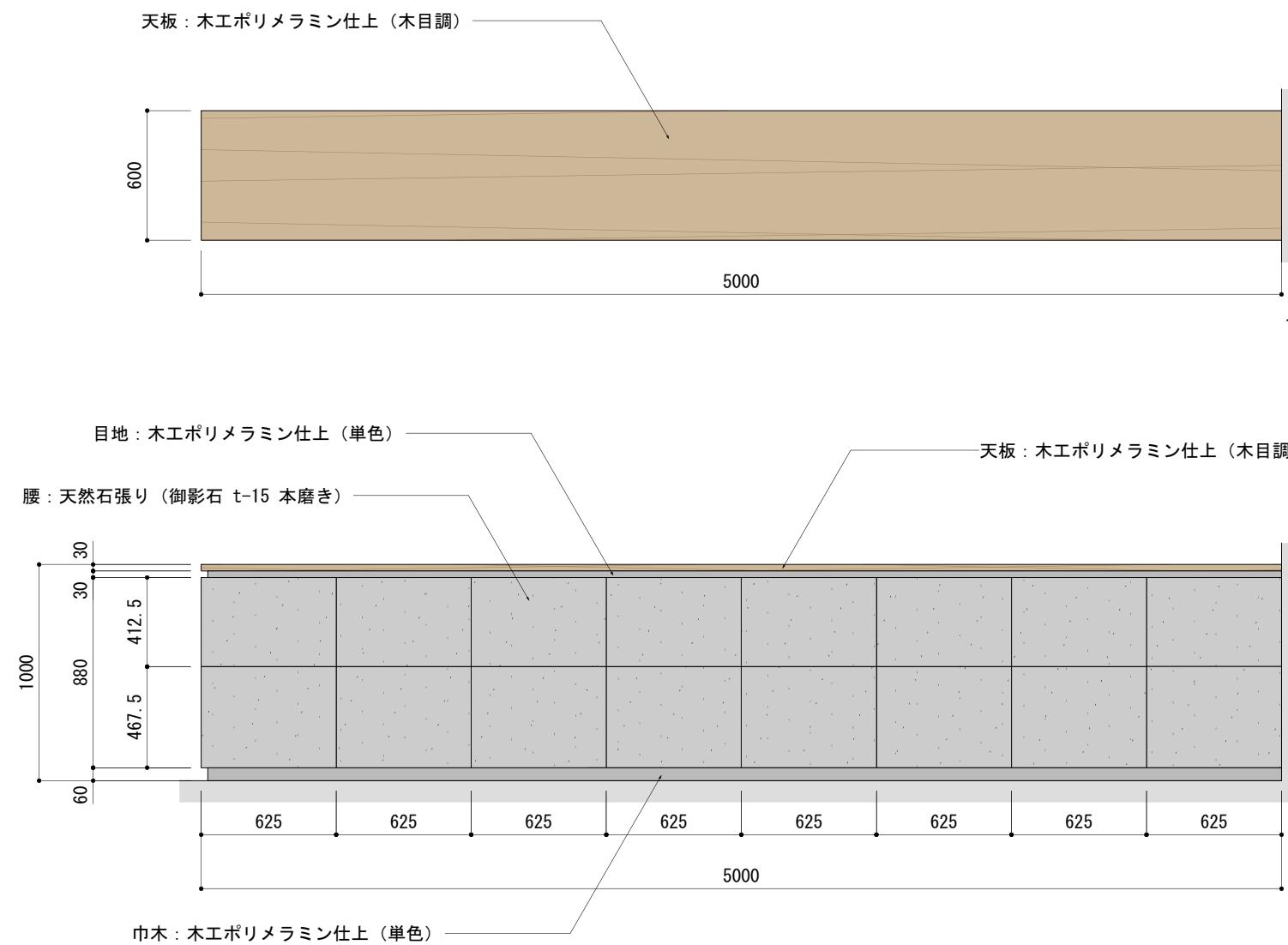
背面: クロス貼り

天板: 木工ポリメラミン仕上

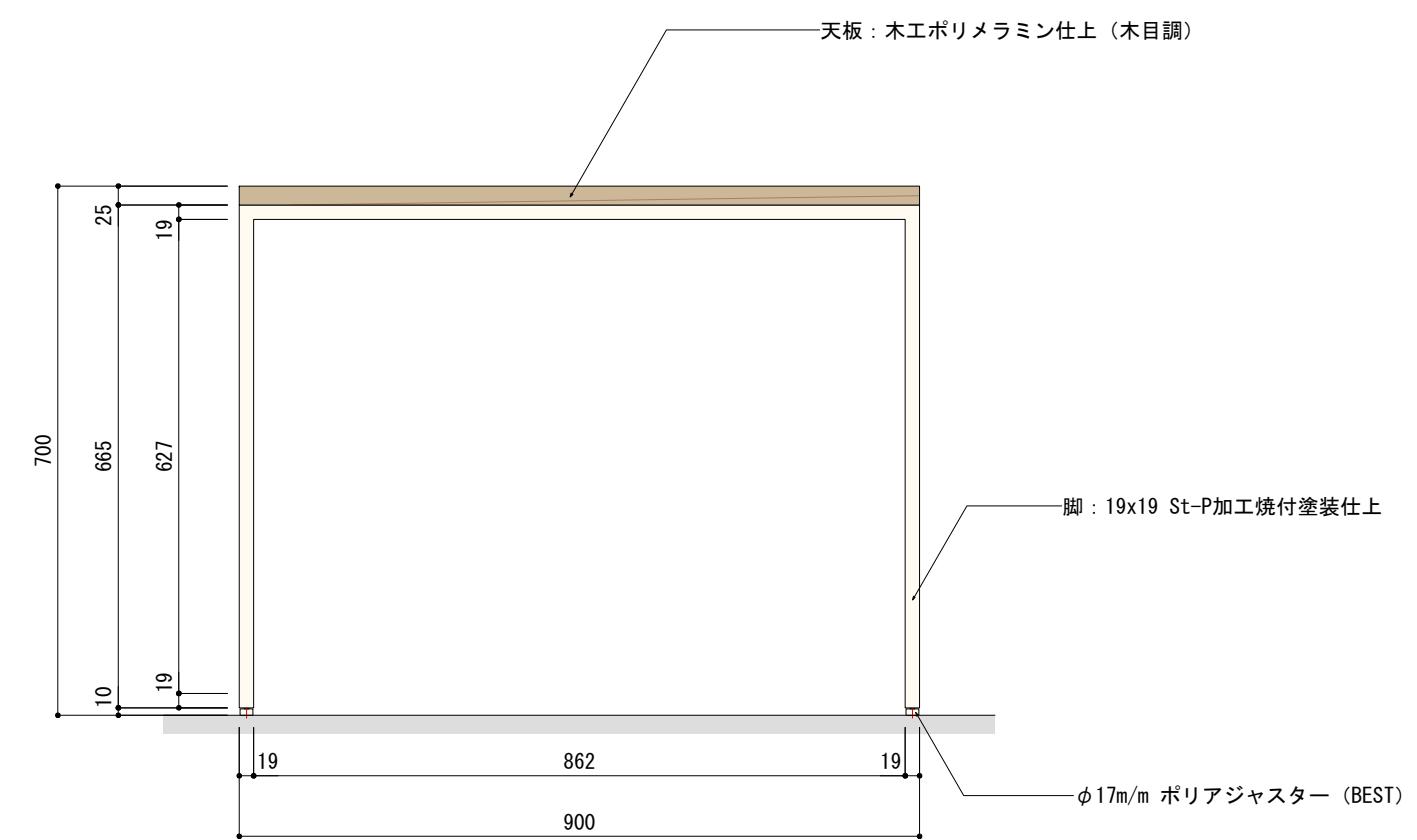
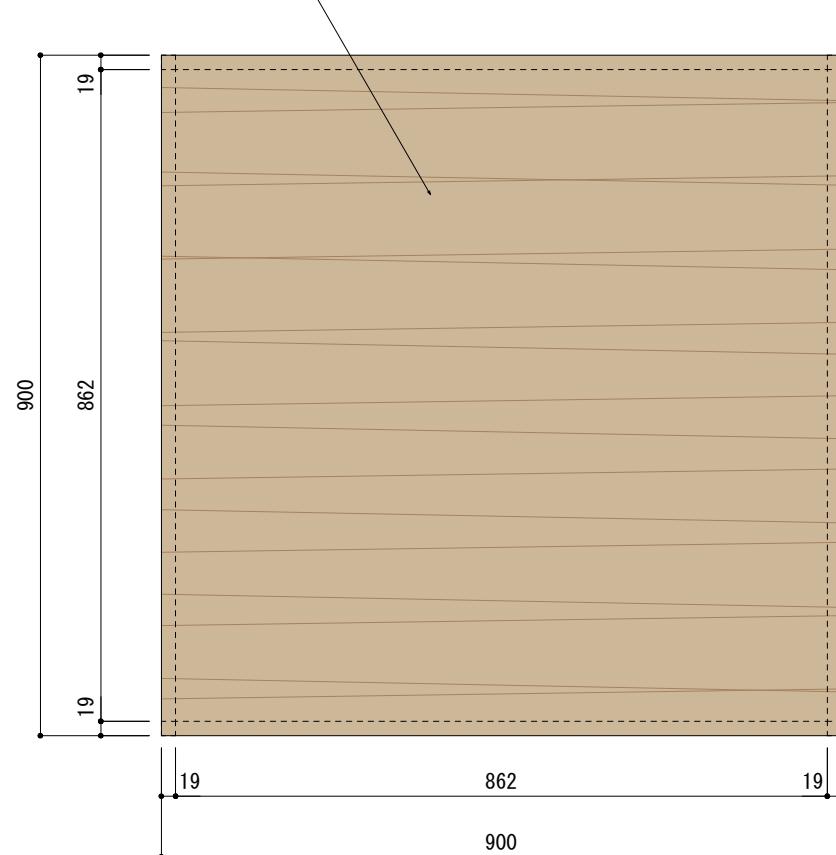
抽斗: 木工ポリメラミン仕上

下部間接照明取付
LAMP LED-B-TAPE-1200型
面付けプロファイル

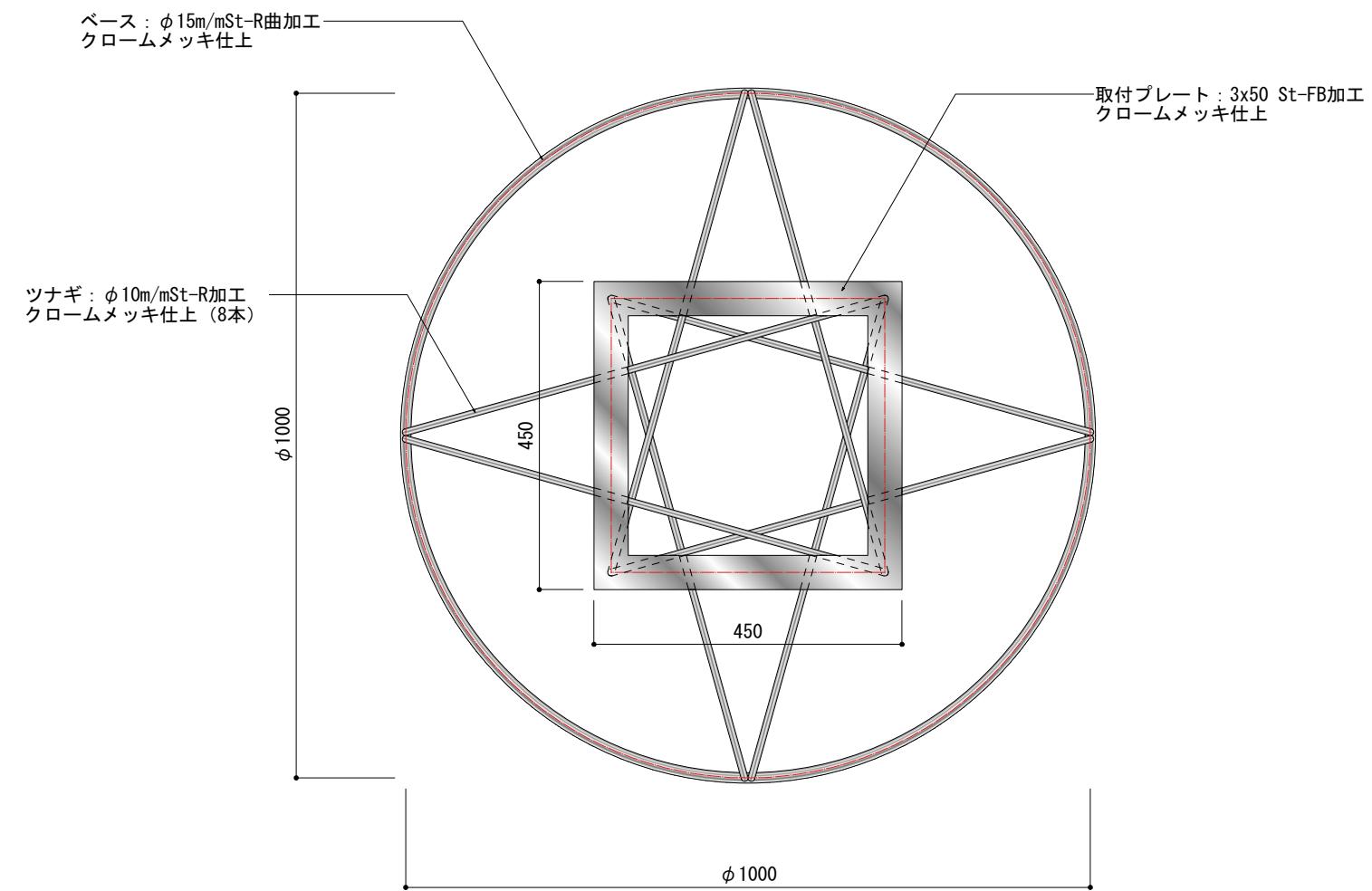
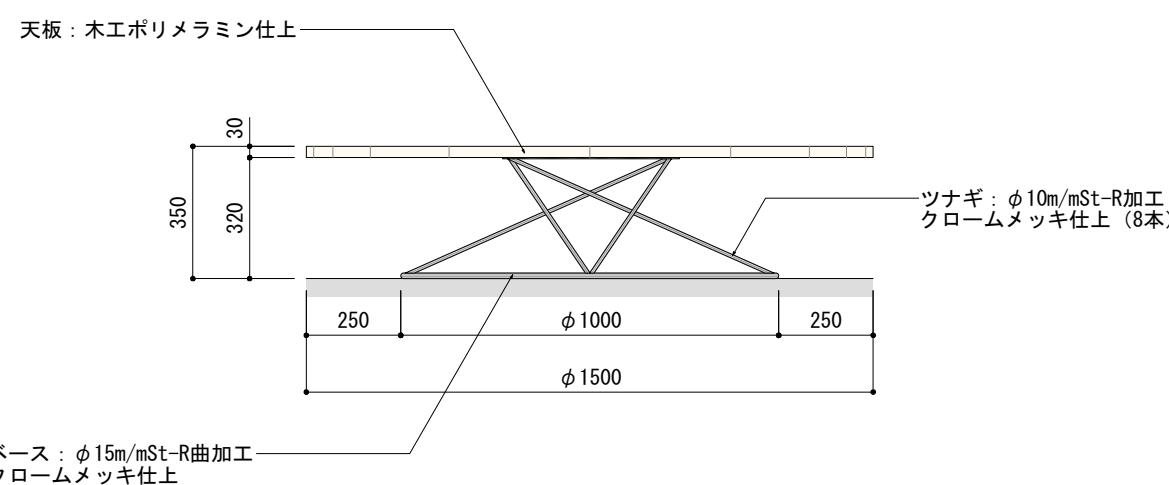
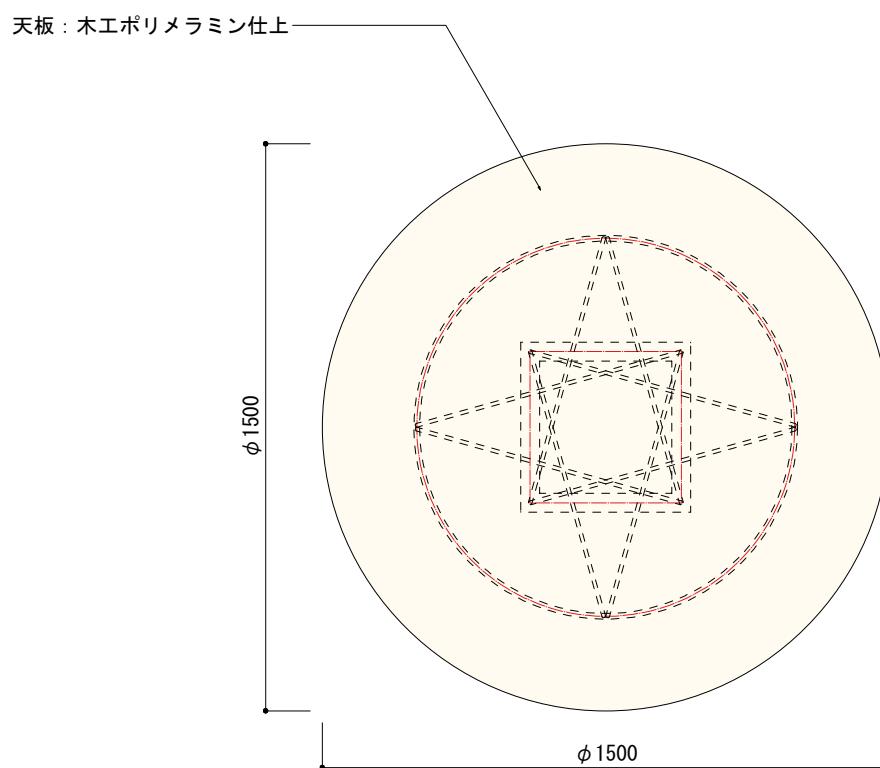


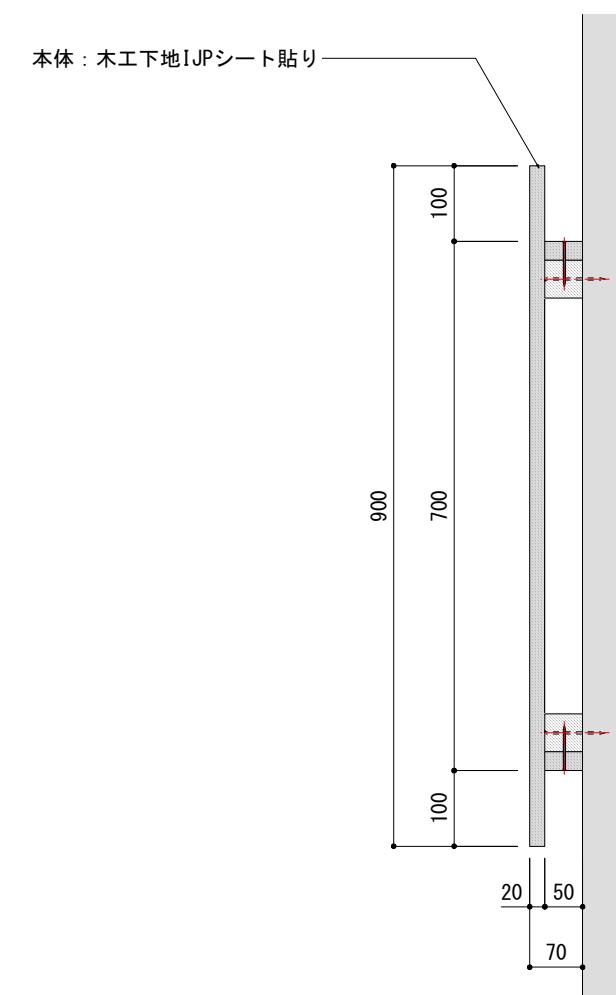
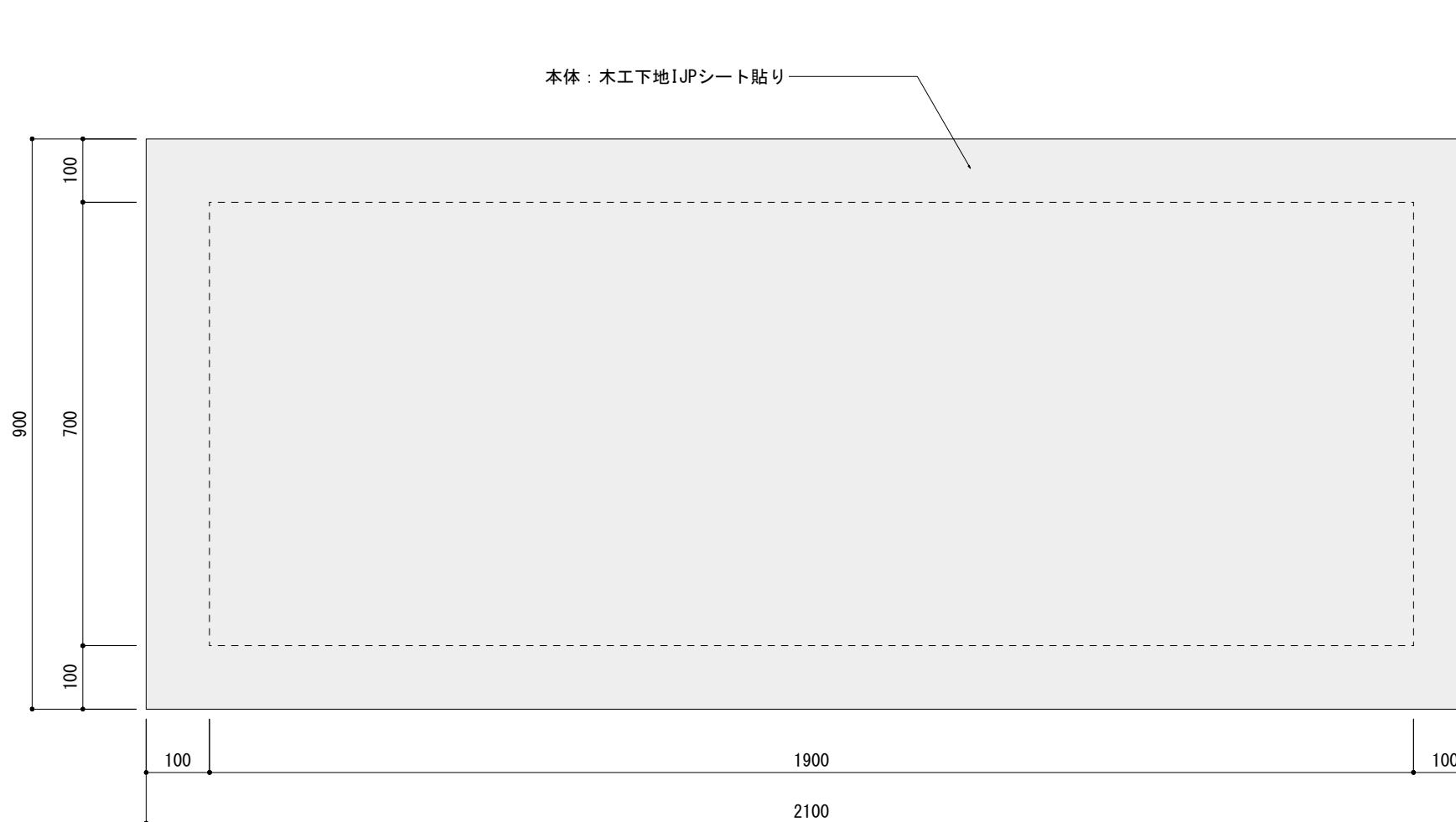
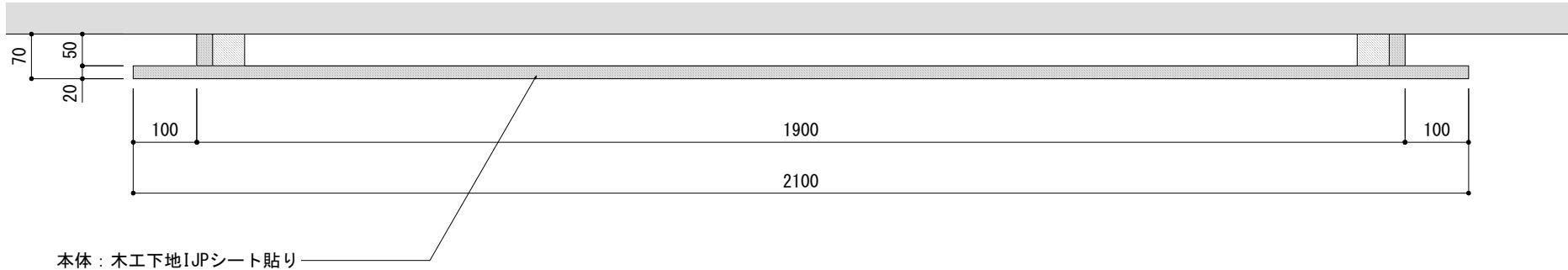


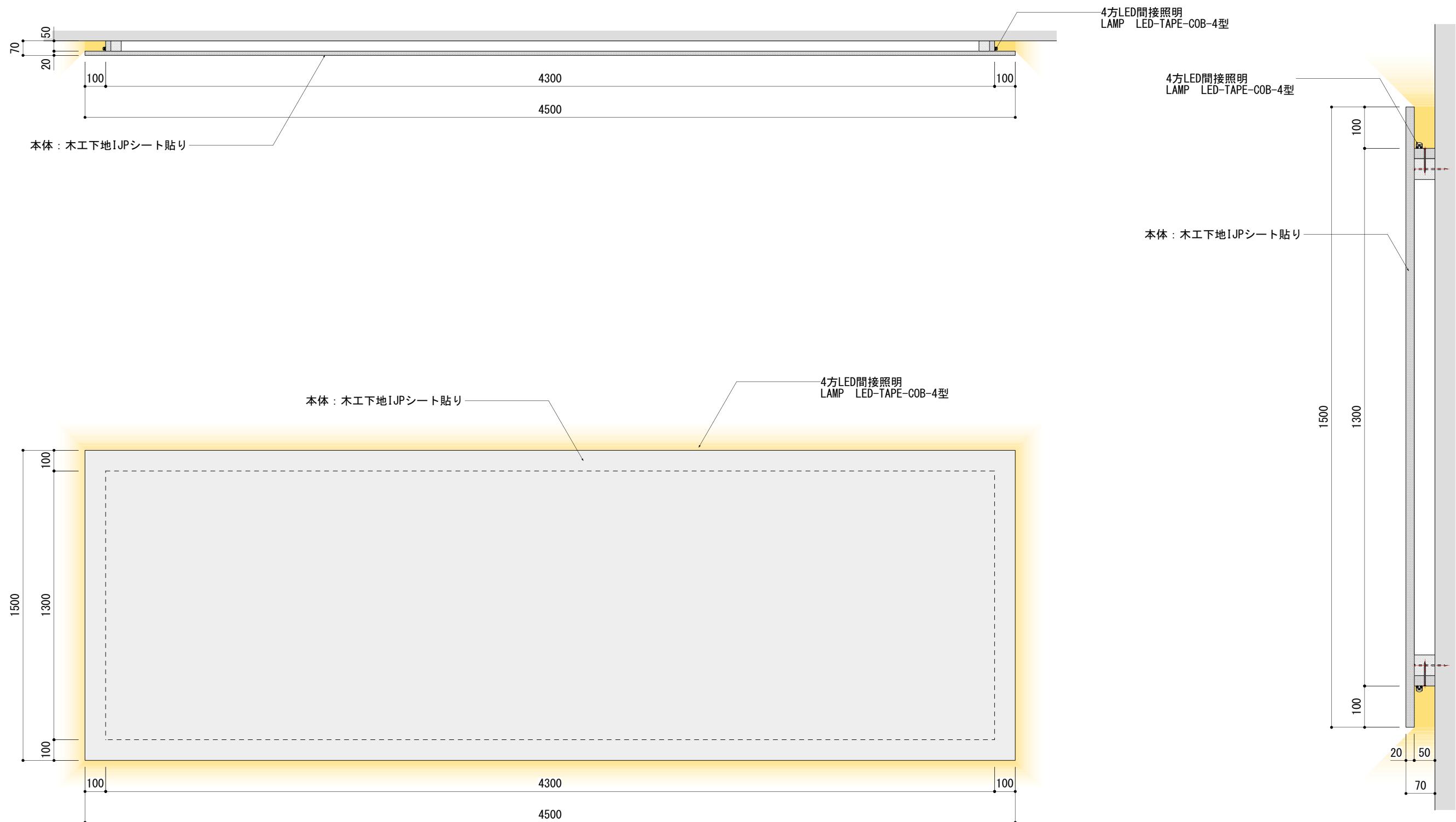
天板：木工ポリメラミン仕上（木目調）

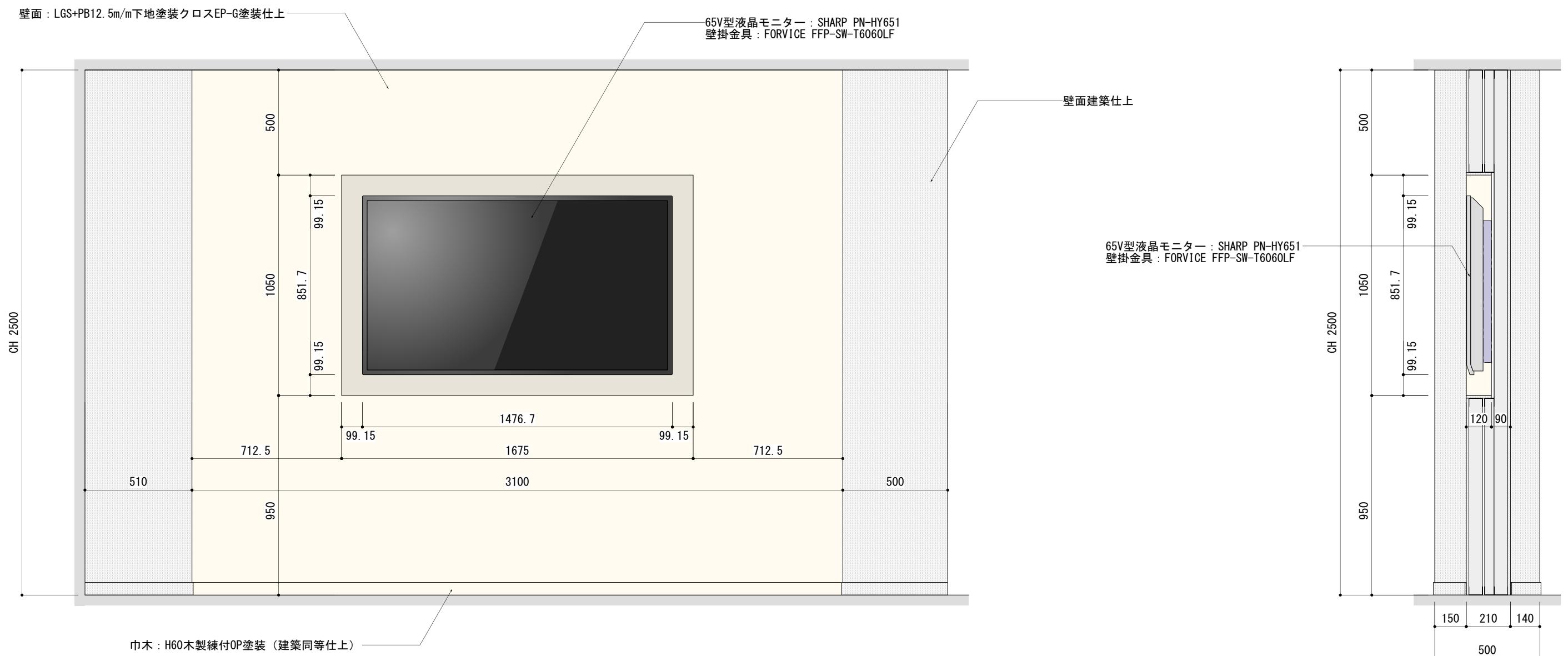
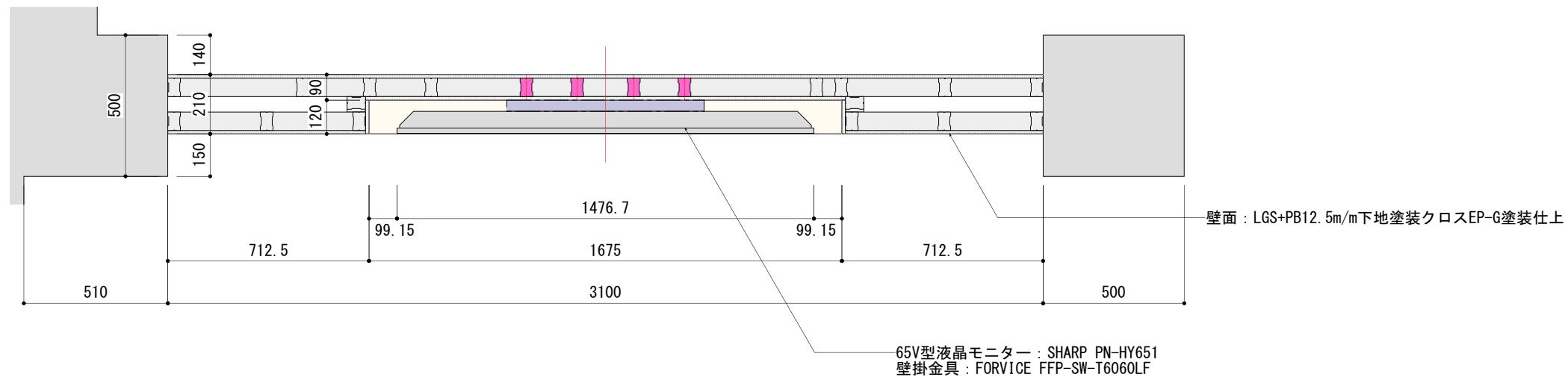


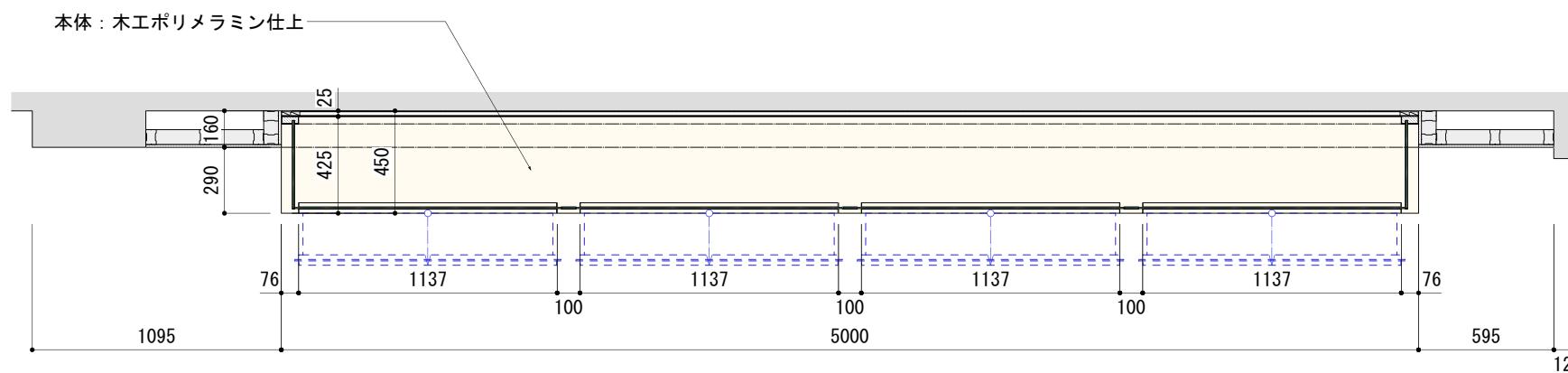
× 2台



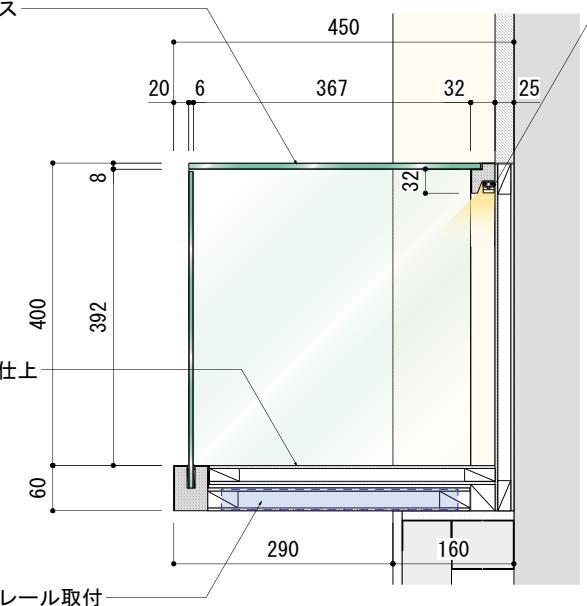








天板 : t 8mm透明ガラス
飛散防止フィルム貼り

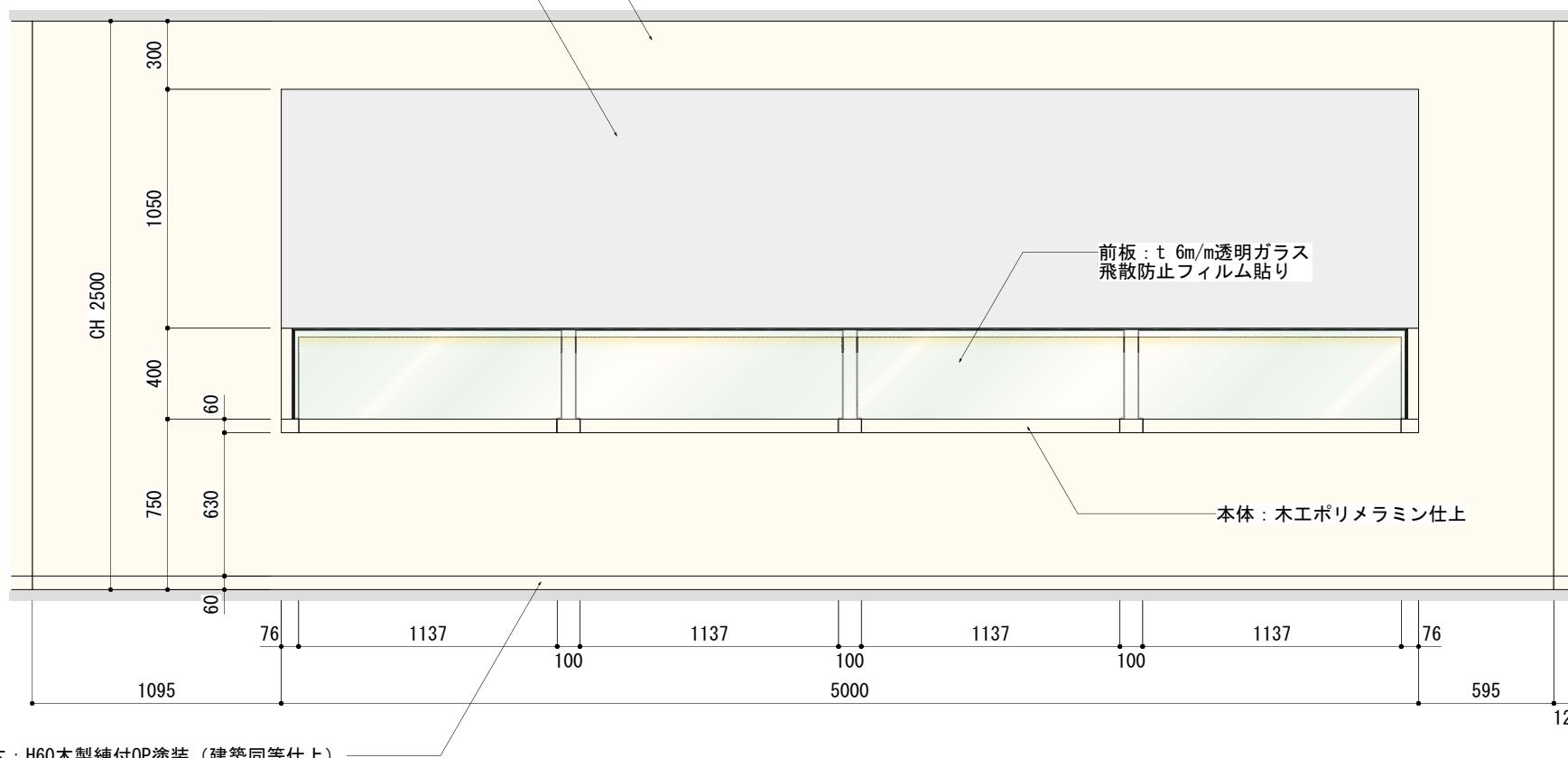


本体：木工ポリメラミン仕上

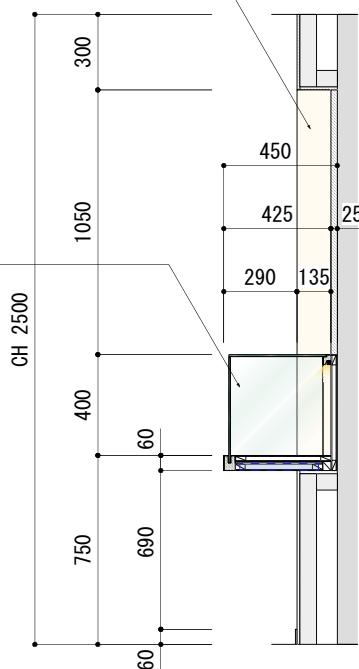
スライドレール取付

壁面 : LGS+PB12.5m/m下地塗装クロスEP-G塗装仕上

グラフィックパネル：木工下地IJPシート貼

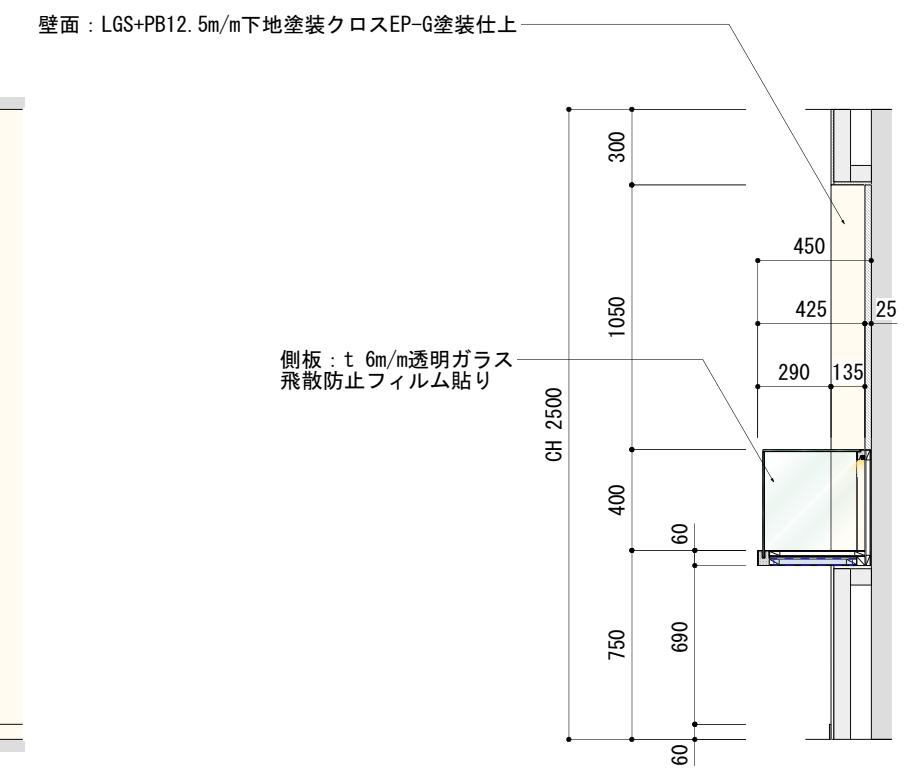
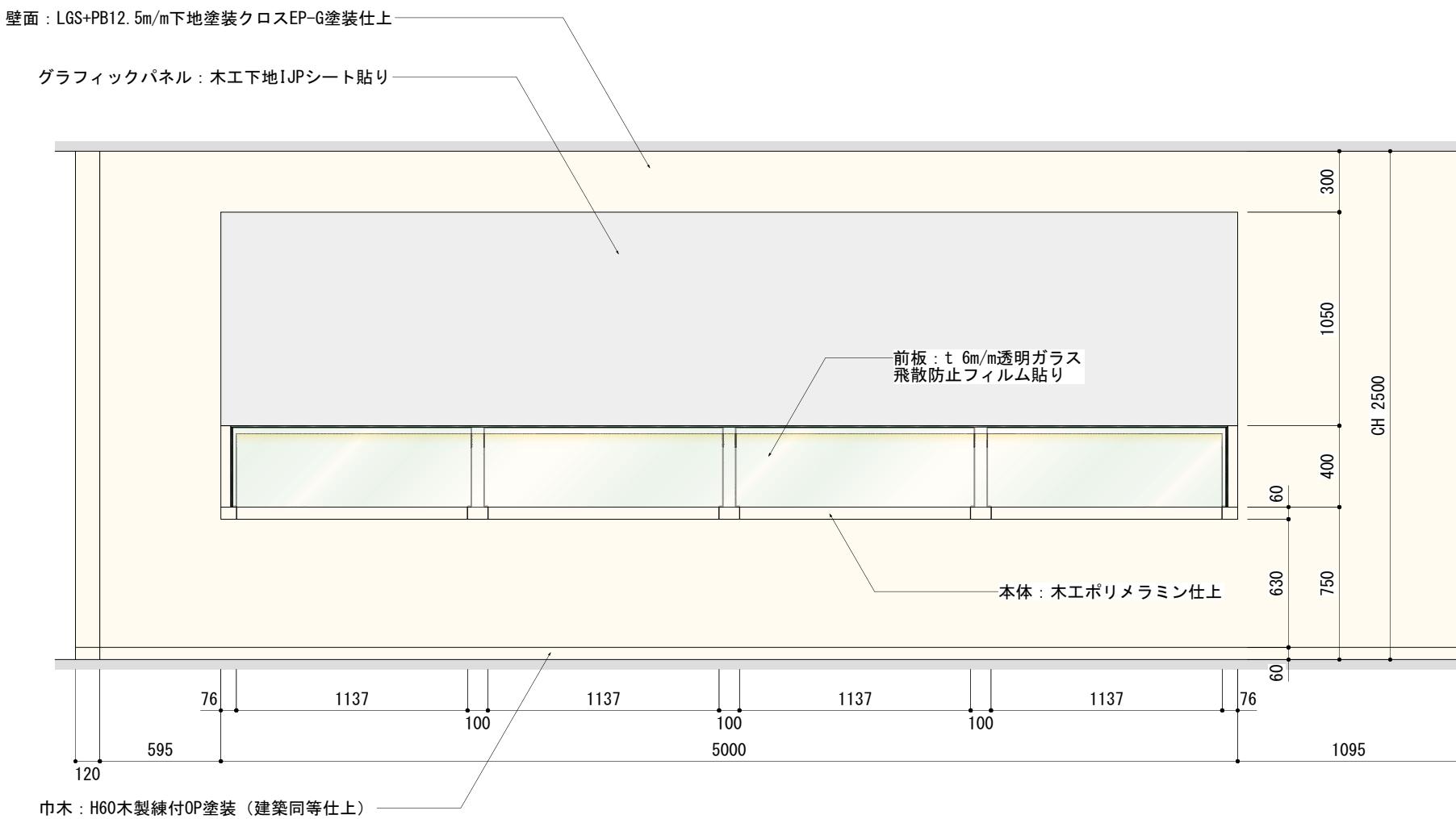
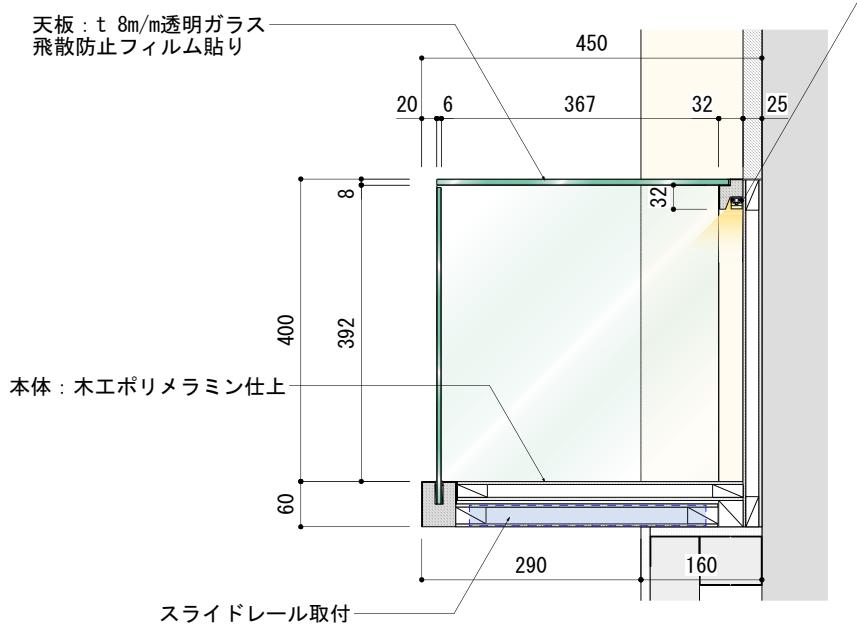
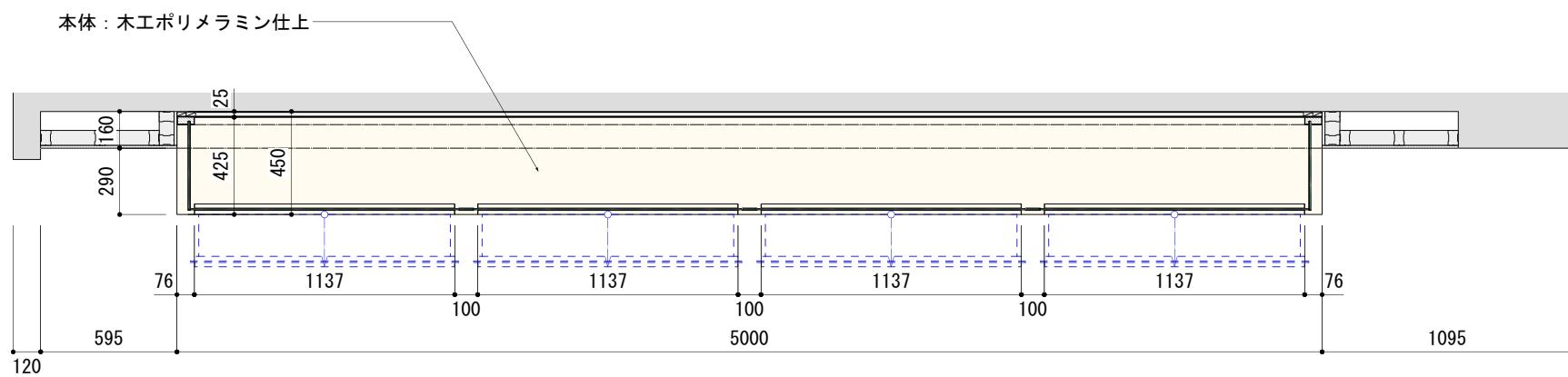


壁面 : LGS+PB12.5m/m下地塗装クロスEP-G塗装仕上 -

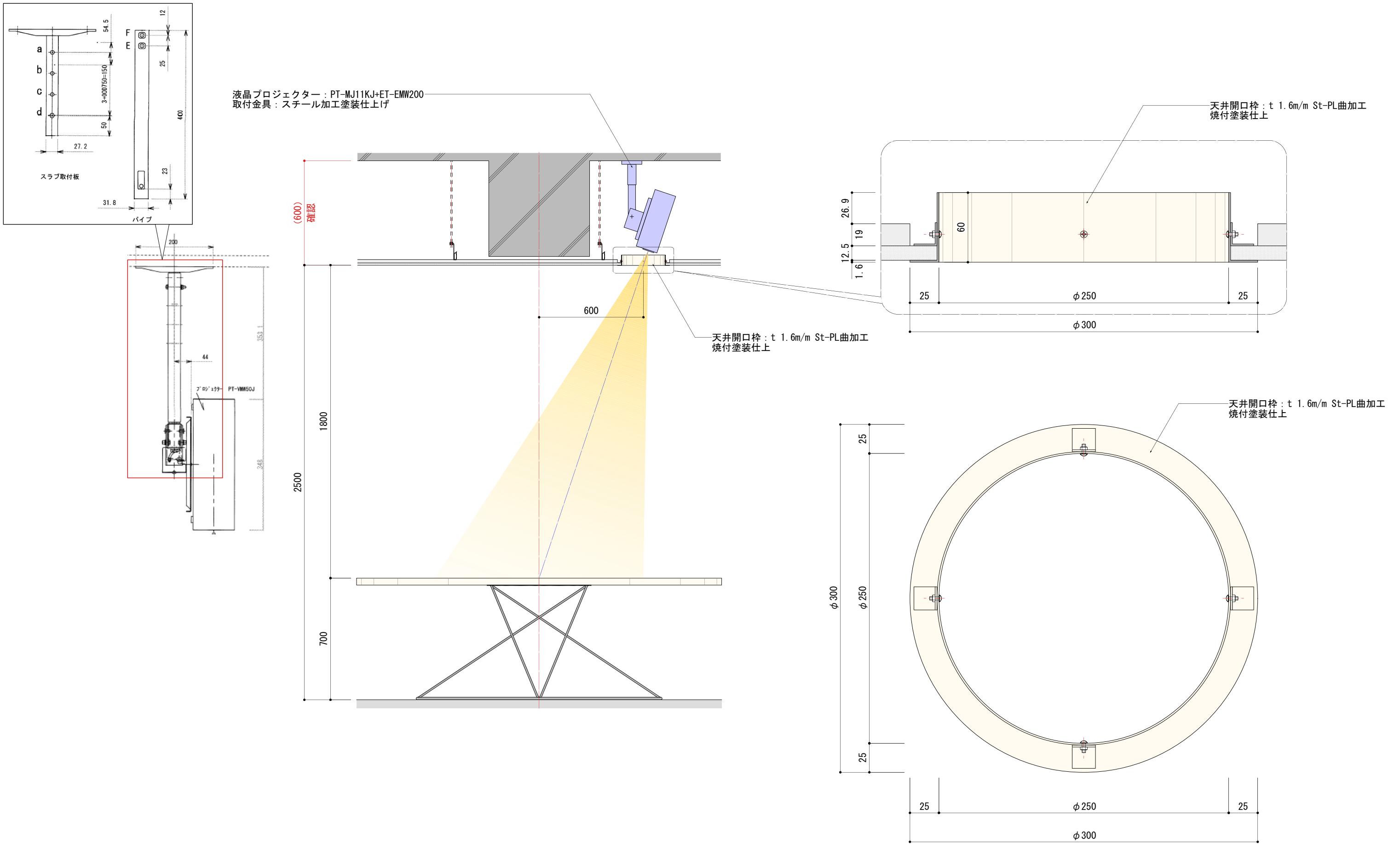


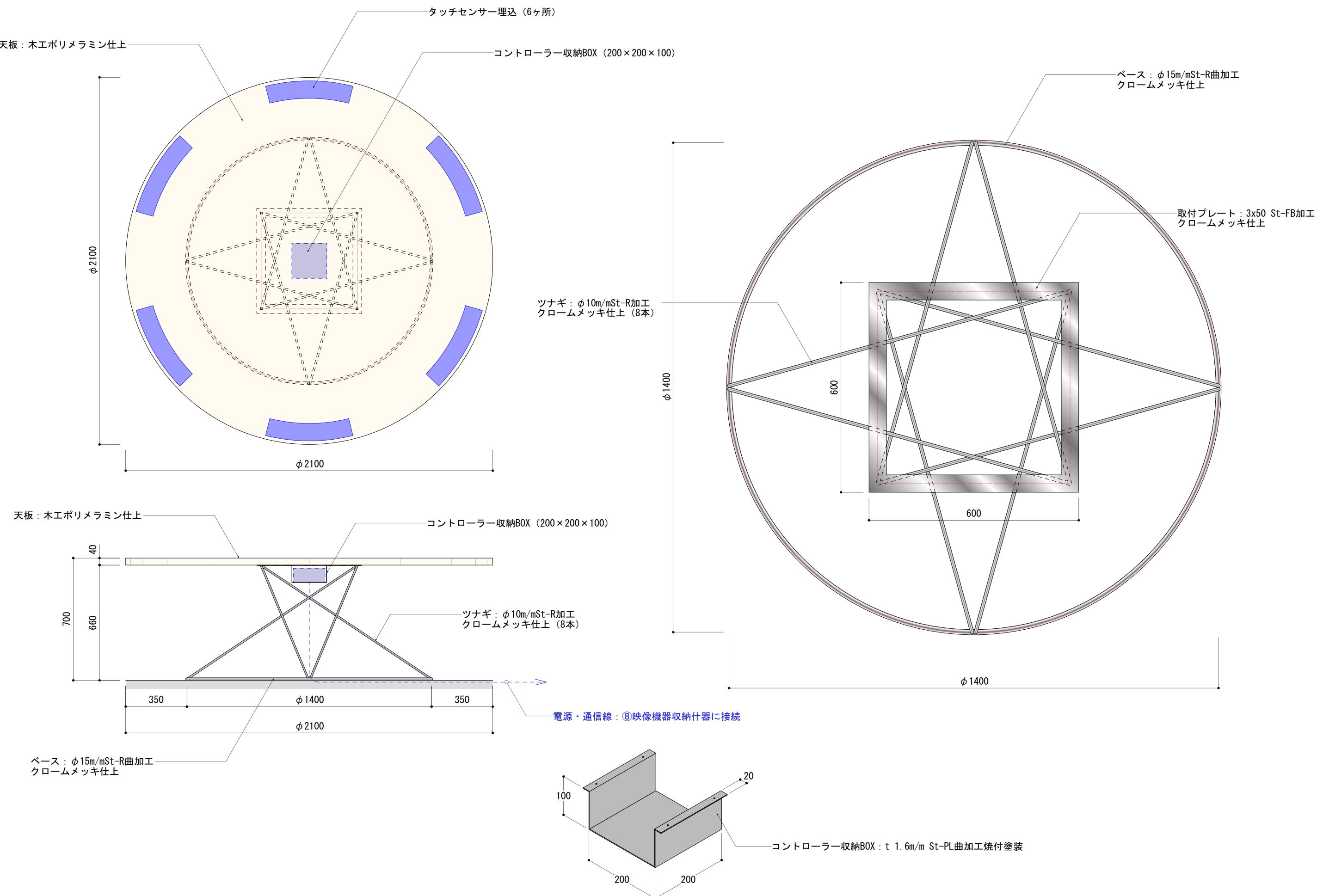
側板 : t 6mm 透明ガラス
飛散防止フィルム貼り

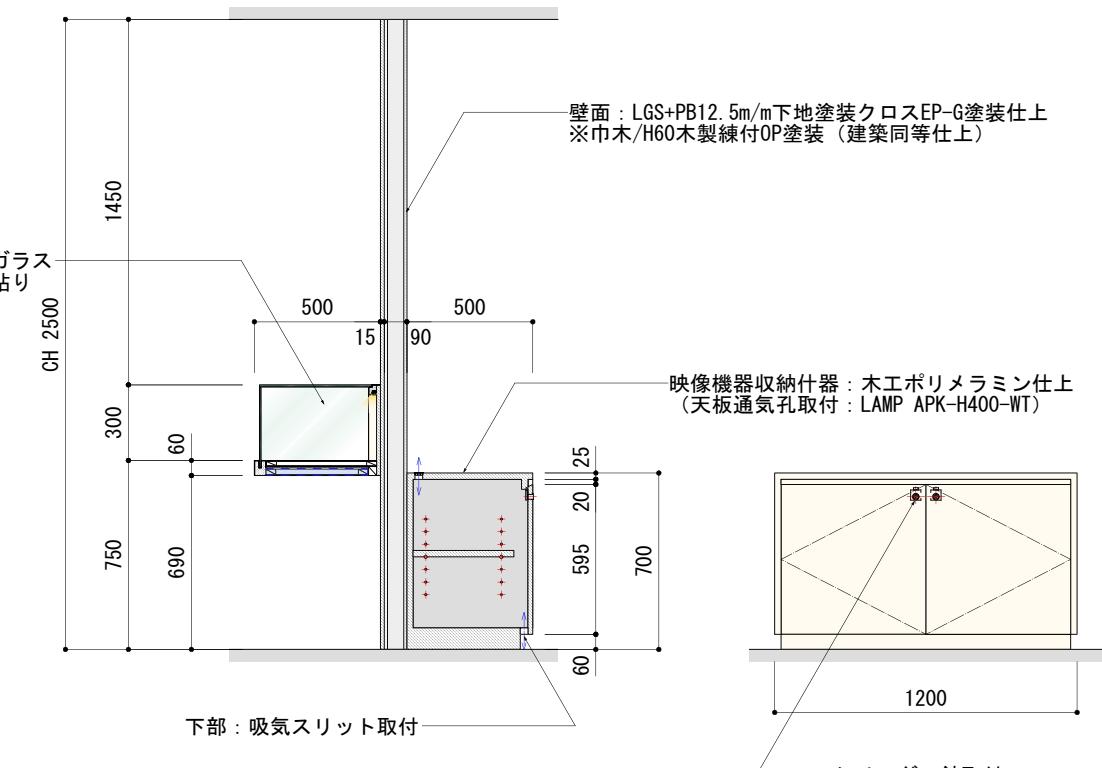
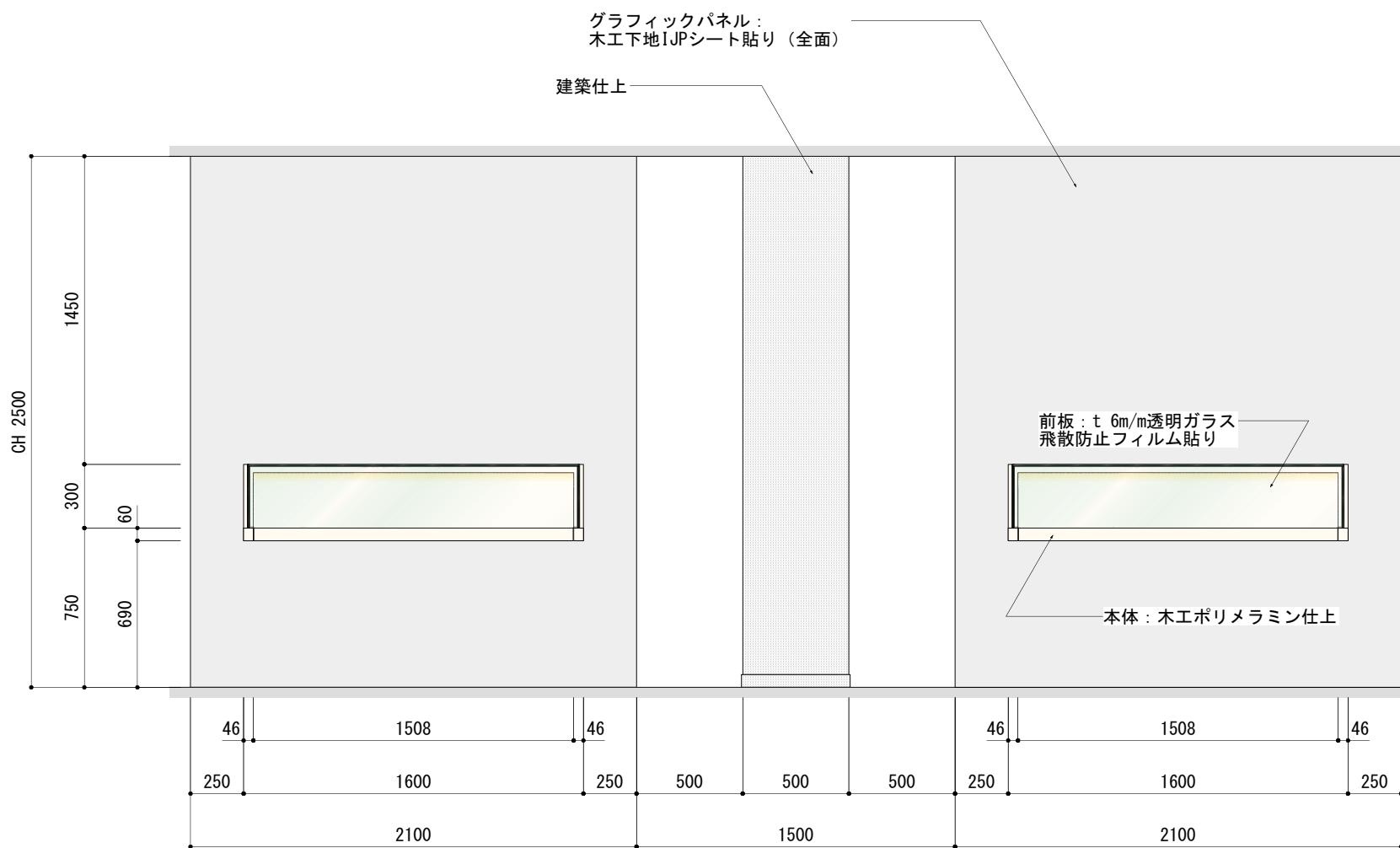
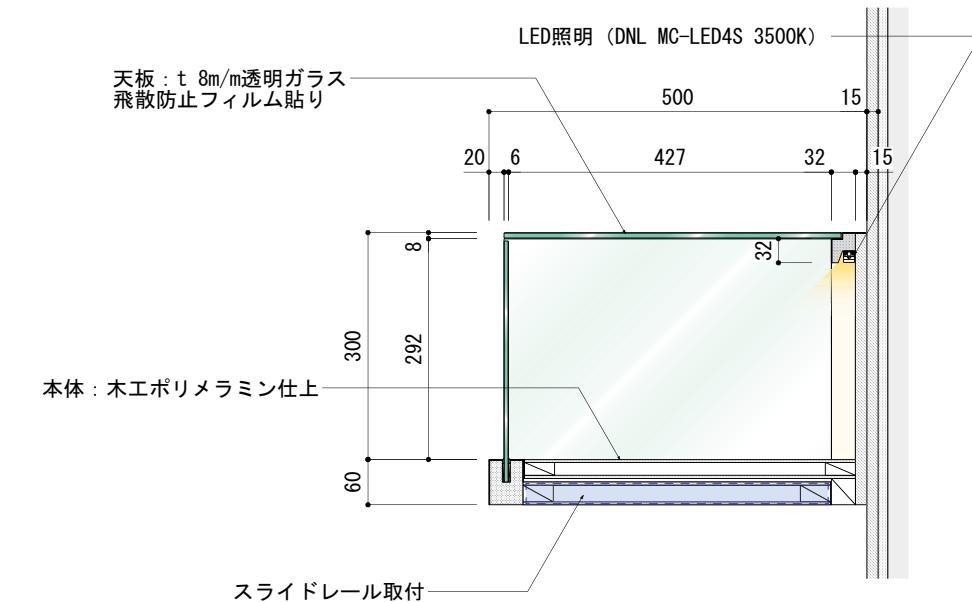
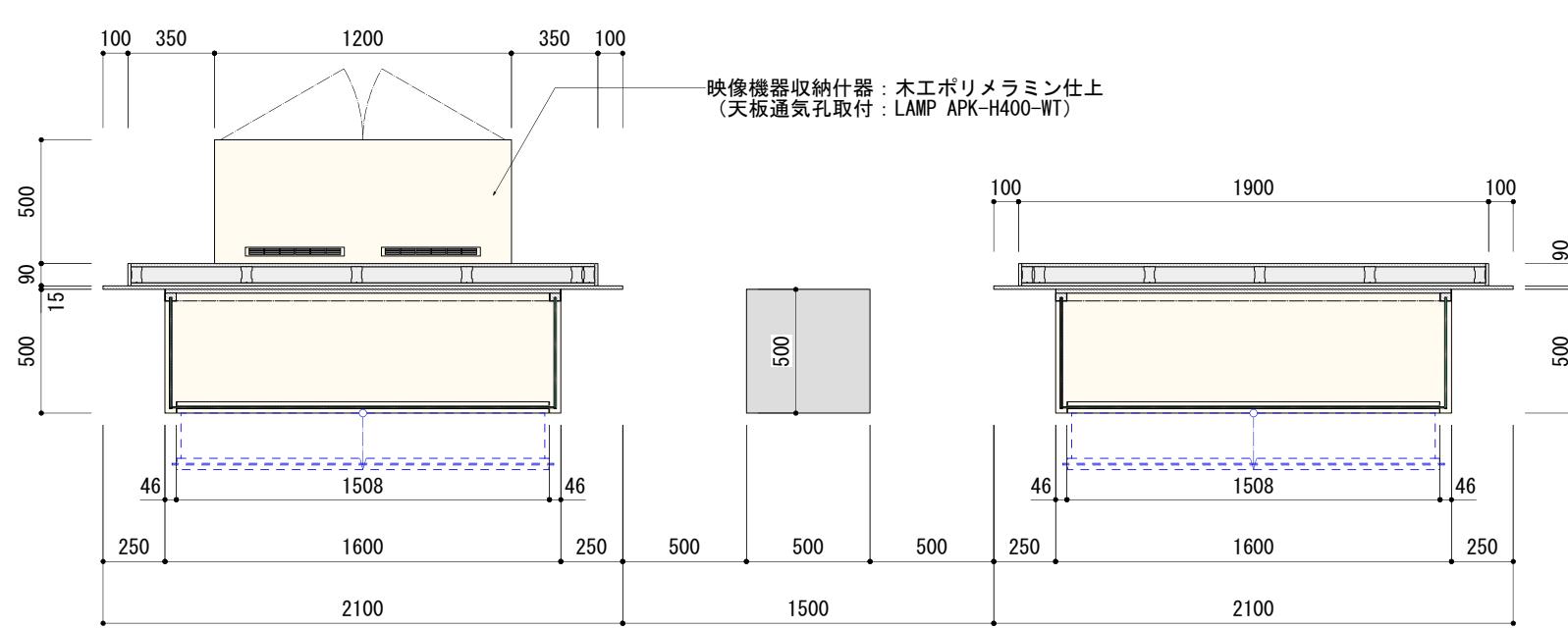
壁面展示ケース⑤⑥⑨は同寸法・同仕様

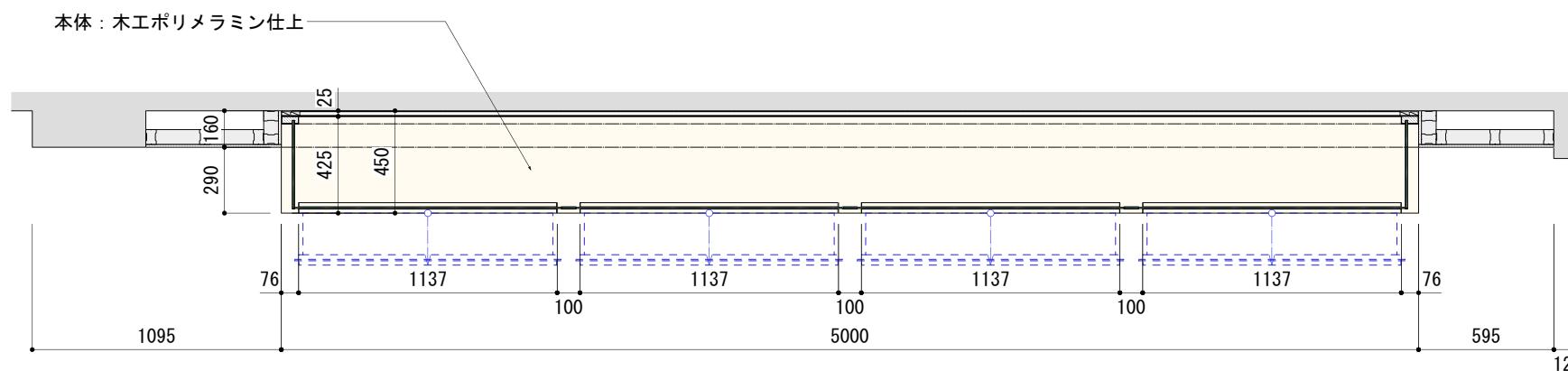


壁面展示ケース⑤⑥⑨は同寸法・同仕様

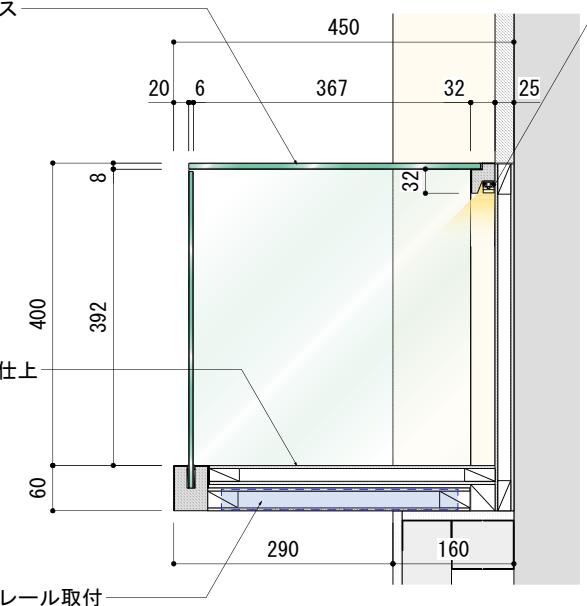








天板 : t 8mm透明ガラス
飛散防止フィルム貼り

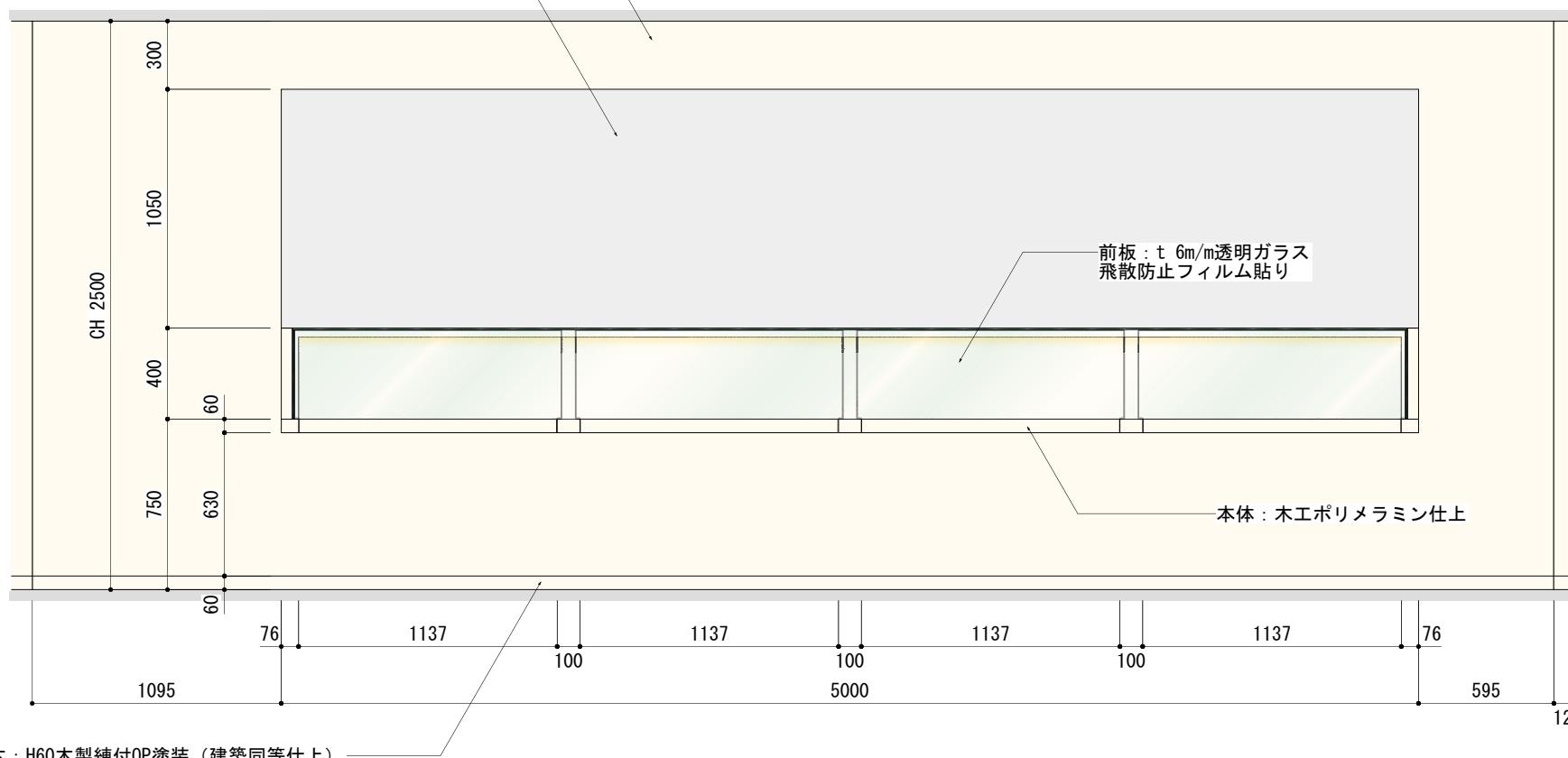


本体：木工ポリメラミン仕上

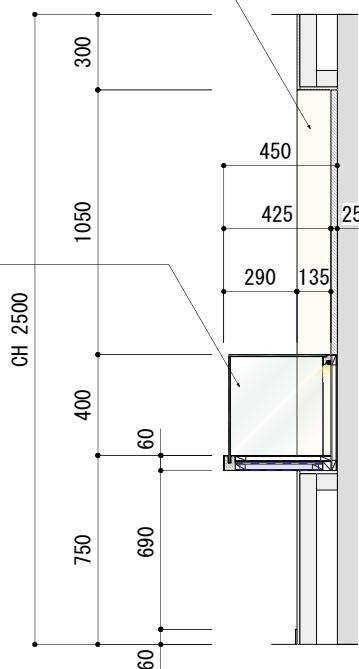
スライドレール取付

壁面 : LGS+PB12.5m/m下地塗装クロスEP-G塗装仕上

グラフィックパネル：木工下地IJPシート貼

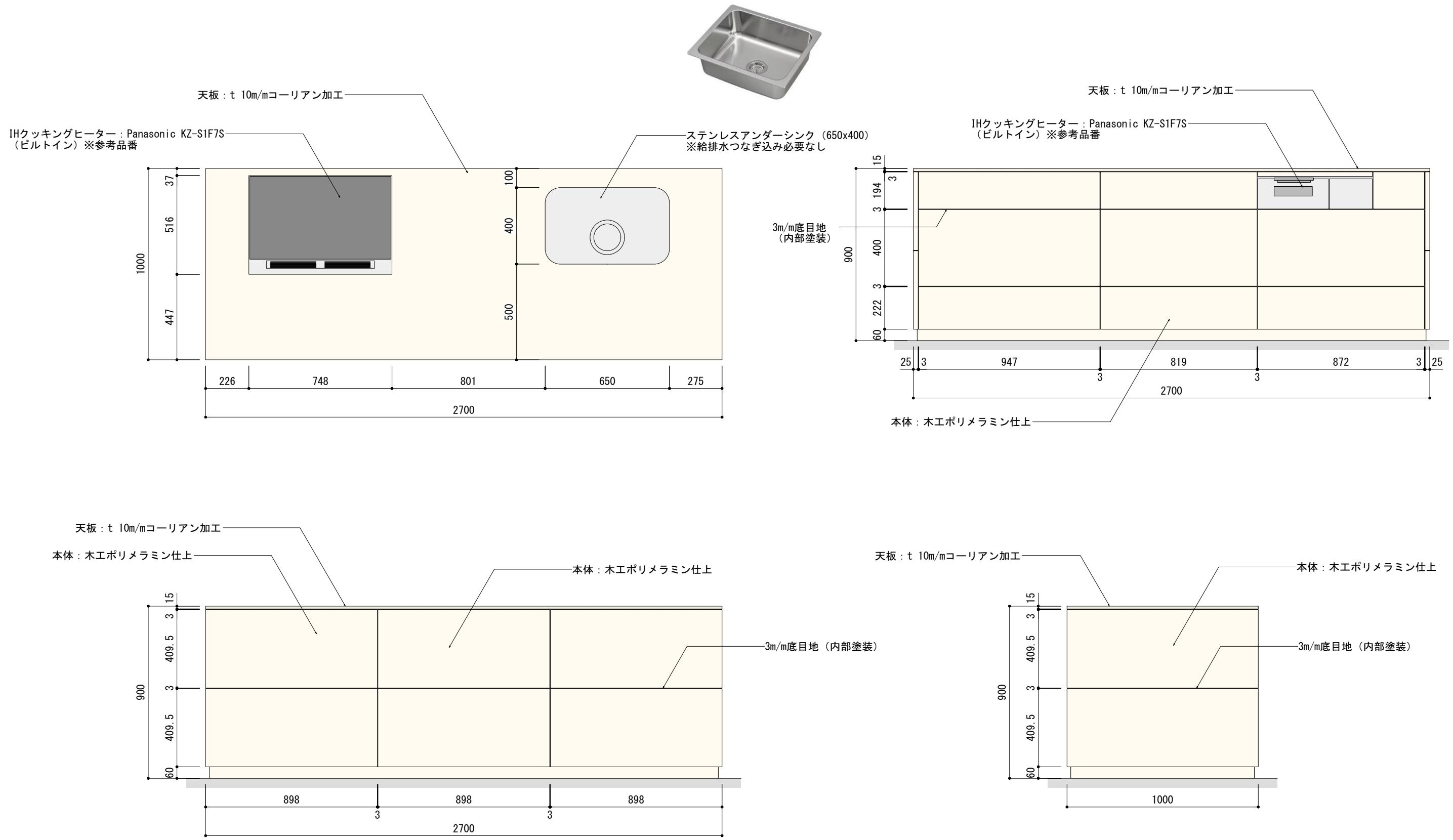


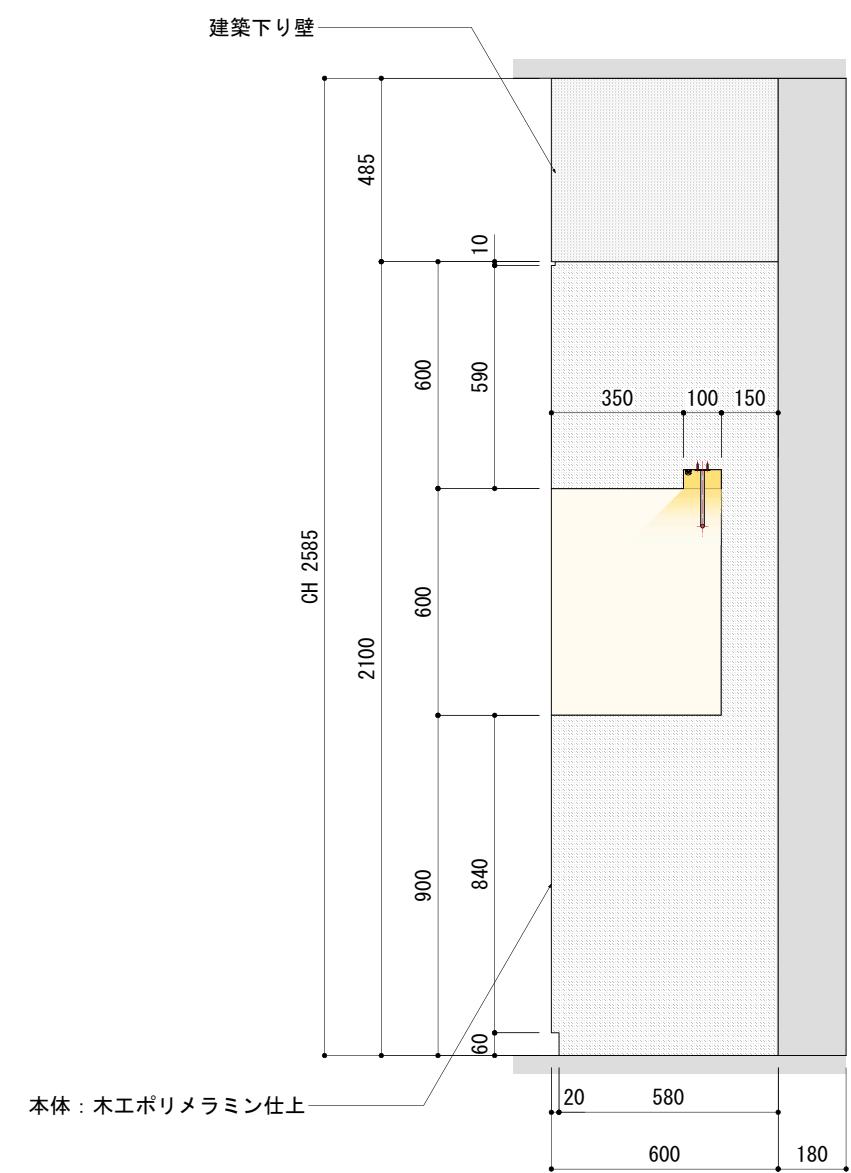
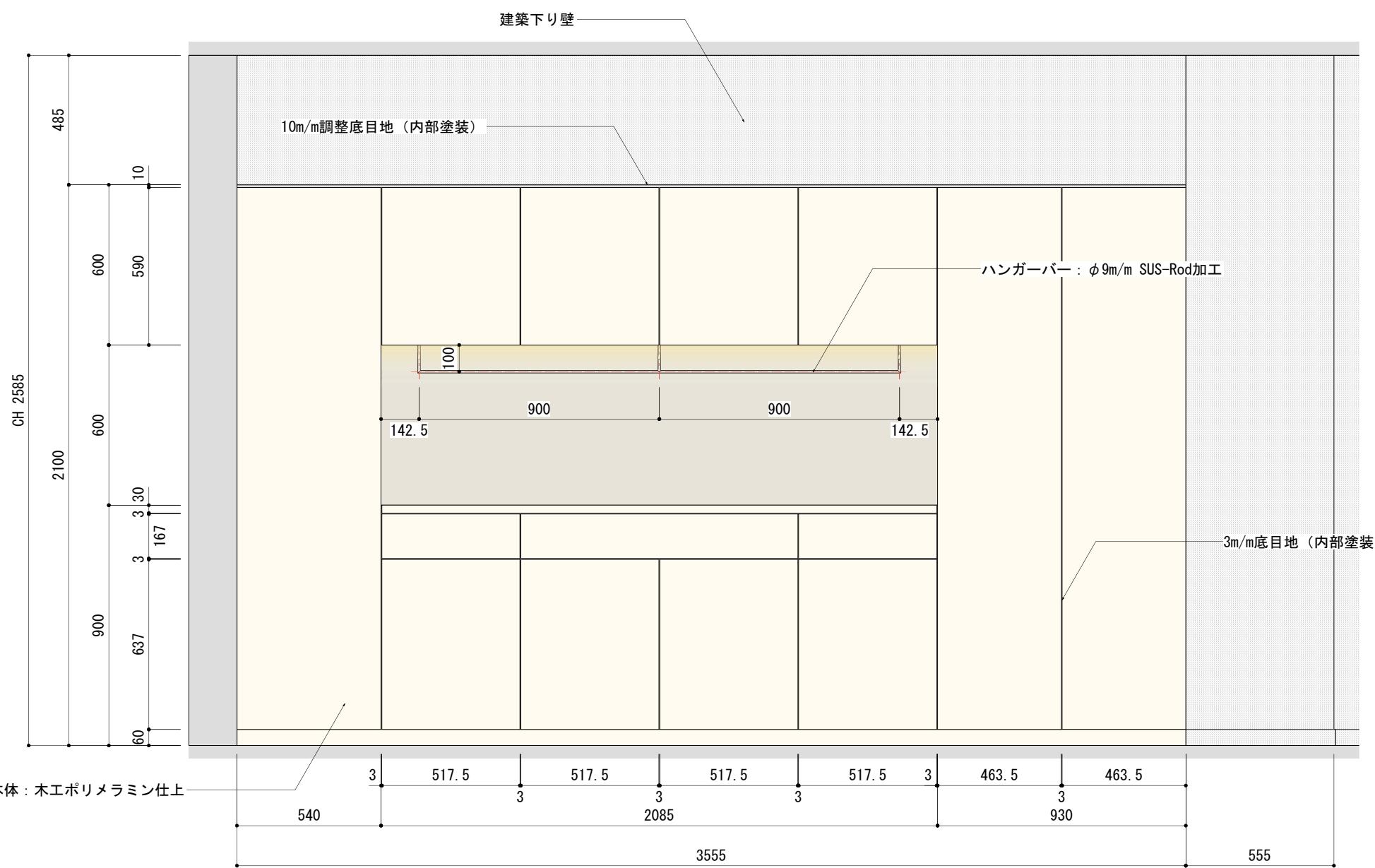
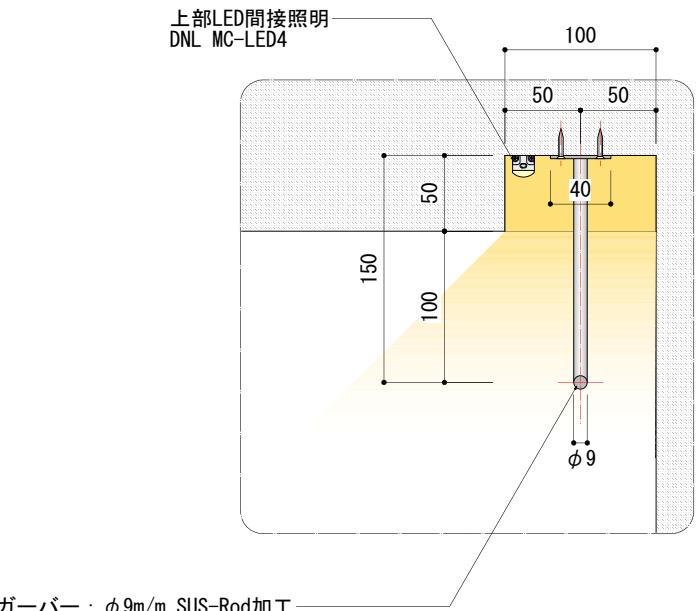
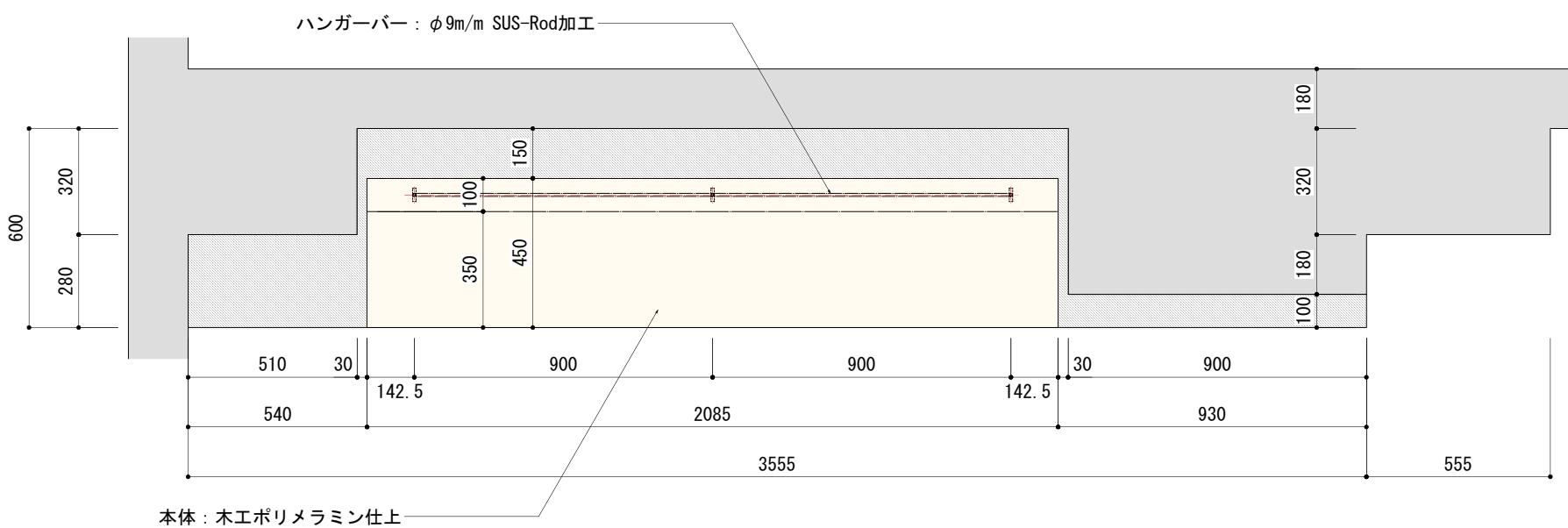
壁面 : LGS+PB12.5m/m下地塗装クロスEP-G塗装仕上 -

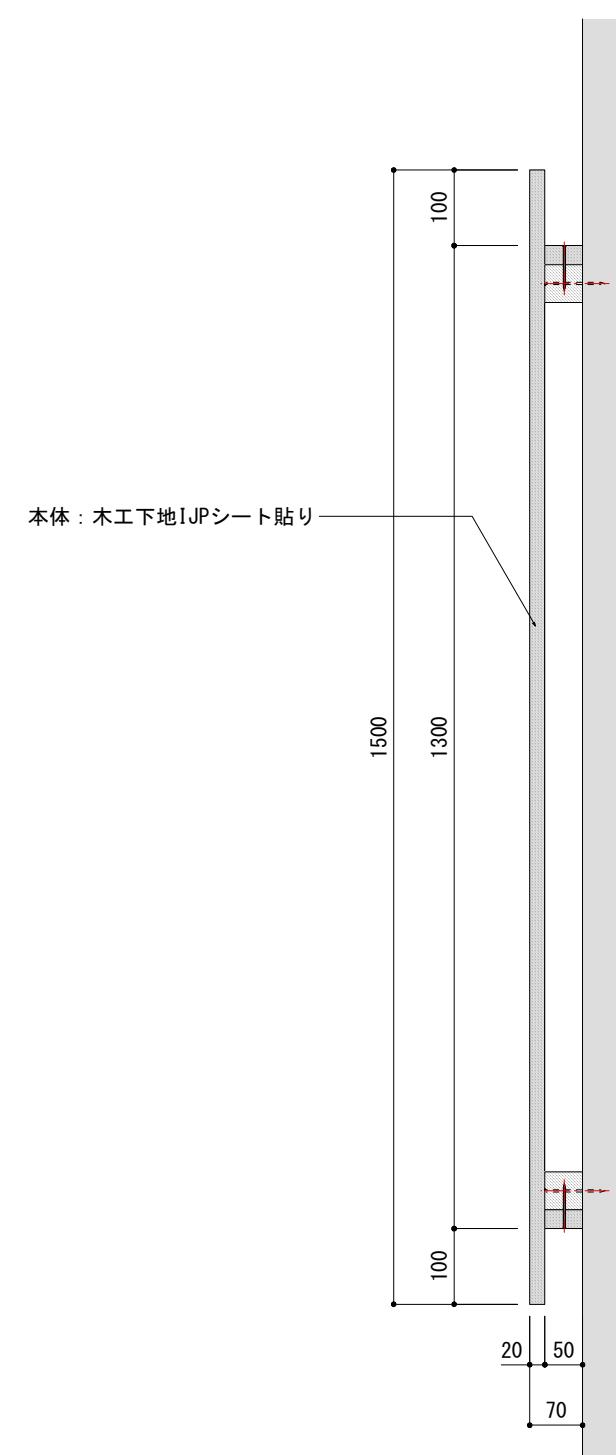
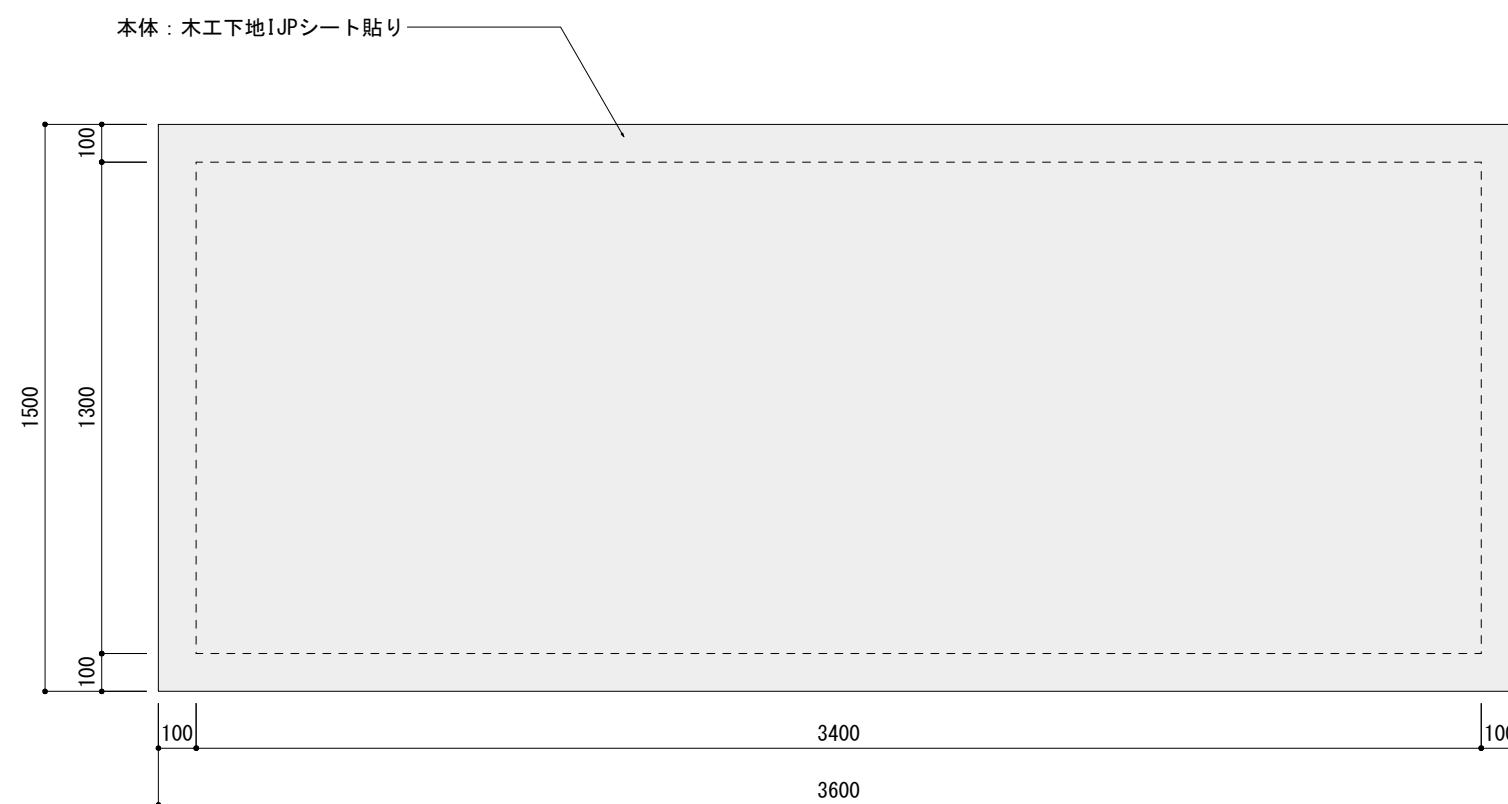
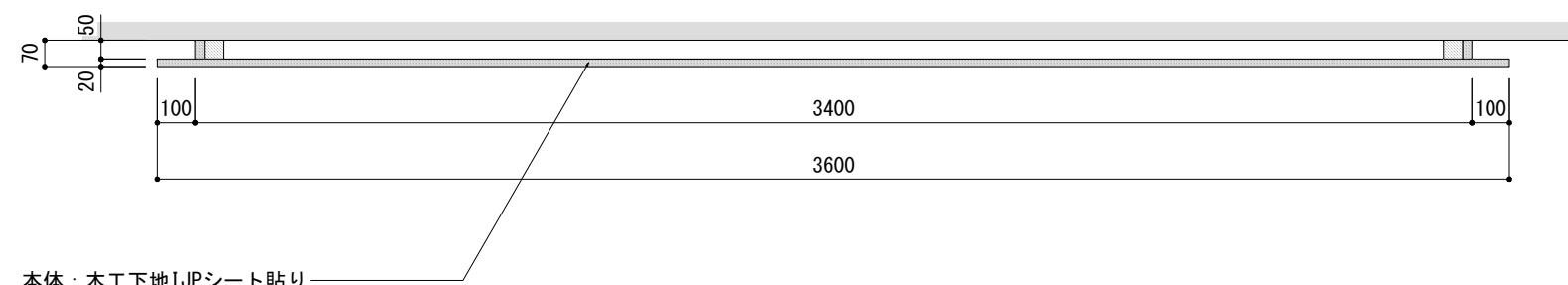


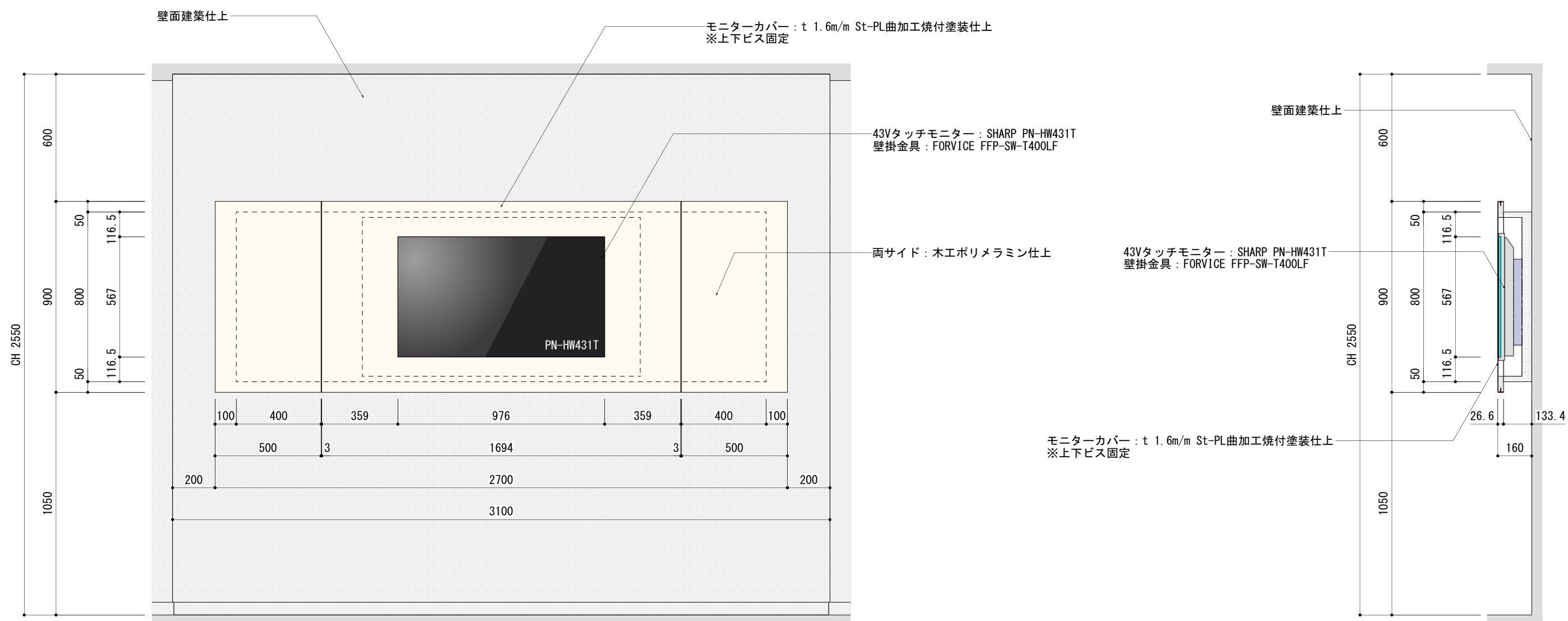
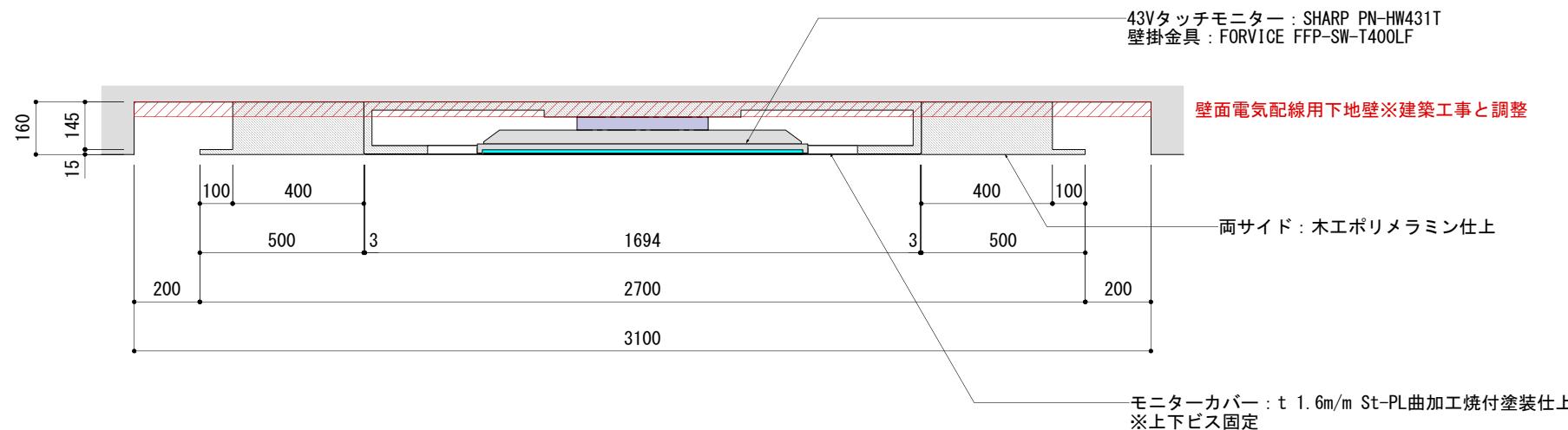
側板 : t 6mm 透明ガラス
飛散防止フィルム貼り

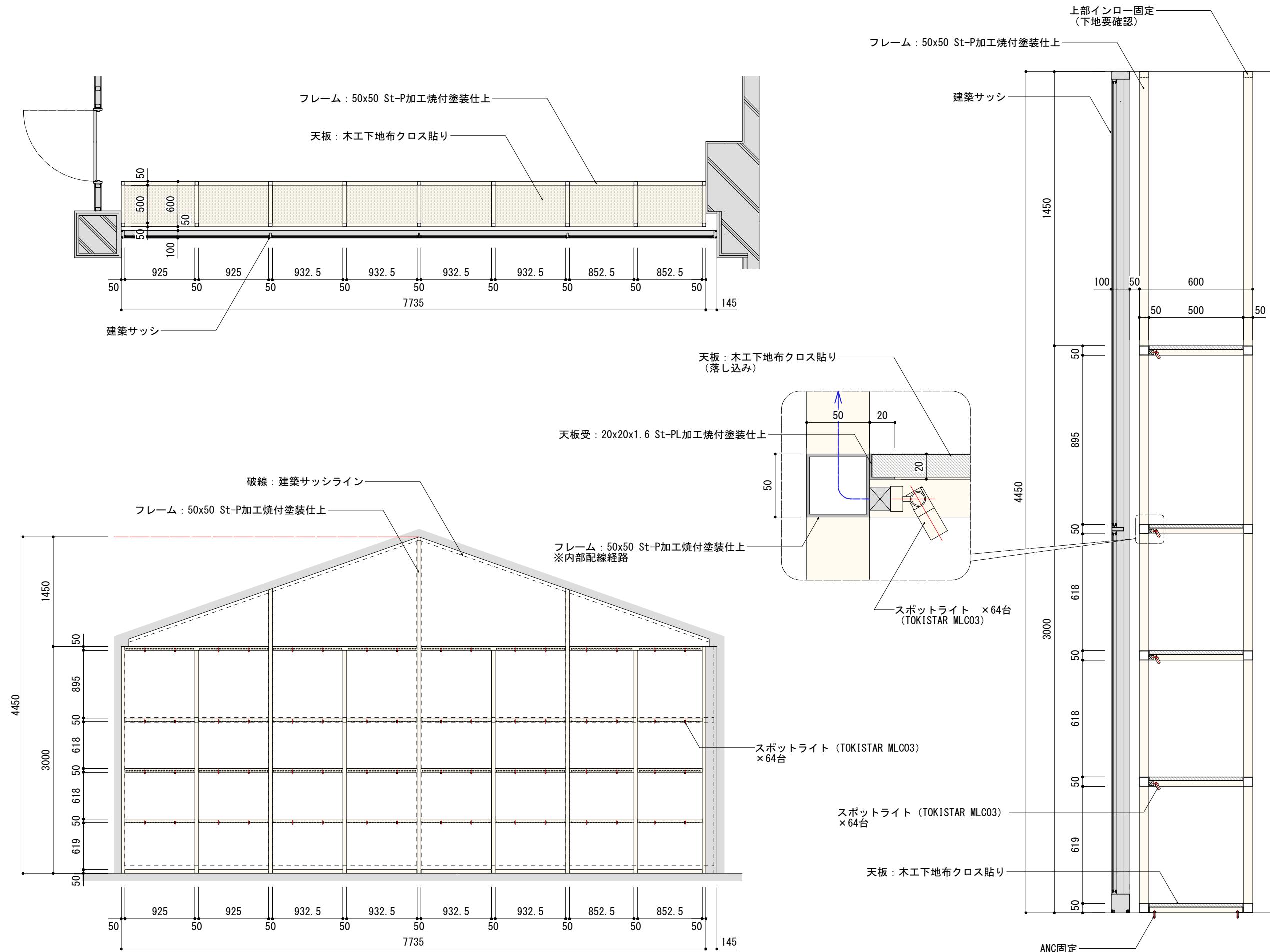
壁面展示ケース⑤⑥⑨は同寸法・同仕様

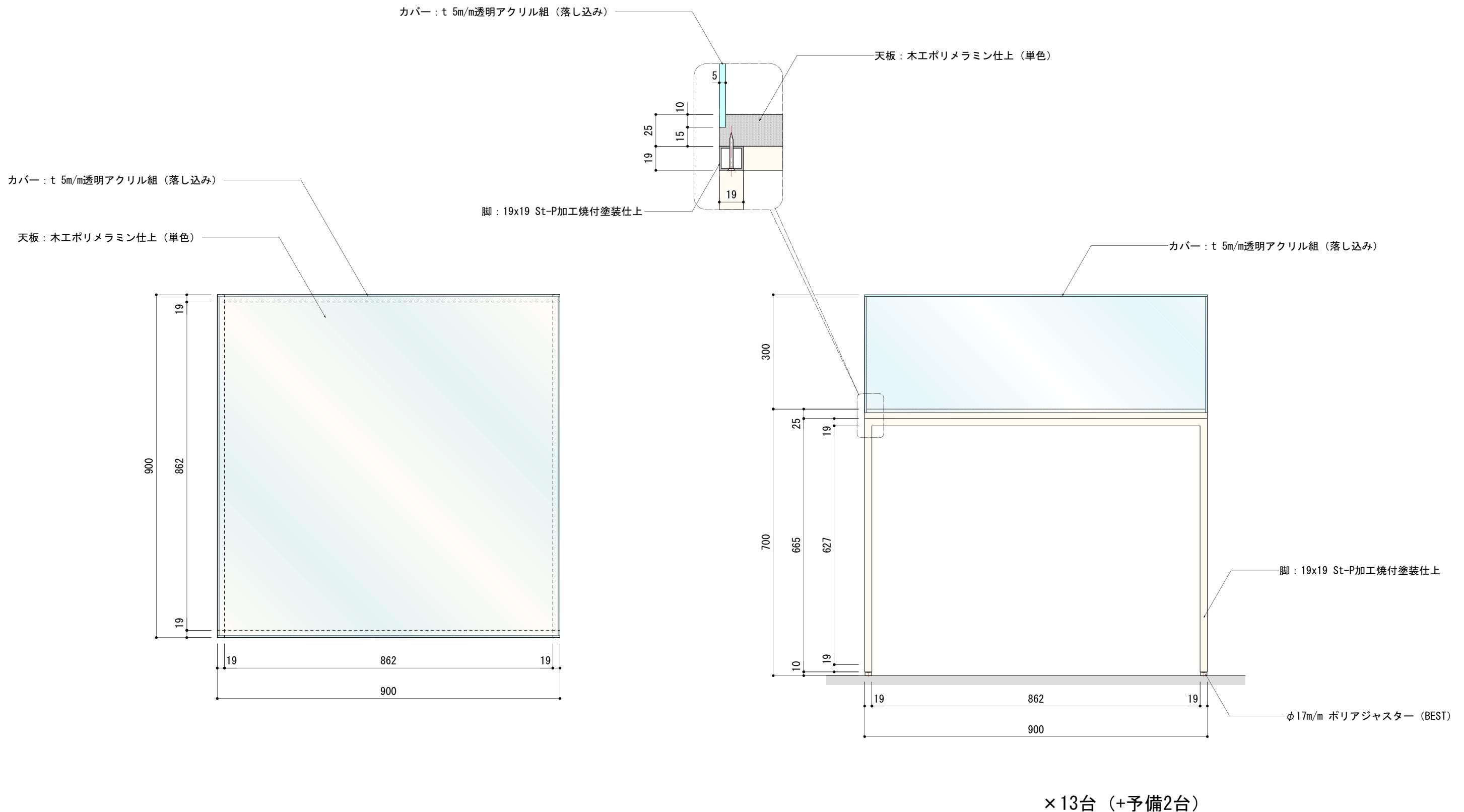


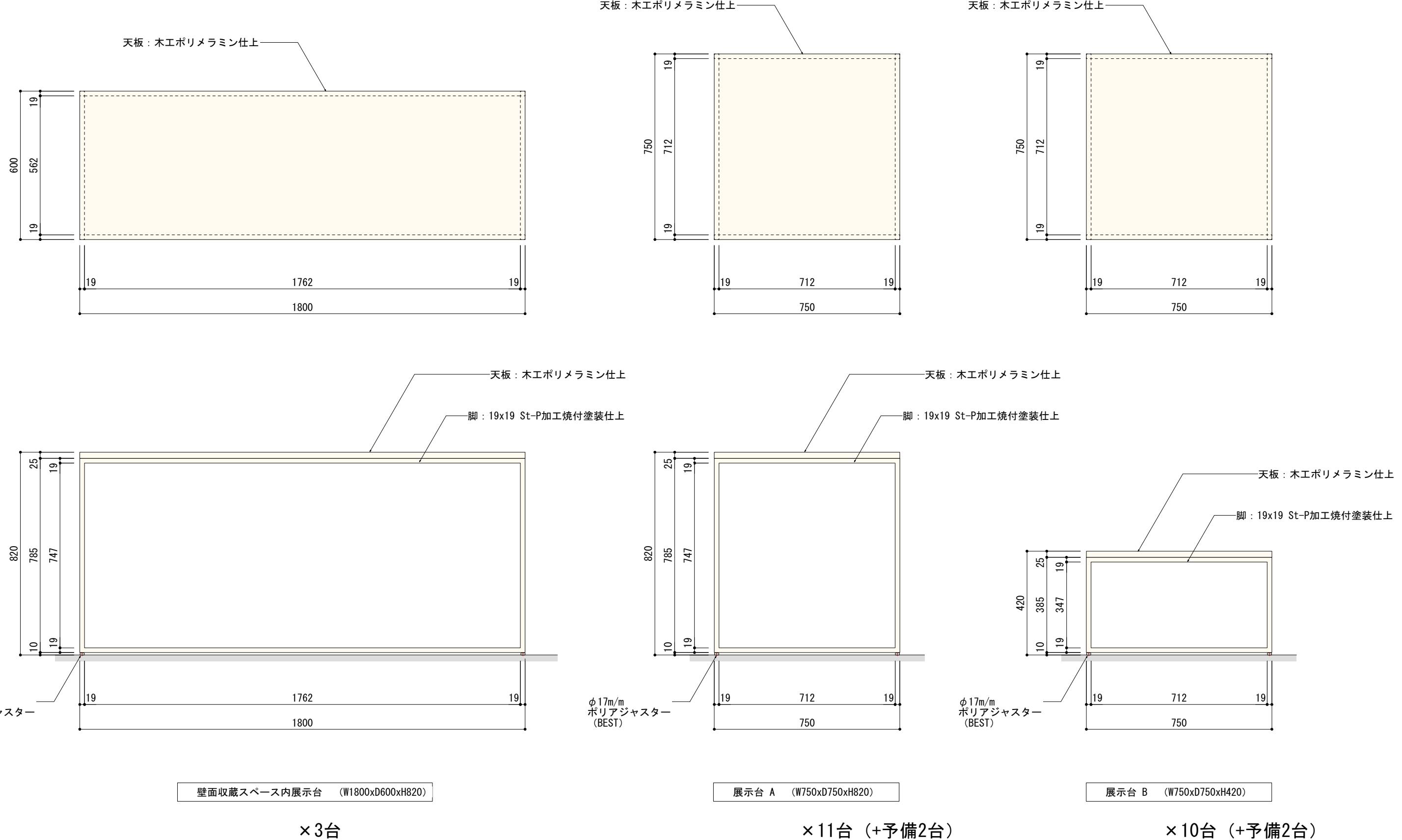












2F (収蔵庫)

商品名	規格・品番	数量
軽量棚 ERR 開放型 H2100	ERR-176650-W7 1800W*600D*2100H	7
軽量棚 ERR 開放型 H2100	ERR-174660-W7 1200W*600D*2100H	6
ERR 棚板	ERRP-T1206-W7 1180W*593D*35H	6
軽量棚 ERR 開放型 H2100	ERR-173660-W7 900W*600D*2100H	1
ERR 棚板	ERRP-T0906-W7 880W*593D*35H	1
軽量棚 ERR 開放型 H2100	ERR-173450 900W*450D*2100H	4
軽量棚 ERR 開放型 H2100	ERR-173360-W7 900W*300D*2100H	1
ERR 棚板	ERRP-T0903-W7 880W*293D*35H	1
EDS用壁固定金具	EWSP-FB100-Z9	38
A0用マップケース	HAM-05-WE 1375W*989D*414H	4
A0用スタンド	HAMA-10S-WE 1375W*988D*372H	2

3F (収蔵庫1)※フレーム・棚板共黒塗装

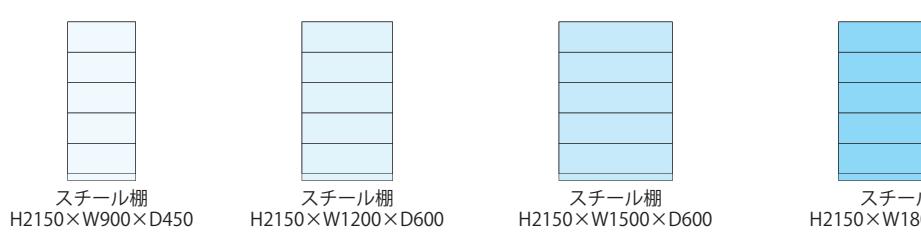
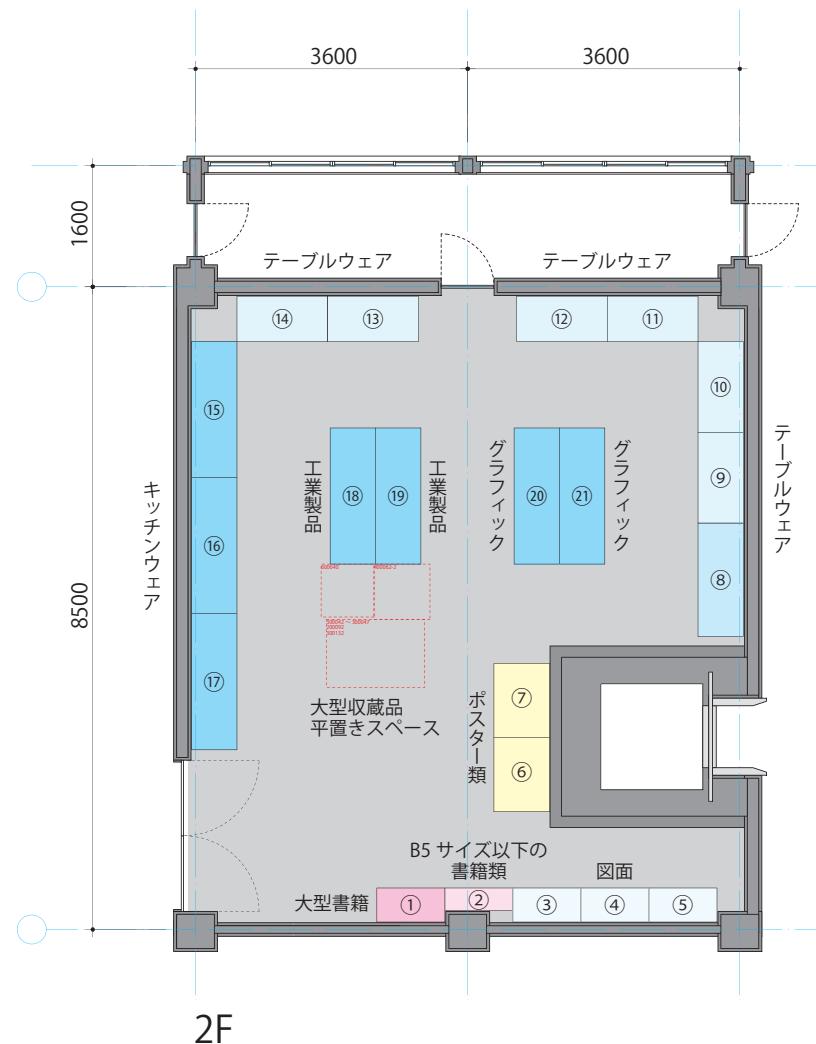
商品名	規格・品番	数量
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR176930SO	ERR-51 1800W*900D*2100H	6
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR176640SO	ERR-51 1800W*600D*2100H	1
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR176620SO	ERR-51 1800W*600D*2100H	1
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR176630SO	ERR-51 1800W*600D*2100H	2
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR175640SO	ERR-51 1500W*600D*2100H	4
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR175650SO	ERR-51 1500W*600D*2100H	1
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR175620SO	ERR-51 1500W*600D*2100H	2
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR174660SO	ERR-51 1200W*600D*2100H	1
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR174650SO	ERR-51 1200W*600D*2100H	1
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR174640SO	ERR-51 1200W*600D*2100H	1
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR174630SO	ERR-51 1200W*600D*2100H	1
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR174620SO	ERR-51 1200W*600D*2100H	2
EDS用壁固定金具	EWSP-FB100-Z9	48

3F (収蔵庫2)

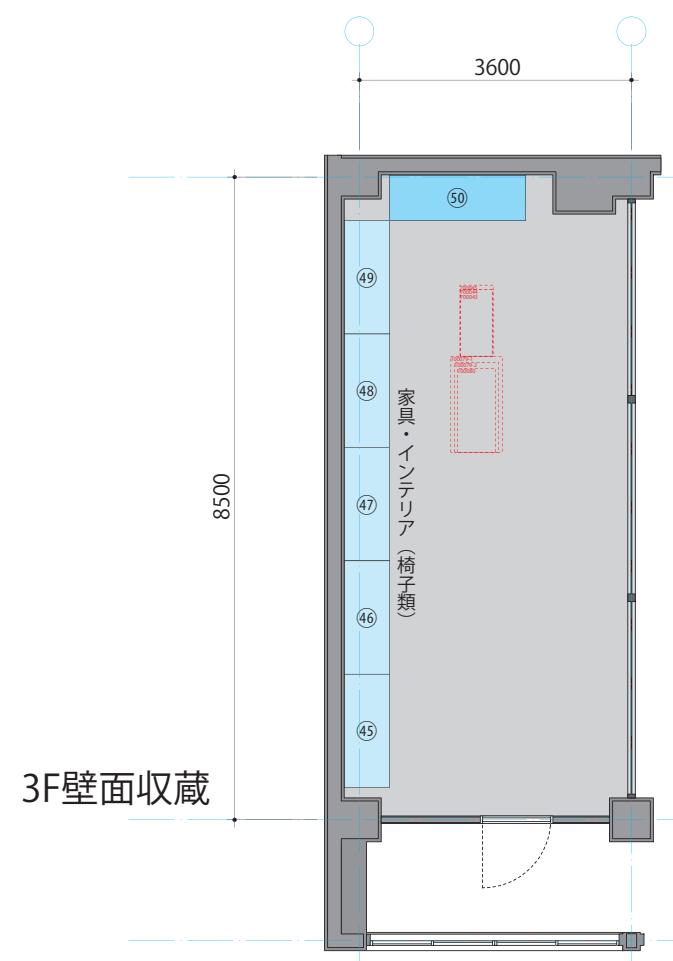
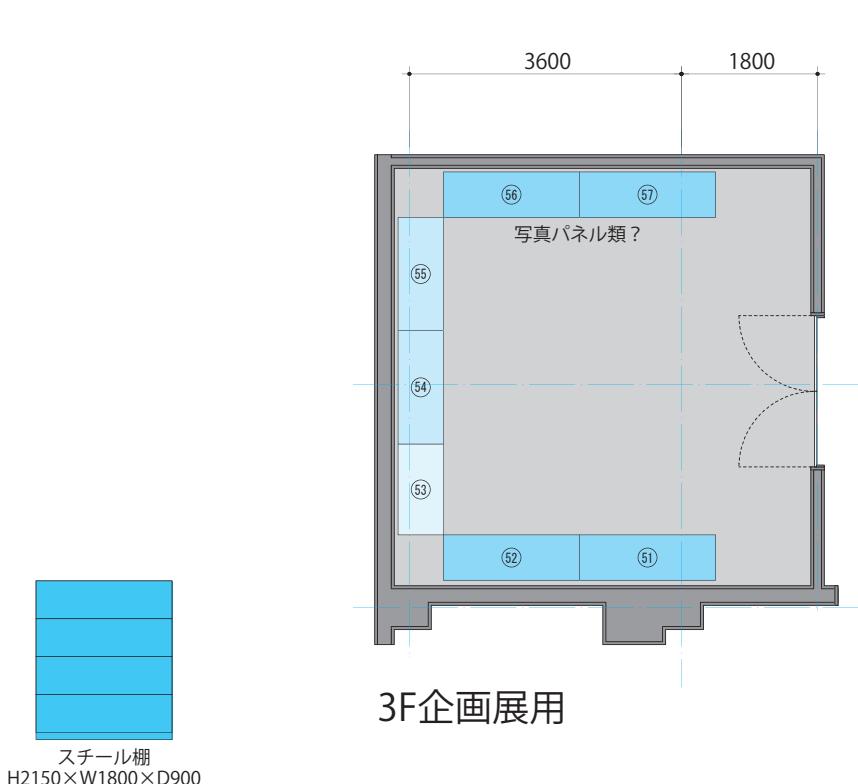
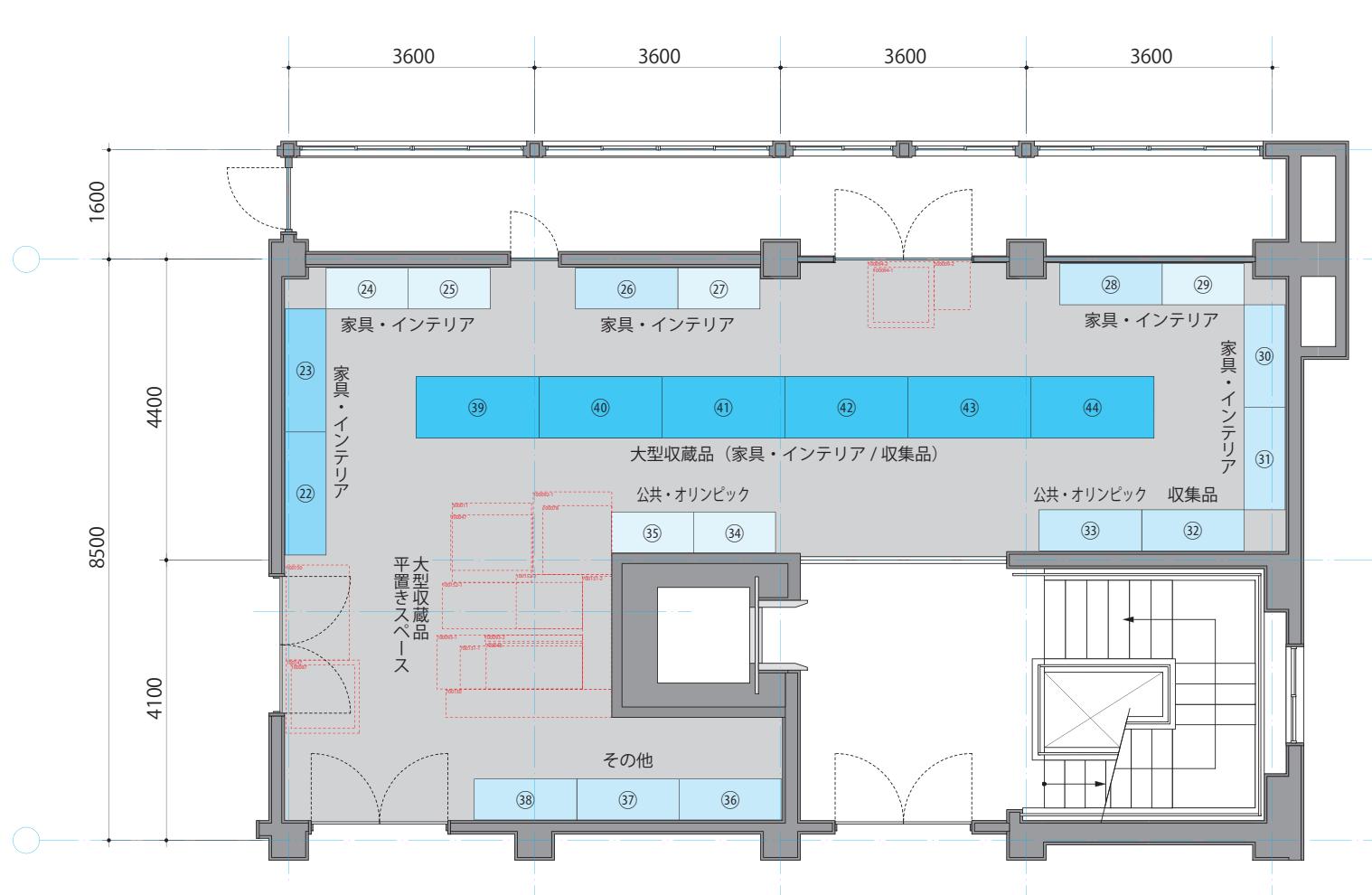
商品名	規格・品番	数量
軽量棚 ERR 開放型 H2100	ERR-176640-W7 1800W*600D*2100H	4
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR135620SO	ERR-51 1500W*600D*900H	2
軽量棚 ERR 開放型 H2100 ERR134620SO	ERR-51 1200W*600D*900H	1
EDS用壁固定金具	EWSP-FB100-Z9	14



スチールラック



(S=1/100)



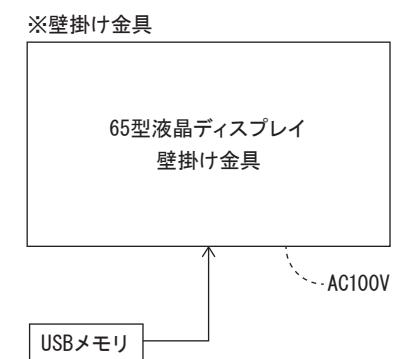
テーブルセット		ティーテーブルセット	キッチンツール					
飛騨産業	飛騨産業	三角スツール ×2	レードル (M) ×2	スキンマー ×2	バターピーター ×1			
								
テーブル YD354WP×1	イス YD261A×4	テーブル YD101T×1	イス YD610×4					
キッチンツール								
泡立て器 ×1	ステンレスボウル(5コセット) ×1	パンチング ストレーナー(4コセット) ×1	ステンレスケトル(ミラー/ツヤ消) ×各1	片手鍋 (18,22cm) ×各1	両手鍋 (22cm: 浅型・深型) ×各1			
								
キッチンツール		ボーンチャイナシリーズ						
フライパン (18,25cm) ×各1	カトラリー ×2セット (ティースpoon/ヒメフォークx10pcs、ケーキフォークx5pcs)	コーヒーカップ&ソーサー ×4	ティーカップ&ソーサー ×4	ポット ×1	シュガーポット ×1			
								
ボーンチャイナシリーズ		グラス						
クリーマー ×1	ステンレスプレート(18,25cm) ×各4	KIKYO ボール (15,18cm) ×各4	ワイングラス (S) ×3	Y グラス (クリア,ブルー,アンバーアイ) ×各1				
								

2F 展示室1 【柳宗理と金沢】

■概要

- 柳宗理氏は金沢美術工芸大学で50年にもわたって教鞭をとっていた。金沢美大での講義内容や学生との交流、金沢にまつわる柳氏のエピソードなどを映像で紹介する。
- 当時の写真や資料画像を中心に、新規撮影映像（インタビューなど）や既存映像資料等で映像を構成し、テロップ等を入れて情報を補足した4～5分程度の映像とする。
- BGM、ナレーションを入れる。
- 映像データをUSBメモリ等に入れて再生するシステムとし、開園中は常時リピート再生する。

■映像システム図



■映像機器リスト

機器名称	参考型式	仕様等	数量
65型液晶DP	PN-HY651	450cd/m ² 、3840×2160	1
壁掛け金物	FFP-SW-T6060LF		1

※機器に関しては同等品以上とする

■映像イメージ



2枚の同じ形の成形合板を金具でジョイントしたシンプルな構造が、羽ばたく蝶のように見えることから、その名が付いたバタフライスツール。



シンプルな構造と柔らかな曲線から生まれた美しいデザインは、日本のみならず世界中で認められ愛され、世界各地の美術館に永久収蔵品としてコレクションされている。



このデザイン史に輝く傑作を生み出したのが日本を代表するインダストリアルデザイナー柳宗理である。



日本のデザイン界に大きな影響を与えた柳は一方で教育者としてデザイン教育にも大きく貢献した。



前身である専門学校、短期大学への改組を経て、1955年に4年制大学として誕生した金沢美術工芸大学。



柳は、東京芸大時代の恩師である初代学長森田亀之助から要請を受け、1956年に産業美術学科の教授に就任した。



当時は「デザイン」という言葉自体まだ定着していないような時代であったが、戦後復興にむけて工業デザインの需要が高まっていた。



授業ではクレーモルタルや石膏モデルなど色々な素材を使って工房で模型をつくり、最後には「実材の原寸モデル」を製作した。



柳が「ワークショップ」と呼んだこの手法は、工業デザイン教育の基盤となり作品はワークショップで自ら造ることを原則としていた。



柳自身もデザインする上で、物を造りながら、試み、考えるというデザインプロセスが重要であると考え、実践していた。



～柳の授業を知る関係者のインタビュー～



講義は、自筆の論文に沿って進められていた。後半には柳の作品紹介や世界各地を訪れた際のスライド解説などを魅力あふれる口調で話していた。



卒業制作の指導では、きれいに仕上がったモデルでも商業主義的な匁いがあるものは評価せず、逆にモデルに欠陥があっても優れたアイデアを感じると高く評価した。



～柳の授業を知る関係者のインタビュー～



1967年に教授を退任すると、以降は非常勤として集中講義形式で講義を行い、50年に渡って金沢美術工芸大学で教鞭をとり続け、多くの学生・デザイナーに影響を与えた。



2003年に、金沢美術工芸大学の事業として展覧会「柳宗理・金沢展 うまれるかたち」が開催され、多くの来場者を集めた。



ワークショップによる試行錯誤、日頃の観察や探求、使う人や社会に寄り添い心をこめてデザインする姿勢。



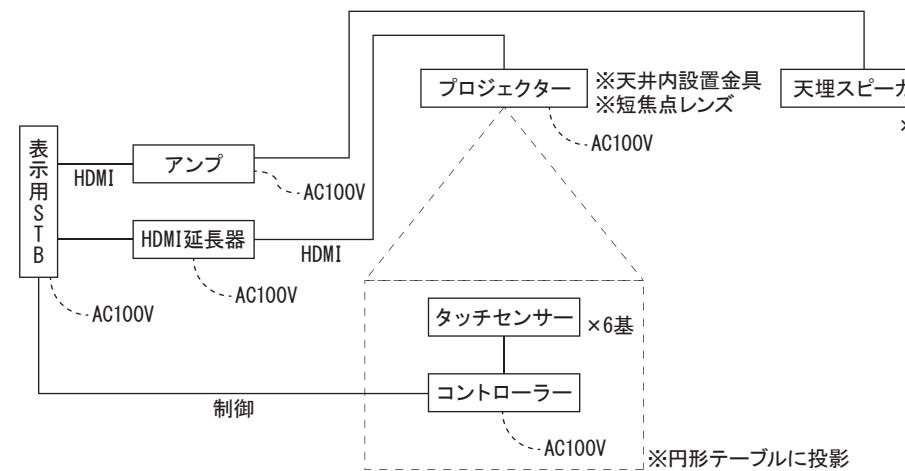
「手で考え、心でつくる」柳のデザインに対する考え方、金沢美大のモットーとなり、今も受け継がれている。

2F 展示室2 【柳宗理を知るキーワード】

■概要

- 柳宗理氏のデザインを知るうえで重要な6のキーワードを、円形のテーブルに天井裏からプロジェクターで映像を投影して紹介する。
- 円形のテーブル上には「アノニマスデザイン」「ワークショップ」「民藝」「バウハウス」「ル・コルビュジエ」「シャルロット・ペリアン」という6つのキーワードが印刷されている。それぞれのキーワード部分がタッチセンサーで、知りたいキーワードに触ると映像投影がスタートする。
- 各映像は、解説テキストや写真資料、イラストで構成し、アニメーションによる動きを付けた2分程度の映像とする。
- 効果音(SE)やナレーションを入れて、分かりやすく紹介する。
- 映像を表示していない時は待機画面(動画)を表示し、キーワードにタッチしてもらうことを促す。

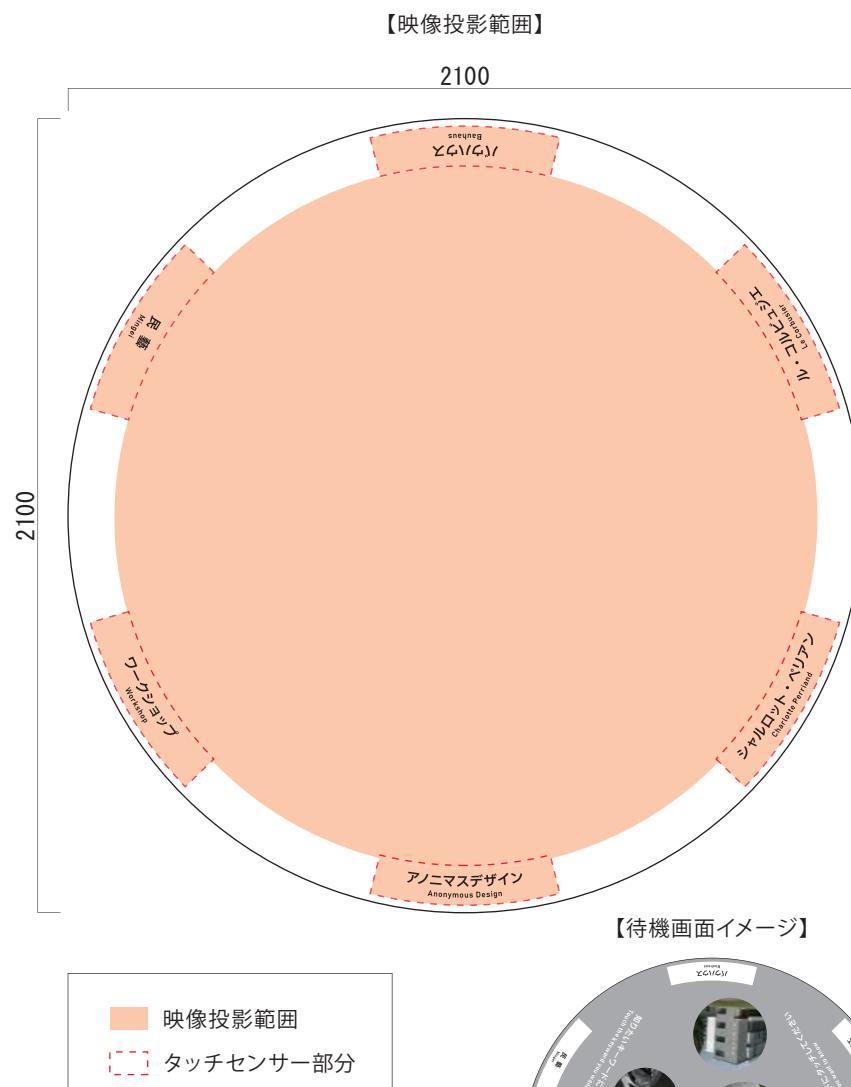
■映像システム図



機器名称	参考型式	仕様等	数量
プロジェクター	PT-MZ11KJ	11,000lm、レーザー式	1
短焦点レンズ	ET-EMW200		1
天井内設置金具	特型		1
表示用STB	BS/HD1025	4K対応、GPIO付き	1
アンプ	AP15mk2		1
スピーカー	PC-1861	8Ω、天井埋込み	2
タッチセンサー	特型	静電容量式	6
コントローラー	特型	接点出力8点リレー付き	1
HDMI延長器	HDC-TX100-D	CAT5e対応	1

※機器に関しては同等品以上とする

■映像イメージ



【アノニマスデザイン】

「アノニマスデザイン」とは、作者を特定できないデザインのこと。世の中にある様々な製品には、そのようなものも多い。柳は1960年の世界デザイン会議で実験器具やスポーツ用品を例に「純粹に用途のみを考慮した製品、即ち無名のデザインは非常に健康的」と述べた。1965年には野球ボールなどを陳列した展覧会を開催。機能美を追求したデザイン「アノニマスデザイン」を最終目的であると言っている。



【映像イメージ】

【ワークショップ】

「アノニマスデザイン」とは、作者を特定できないデザインのこと。世の中にある様々な製品には、そのようなものも多い。柳は1960年の世界デザイン会議で実験器具やスポーツ用品を例に「純粹に用途のみを考慮した製品、即ち無名のデザインは非常に健康的」と述べた。1965年には野球ボールなどを陳列した展覧会を開催。機能美を追求したデザイン「アノニマスデザイン」を最終目的であると言っている。



【映像イメージ】

【民藝】

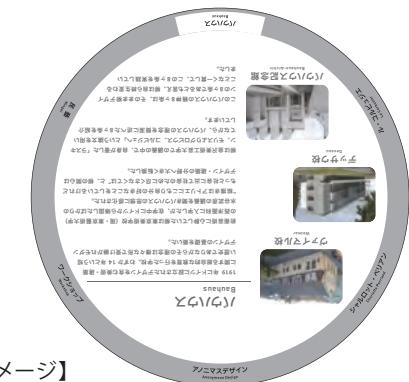
柳の父柳宗悦を中心に提唱された「民藝運動」は、名も無き職人が生み出した日常の生活道具を「民藝(民衆的工芸)」と名付け、新しい「美の見方」や「美の価値観」を提示した。柳はペリアンなどが民藝館で、陳列された民藝品に感激している様を見て、父親への尊敬の念を強めたと語った。原始的な暮らしから生まれるモノの強烈な純粹さ、根源的な美に魅了され、日本民藝館館長就任後、雑誌「民藝」や特別展で世界各国の民藝を紹介した。



【映像イメージ】

【バウハウス】

柳は東京美術学校西洋画科に在学していた際、ドイツから帰国したばかりの水谷武彦の講義を聞きバウハウスの思想に感染された。柳は講義の中で、自身の「ラスキン、モ里斯よりグロビウス、コルビュジエへ」という論文を用いて、バウハウスの理念を簡潔に述べた8ヶ条を紹介。このバウハウスの精神8ヶ条は、そのまま柳デザインの8ヶ条であるとも言え、柳は自ら終生変わることなく一貫して、この8ヶ条を実践していた。



【映像イメージ】

【ル・コルビュジエ】

柳は東京美術学校(現・東京藝術大学)の西洋画科に入学したが、バウハウスの思想に感染され、柳の関心はデザイン・建築の分野へ大きく転換した。そこでル・コルビュジエを知った柳はその新しい芸術思想と幅広い活動に強い憧れを抱き、後にコルビュジエの弟子である坂倉準三の事務所で働き、また第二次世界大戦中には、戦地にコルビュジエの著書を持っていくほどに尊敬していた。



【映像イメージ】

【シャルロット・ペリアン】

柳は東京美術学校卒業後、商工省の下部機関・日本輸出工芸連合会でデザイナーとして働き始め、輸出工芸品の振興と指導のために招聘されたシャルロット・ペリアンと出会った。ペリアンは民藝運動に共鳴し地方の伝統的な意匠や技術を再生しようと試みる。デザイナーのペリアンが民藝に強い関心をもったことは柳にとって大きな驚きで、後に“デザイナーとしても人間としても非常に影響を受けた”と話している。



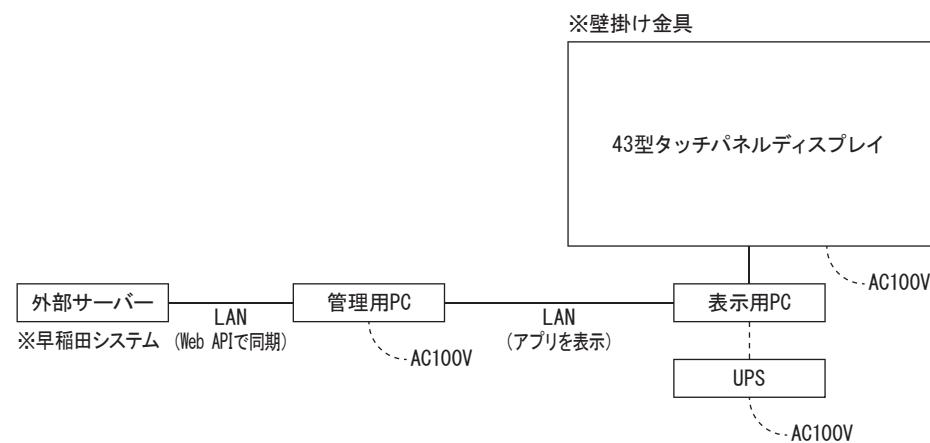
【映像イメージ】

2F【柳宗理デジタルアーカイブコーナー】

■概要

- 柳宗理デザインミュージアム（仮）が所蔵する、柳宗理に関する貴重な資料の活用・継承を図るために、寄贈された6,730点におよぶデザイン関係資料を整理・記録してデジタルアーカイブを構築する。
- 来館者がタッチパネル端末を操作し、見たい資料をジャンルや年代などで絞り込みながら自由に検索・閲覧することができる。また、製品や模型、図面などの関連資料を紐づけて表示することで、学習や研究のツールとしての利便性を高める。
- デジタルアーカイブに登録する収蔵資料について、デジタル画像の作成（200点程度）やメタデータ（タイトル、日付、サイズ、管理番号等）を作成する。また、代表的な作品や来館者が触れることができない収蔵資料、建築模型など（10点程度）については、3D画像データを作成し、来館者が様々な角度から資料を閲覧できるようにする。
- デジタルアーカイブへの資料の追加登録や登録内容の編集は、施設管理者が管理画面から容易に更新できるシステムとし、収蔵資料の増加や調査研究成果の反映に対応しやすいものにする。
- 一定時間操作がない場合は、待機画面を表示する。

■映像システム図

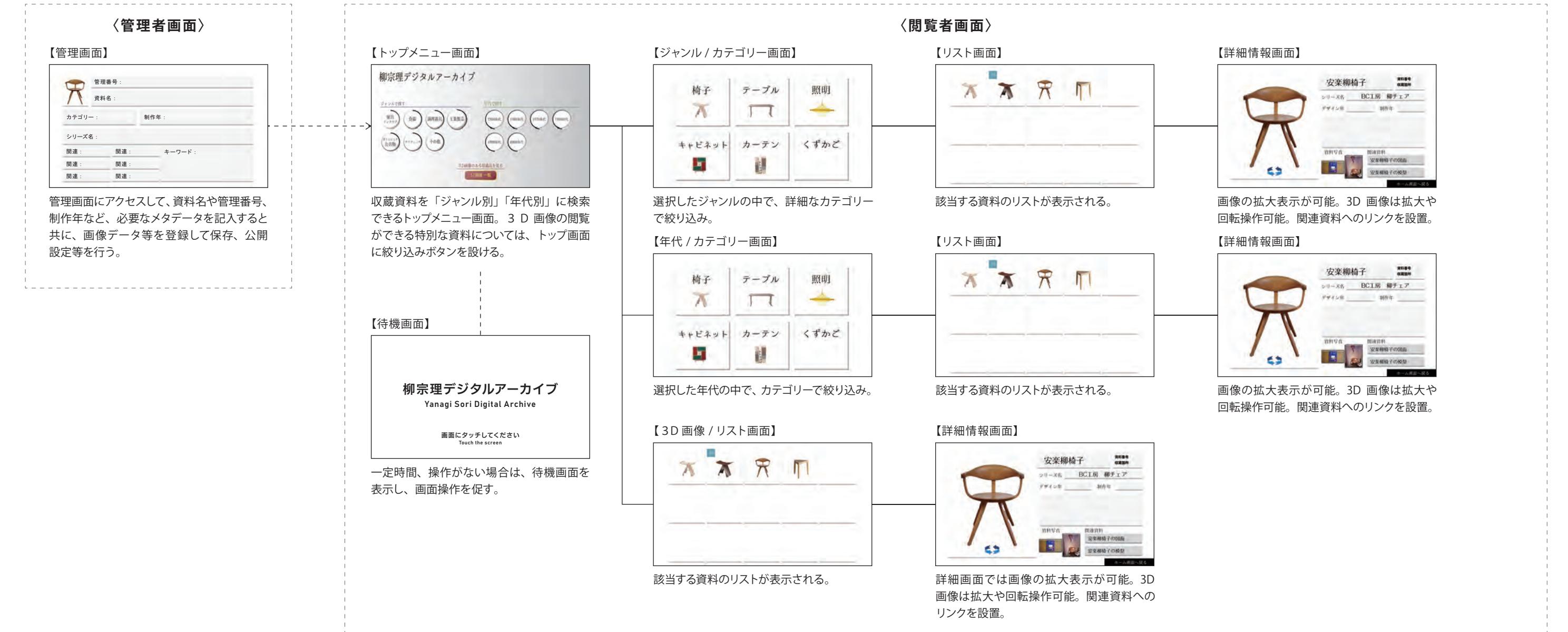


■映像機器リスト

機器名称	参考型式	仕様等	数量
43型タッチパネルDP	PN-HW431T	350cd/m ² 、赤外線タッチ方式	1
壁掛け金具	FFP-SW-T400LF		1
表示用PC		WIN 11 256GB 8GB	1
UPS	BX35F	250W	1

※機器に関しては同等品以上とする

■画面イメージ

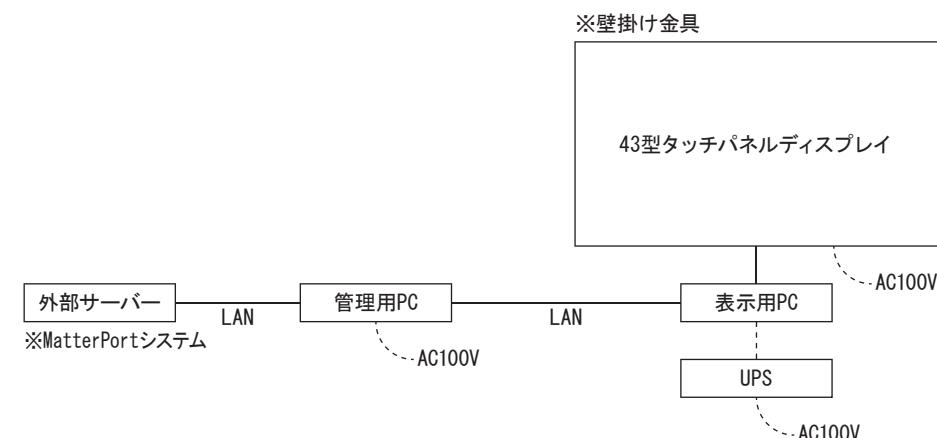


2F【柳工業デザイン研究所のアトリエ体感】

■概要

- 柳宗理氏が、日々デザインや模型製作を行い、バタフライツールをはじめ数々の作品を生み出してきた柳工業デザイン研究会のアトリエは、現在もほぼ当時のまま残されており、柳宗理デザインを知る上でも重要な空間である。このアトリエを360°画像で再現し、バーチャルツアーアトリエとして体感してもらうことで、来館者だけの特別な体験を提供するコンテンツとする。
- 来館者がタッチパネル端末を操作して、移動したい場所や向たい方向を指定しながら、自由にアトリエ内を移動することができ、アトリエ内のアイテムに関する情報を閲覧できる。
- 360°カメラで撮影したアトリエ内の画像データを、3Dデータプラットフォームサービス（ MatterPort :3Dキャプチャシステムなど）を利用して、バーチャルツアーコンテンツの制作を行う。
- システムは独立型ではなく、オンラインで保存されたデータへアクセスしてディスプレイに表示する。
- 一定時間操作がない場合は、待機画面を表示する。

■映像システム図



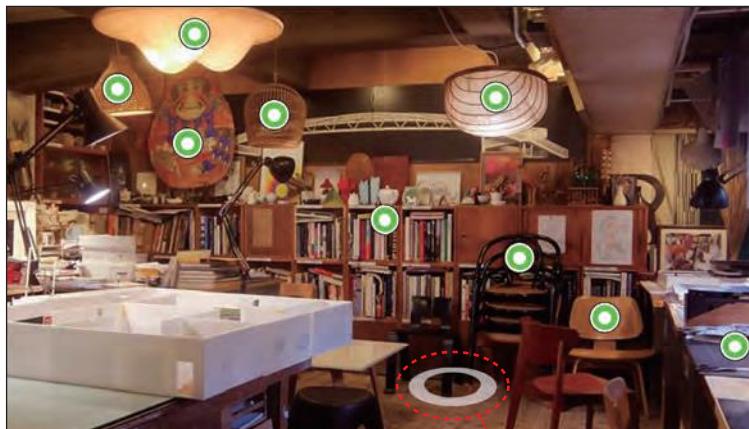
■映像機器リスト

機器名称	参考型式	仕様等	数量
43型タッチパネルDP	PN-HW431T	350cd/m ² 、赤外線タッチ方式	1
壁掛け金具	FFP-SW-T400LF		1
表示用PC		WIN 11 256GB 8GB	1
UPS	BX35F	250W	1

※機器に関しては同等品以上とする

■映像ソフト展開

柳工業デザイン研究会のアトリエ入口からバーチャルツアーアトリエがスタート。
画面に点在する移動ポイント（半透明のリング）にタッチすると、
その場所に画面が移動する。



【待機画面】

画面を上下左右にスワイプすると、見たい方向に360°画面を動かす
ことができる。



移動用ポイント

画面上に設けた解説ポイント（緑の丸）をタッチすると、各アイテムに
関する情報が、ポップアップ表示される。



解説ポイント

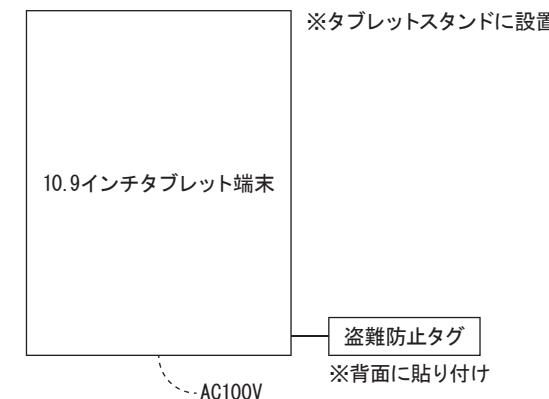
一定時間、操作がない場合は、待機画面を
表示し、画面操作を促す。

1F【柳宗理書籍閲覧コーナー】

■概要

- 1F カフェに併設するライブラリーコーナーに、柳宗理氏の著書や民藝に寄稿した文章などを、来館者がタブレット端末を操作して、ゆっくりと閲覧できるコーナーを設ける。
- タブレット端末に柳氏の書籍をスキャンした PDF データをインストールして、PDF ビューアーで閲覧するシステムとする。
- タブレット端末には不正利用防止のために操作制限をかけ、来館者が書籍の閲覧以外の用途に使用できないようにする。
- 盗難防止のため、タブレット端末の背面にセキュリティタグを貼り付け、施設が管理するスマートフォンやタブレット等のモバイル端末に、専用アプリをインストールして管理する。

■映像システム図



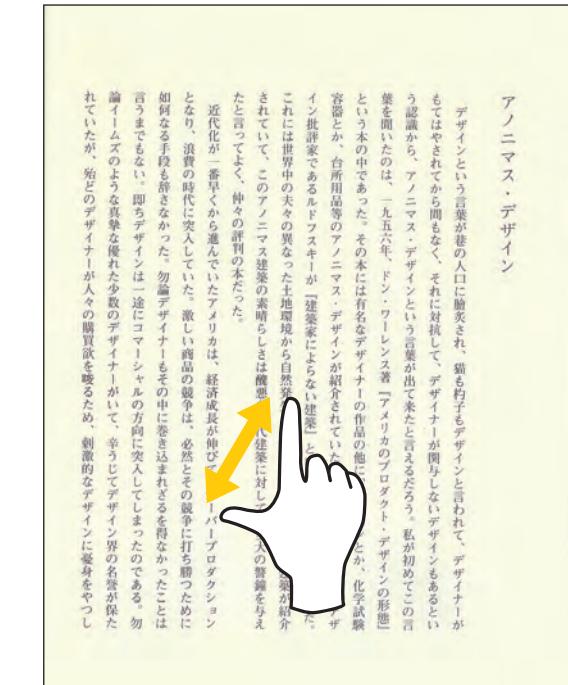
■映像機器リスト

機器名称	参考型式	仕様等	数量
タブレット端末	iPad	10.9 インチ、64GB	2
タブレットスタンド	タブレットスタンド リン		2
盗難防止タグ	MAMORIO FUDA		2

※機器に関しては同等品以上とする

■映像ソフト展開

【リスト画面】



タブレット端末にインストールされた書籍（PDF）をリストで表示。読みたい書籍をクリック。

選択した書籍の PDF データが大きく表示される。ページをスワイプすると次のページへ。

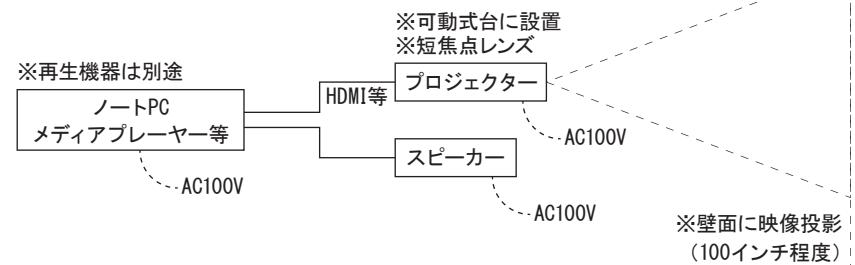
画面をピンチイン、ピンチアウトすると、画面を拡大・縮小できる。

3F【映像シアター】

■概要

- 3F企画展示室において、企画展示の内容に合わせた映像やレクチャー時にPC画面などを上映できる映像シアターを設ける。
- 可動式の台に乗せたプロジェクターから、企画展示室東側壁面に100インチ程度の大きさで映像を投影し、映像の再生はノートPCやメディアプレーヤーで行う。

■映像システム図



■映像機器リスト

機器名称	参考型式	仕様等	数量
プロジェクター	PT-VMZ71J	7,000lm、レーザー式	1
可動式台	PR-2N		1
スピーカー	HS3	アンプ内蔵、26W×2 2台1組	1

※機器に関しては同等品以上とする

【改修記録映像】

■概要

- 国の登録有形文化財である「旧石川県織維会館」を柳宗理デザインミュージアム（仮）として改修する工事の様子を撮影して記録映像を制作することで、完成後の公開講座や視察等を受け入れた際の教材として利用すると共に、建築を学ぶ学生などの教育に活用する。
- 改修前、改修後に施設の外観と内観を撮影すると共に、改修中の外観（外壁の貼替、樹木の伐採、植え替え）、内観（1Fホール天井の復元、地下階段の撤去・復元、エレベーターの設置、1Fから2Fへの階段手すりの復元、2F間仕切り壁の撤去、3F展示室天井の復元、収蔵展示室の施工、見せる収蔵庫の施工）など、工事の進捗に合わせて改修工事の様子を撮影していく。
- 撮影した映像に、竣工当時の写真や資料をまじえて映像を構成し、テロップ等を入れて情報を補足した5分程度の映像とする。
- 映像には、BGM、ナレーションを入れる。
- 完成した映像は、データおよびブルーレイディスク（2枚）で納品する。

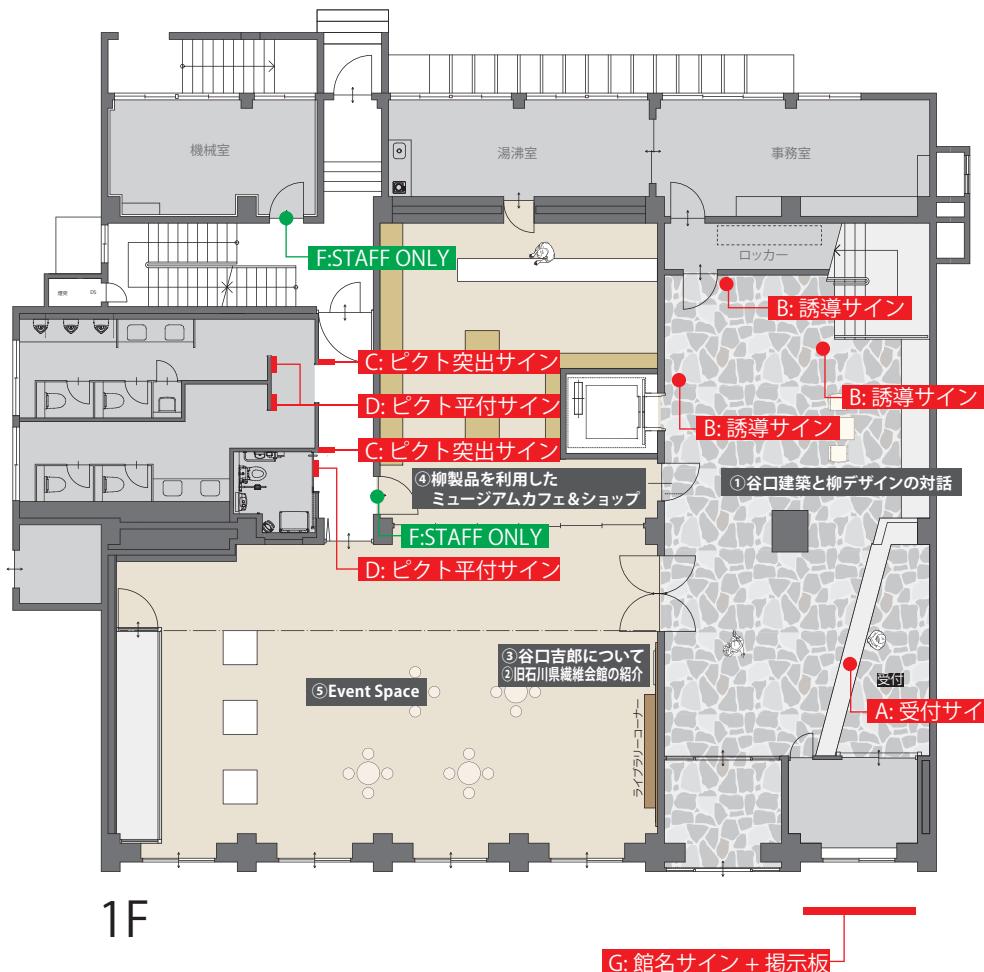
■映像イメージ



完成した柳宗理デザインミュージアム（仮）の概要を紹介。

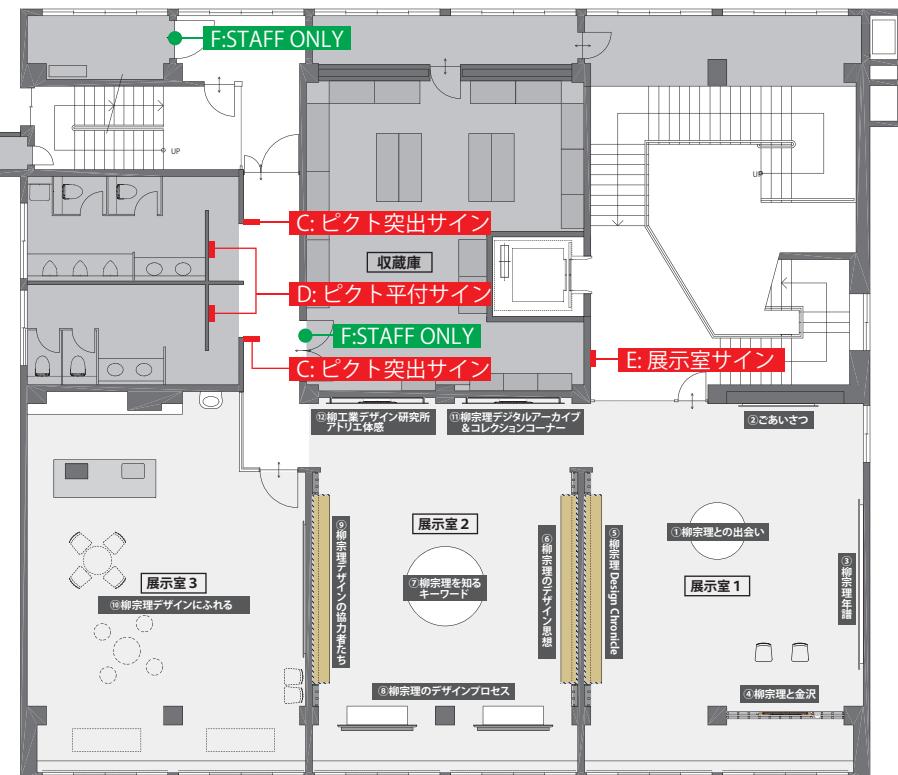
改修では耐震改修に加えて竣工当初の意匠への復元など、様々な工事が行われた。



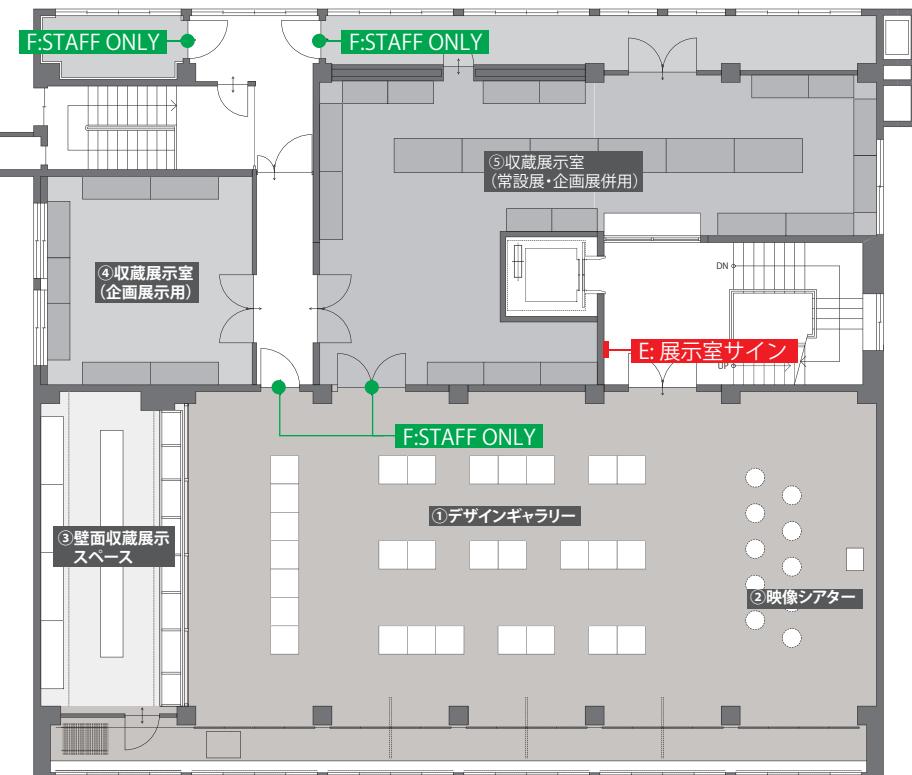


1F

G: 館名サイン + 掲示板

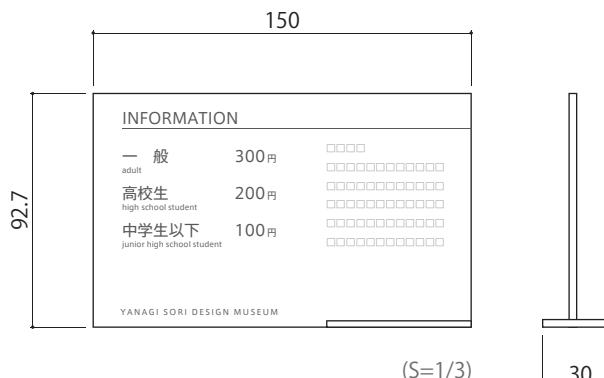


2F



3F

A: 受付サイン ×1基



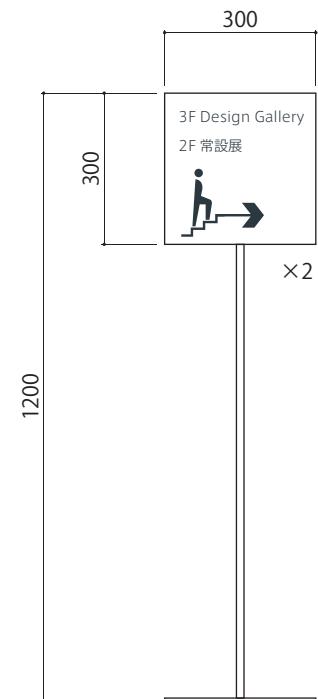
F:STAFF ONLY ×8基



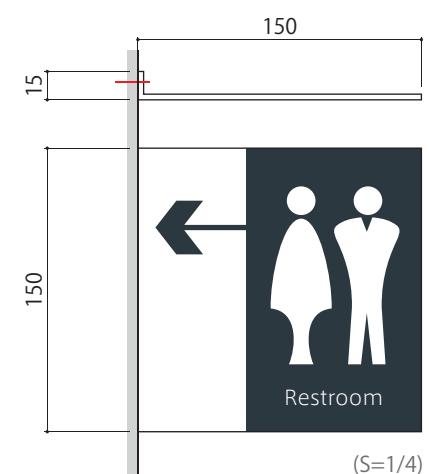
塩ビシート切文字貼り

(S=1/3)

B: 誘導サイン ×3基

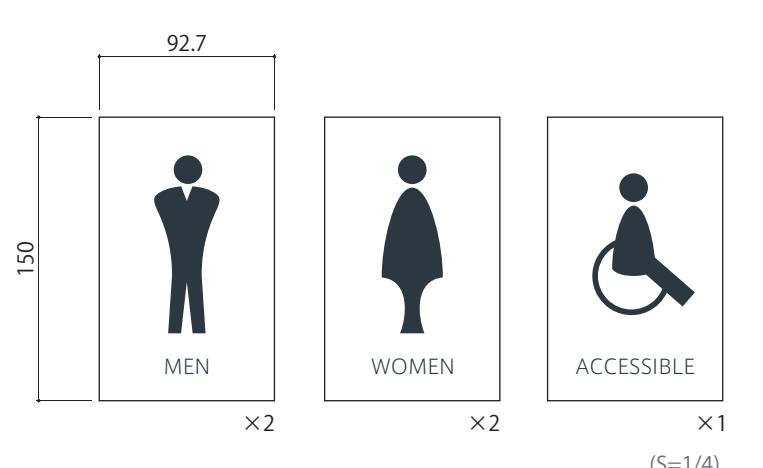
t3.0 スチール板加工焼付塗装仕上げ
表示: シルク印刷

C: ピクト突出サイン ×4基

t3.0 スチール板加工(シカル曲げ)焼付塗装仕上げ
表示: シルク印刷(両面)

(S=1/15)

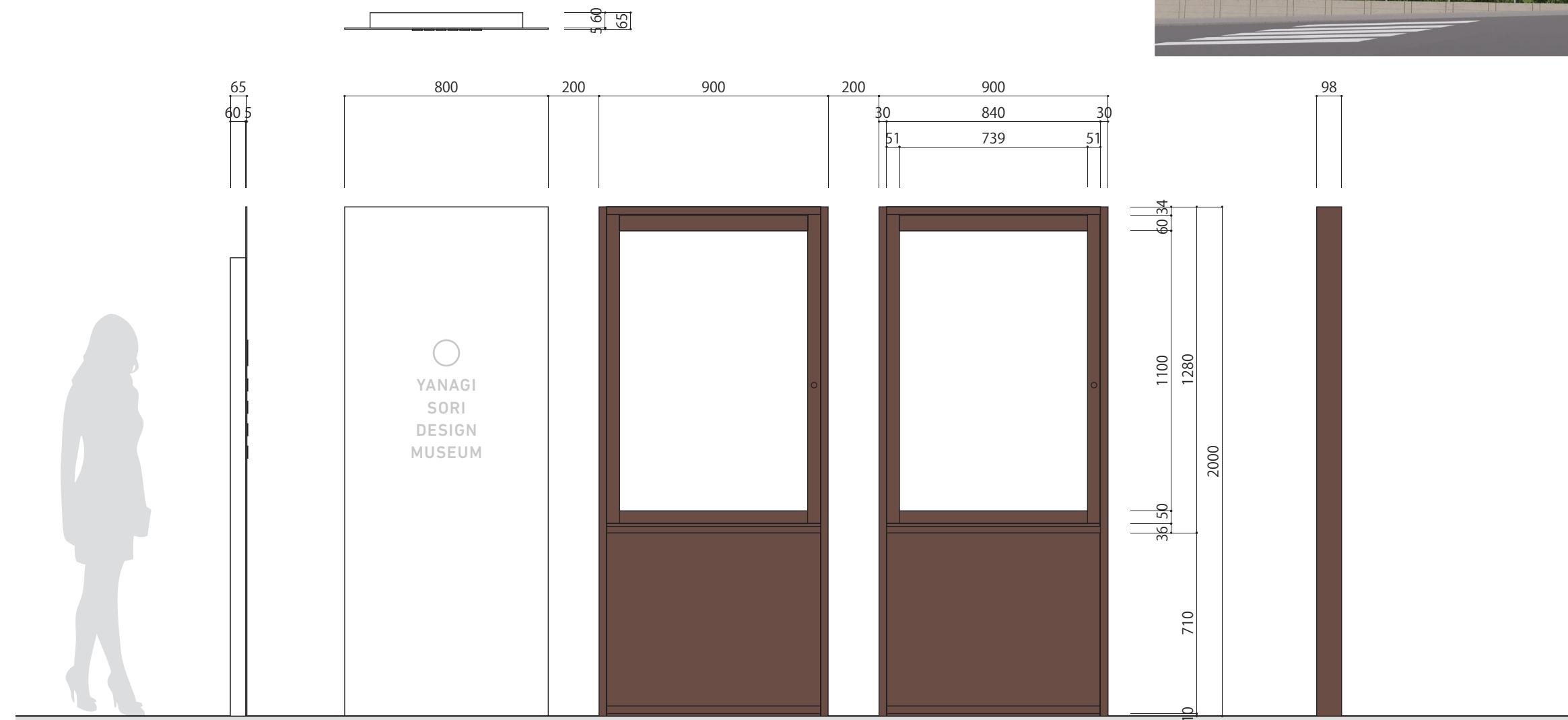
D: ピクト平付サイン ×5基



(S=1/4)

t3.0 スチール板加工焼付塗装仕上げ・スタッド取付
表示: シルク印刷(両面)60 YANAGI SORI DESIGN MUSEUM
Design GalleryABS樹脂文字塗装仕上げ
(S=1/10)

G: 館名サイン + 掲示板 ×1基

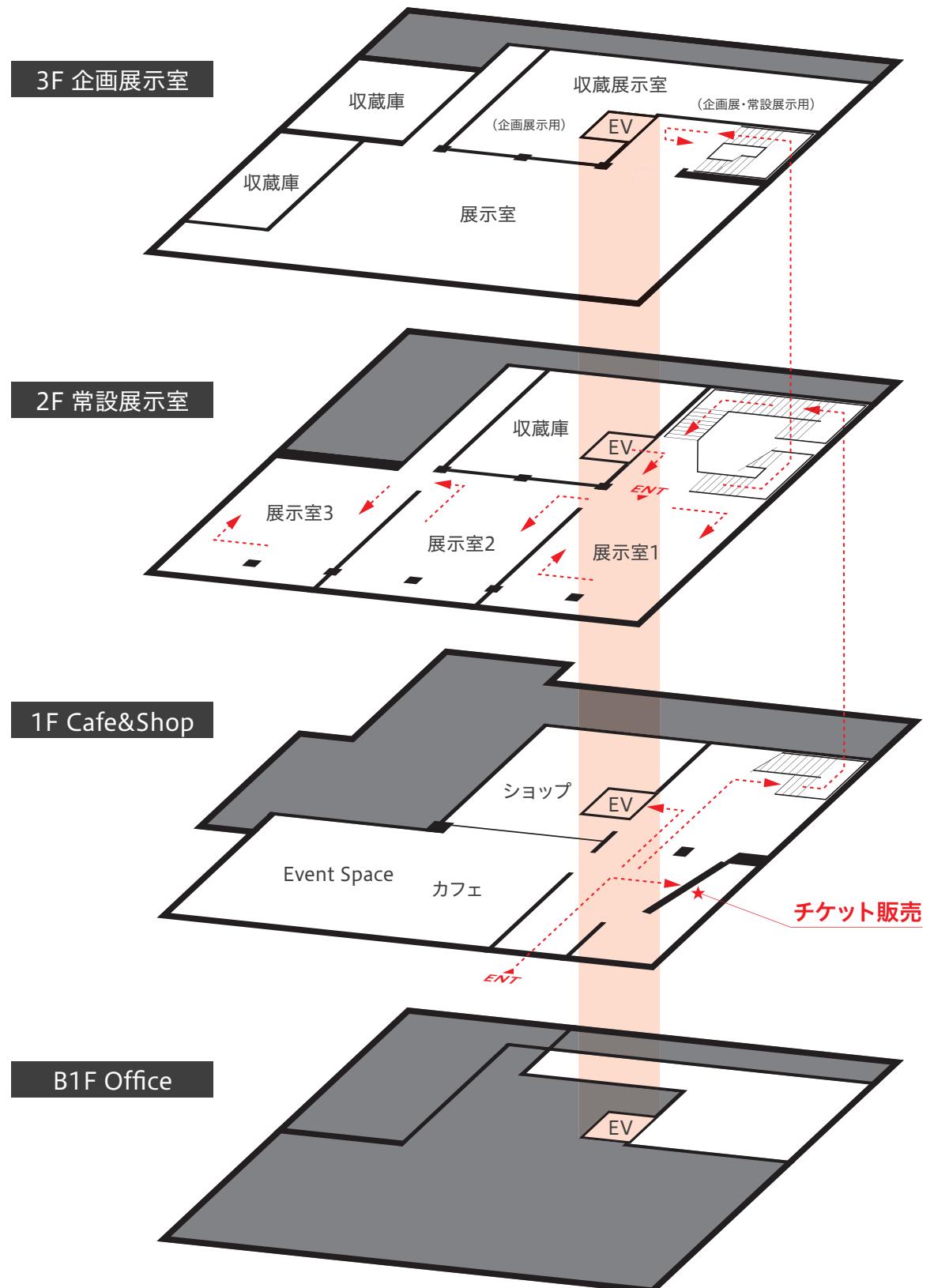


館名サイン：
ステンレス加工焼付塗装仕上
文字抜き加工 乳半アクリル板裏あて
LED内照式
※名称、書体(ロゴマーク)は仮です

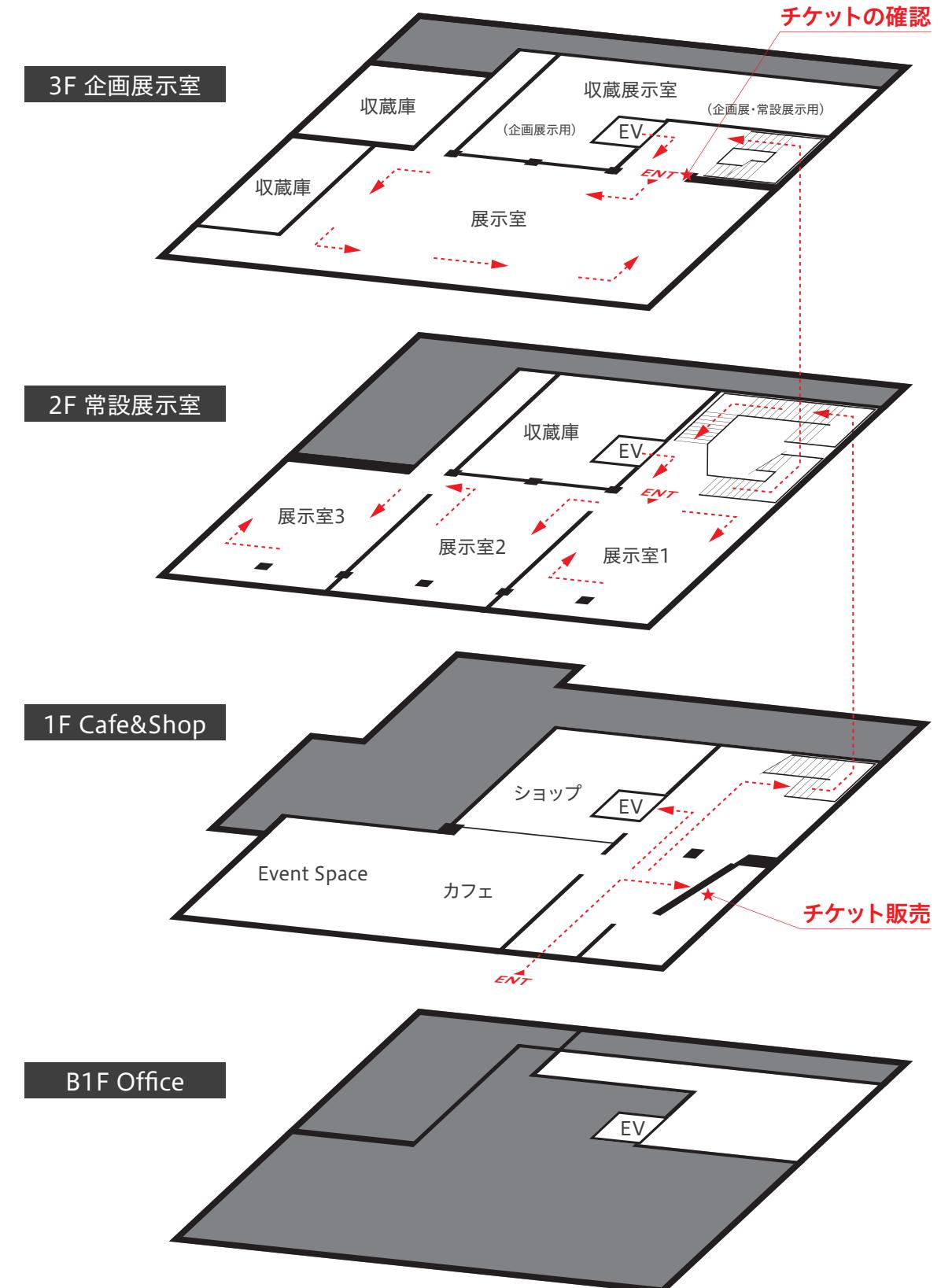
掲示板 ×2台 : BISO/AGC-0912 (ダークブロンズ)
本体: アルミ押出材塗装仕上
表示面: スチール複合板(ホワイト)
マグネット止め仕様
LED付
ガラス: 強化ガラス
力ギ: カムロック錠

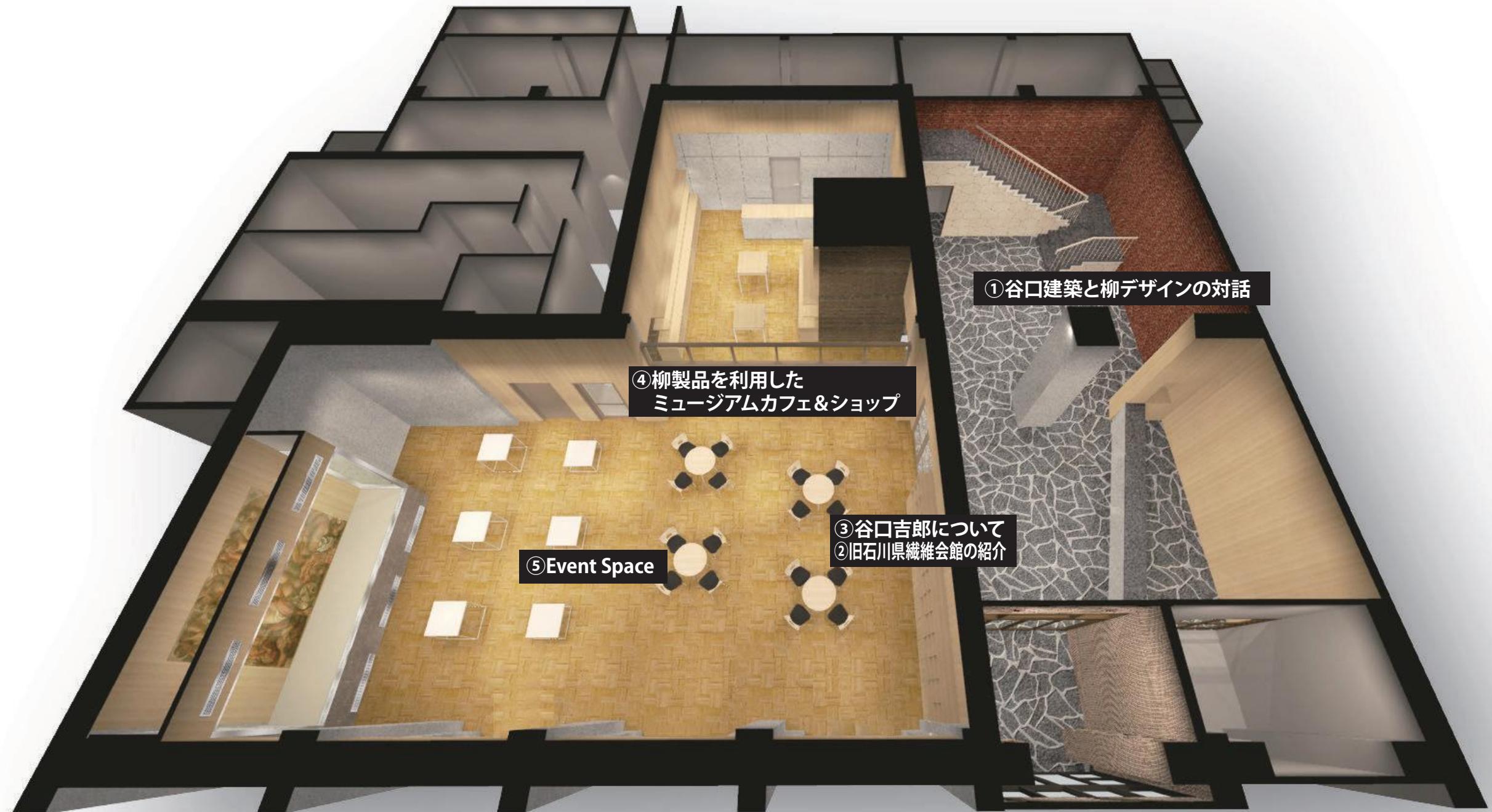
(S=1/20)

【常設展示のみ鑑賞の場合】



【企画展示も含めて鑑賞の場合】











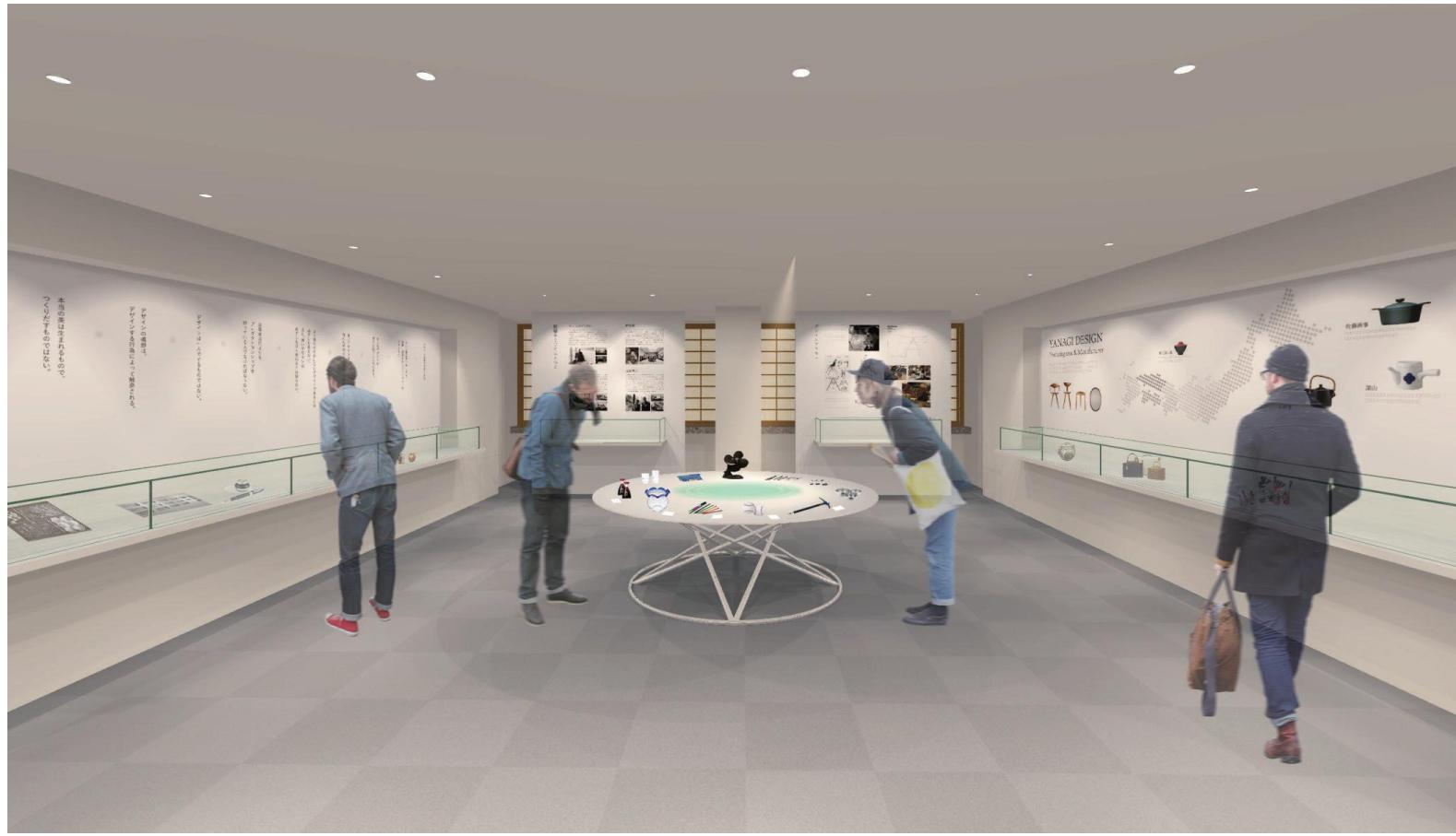
▲1F イベントスペース



▲1F ショップ



▲2F 展示室 1



▲2F 展示室 2



▲2F 展示室 3



▲2F デジタルアーカイブ



▲3F 収藏展示

▲3F デザインギャラリー